

和歌山県高齢者等生活意識調査 (第2号被保険者調査)

報 告 書

令和8年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課

目 次

| | |
|----------------------------------|-----------|
| I 調査の概要 | 1 |
| (1) 調査対象 | 1 |
| (2) 回収状況 | 1 |
| | |
| 2. 第2号被保険者調査の結果 | 3 |
| (1) 回答者 | 3 |
| (2) 回答者の属性 | 4 |
| (3) 高齢期の暮らしなどについて | 8 |
| (4) 健康について | 13 |
| (5) 高齢期の住宅の暮らし、住み替えなどについて | 16 |
| (6) 自宅での看取りの考え方など | 25 |
| (7) 家族介護の状況などについて | 32 |
| (8) 高齢者の生活支援のための事業への参加について | 37 |
| (9) 介護保険制度等について | 39 |
| (10) 認知症について | 43 |
| (11) 自由意見 | 53 |
| | |
| 3. 調査間の比較 | 55 |
| (1) 回答者の属性 | 55 |
| (2) 健康について | 56 |
| (3) 住まい、住み替えなどについて | 57 |
| (4) 看取りなどについて | 59 |
| (5) 高齢者の生活支援のための事業への参加について | 61 |
| (6) 介護保険制度について | 62 |
| (7) 認知症について | 63 |
| | |
| 参考資料: アンケート調査票 | 66 |

1 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収する方法で実施すると同時に、WEB回答による回収方法も併用しました。

| | | |
|------------|---|-------------|
| 高齢者一般調査 | 令和7年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人 | 合計2,300人を抽出 |
| 要支援・要介護者調査 | 令和7年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人 | 合計1,600人を抽出 |
| 第2号被保険者調査 | 令和7年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人 | 合計1,600人を抽出 |

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下のとおりです。

| | 高齢者一般調査 | 要支援・要介護者調査 | 第2号被保険者調査 |
|--------|----------------------|-------------------|--------------------|
| 配布・発送数 | 2,300 | 1,600 | 1,600 |
| 配布実数※ | 2,285 | 1,589 | 1,597 |
| 回収数 | 1,362 (内WEB回答104) | 687 (内WEB回答70) | 735 (内WEB回答300) |
| 回収率 | 59.6% | 43.2% | 46.0% |

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**第2号被保険者調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、令和2年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数(回答者数)は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率(%)です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の 카테고リーに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

| 都市地域 | 都市地域以外 |
|------------------|-------------------------|
| 和歌山市 | 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) |
| 海南市 | 新宮市 (旧熊野川町) |
| 橋本市 | 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) |
| 有田市 | 紀美野町 |
| 御坊市 | かつらぎ町 |
| 田辺市 (旧田辺市) | 九度山町 |
| 新宮市 (旧新宮市) | 高野町 |
| 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 湯浅町 |
| 岩出市 | 広川町 |
| | 有田川町 |
| | 美浜町 |
| | 日高町 |
| | 由良町 |
| | 印南町 |
| | みなべ町 |
| | 日高川町 |
| | 白浜町 |
| | 上富田町 |
| | すさみ町 |
| | 那智勝浦町 |
| | 太地町 |
| | 古座川町 |
| | 北山村 |
| | 串本町 |

2 第2号被保険者調査の結果

(1) 回答者

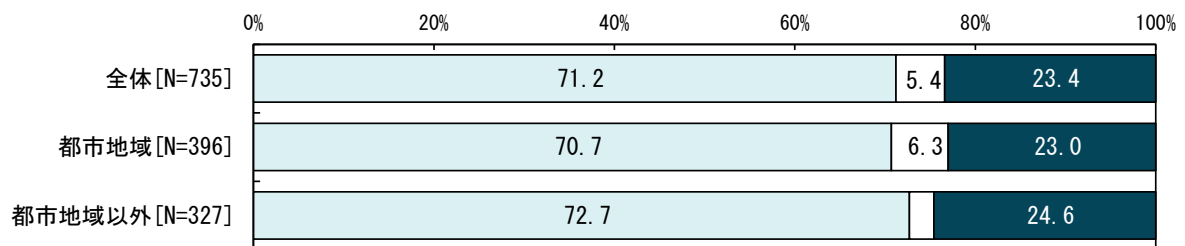
質問文

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

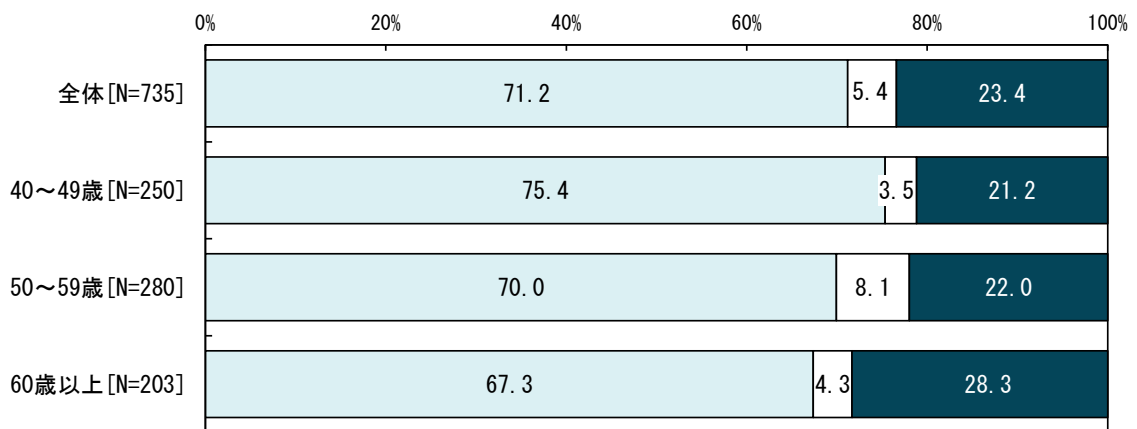
○ 調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が71.2%となっています。

図表1 回答者

地域区分別



年齢階層別



- あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
- ご家族がご本人の代わりに回答
- ご家族以外の方がご本人の代わりに回答
- 無回答

(2) 回答者の属性

(2) - ①性別

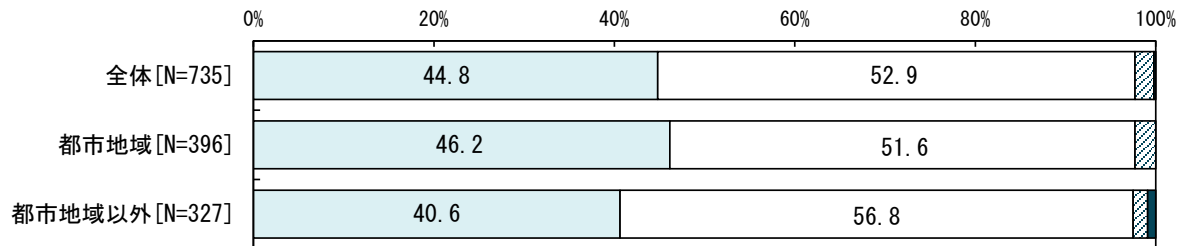
質問文

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

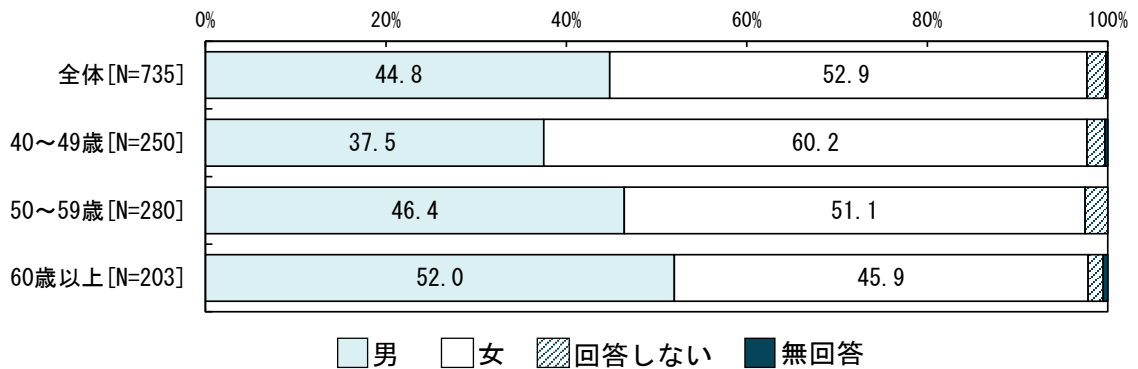
○ 回答者の性別は、「女」が52.9%、「男」が44.8%となっています。

図表2 性別

地域区分別



年齢階層別



(2) - ②年齢区分

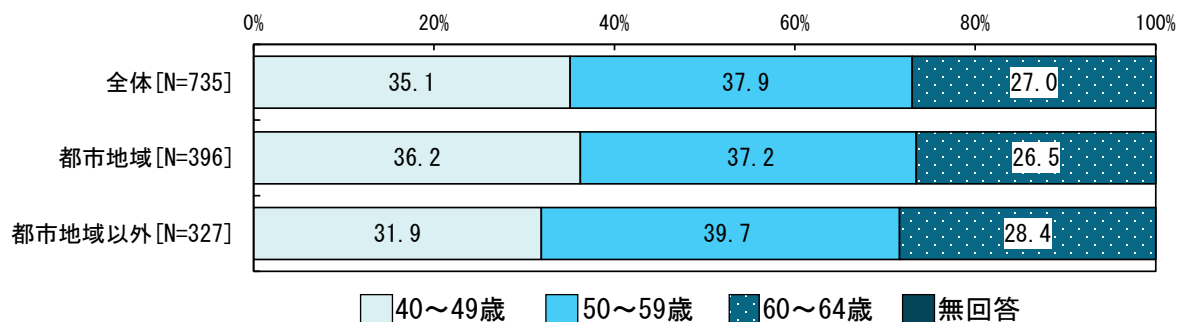
質問文

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

○ 年齢区分については、「50~59歳」が37.9%、「40~49歳」が35.1%、「60~64歳」が27.0%となっています。

図表3 年齢区分

地域区分別



(2) - ③居住市町村

質問文

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

○ 居住市町村については、以下のとおりとなっています。

図表 4 居住市町村

| 全体 [N=735] | | | |
|-------------------------|------|-------|-----|
| 和歌山市 | 38.6 | 広川町 | 0.7 |
| 海南市 | 5.2 | 有田川町 | 2.7 |
| 橋本市 | 6.6 | 美浜町 | 0.8 |
| 有田市 | 2.8 | 日高町 | 0.8 |
| 御坊市 | 2.6 | 由良町 | 0.6 |
| 田辺市 (旧田辺市) | 6.6 | 印南町 | 0.9 |
| 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) | 1.1 | みなべ町 | 1.4 |
| 新宮市 (旧新宮市) | 2.6 | 日高川町 | 1 |
| 新宮市 (旧熊野川町) | 0.2 | 白浜町 | 2.1 |
| 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 3.8 | 上富田町 | 1.7 |
| 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | 2.6 | すさみ町 | 0.4 |
| 岩出市 | 6.3 | 那智勝浦町 | 1.5 |
| 紀美野町 | 0.9 | 太地町 | 0.3 |
| かつらぎ町 | 1.6 | 古座川町 | 0.3 |
| 九度山町 | 0.4 | 北山村 | 0.1 |
| 高野町 | 0.3 | 串本町 | 1.4 |
| 湯浅町 | 1.2 | | |

(2) - ④世帯区分

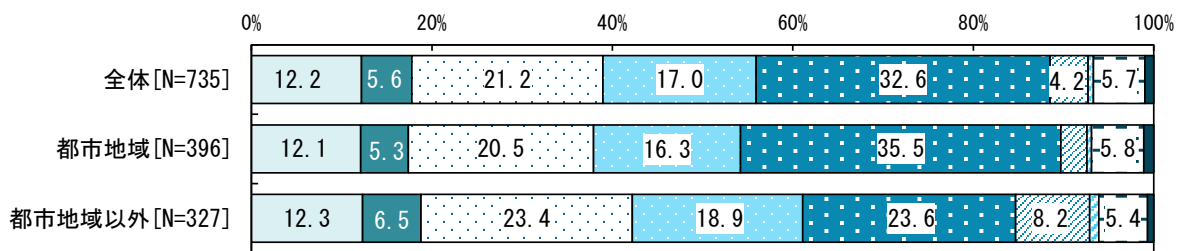
質問文

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

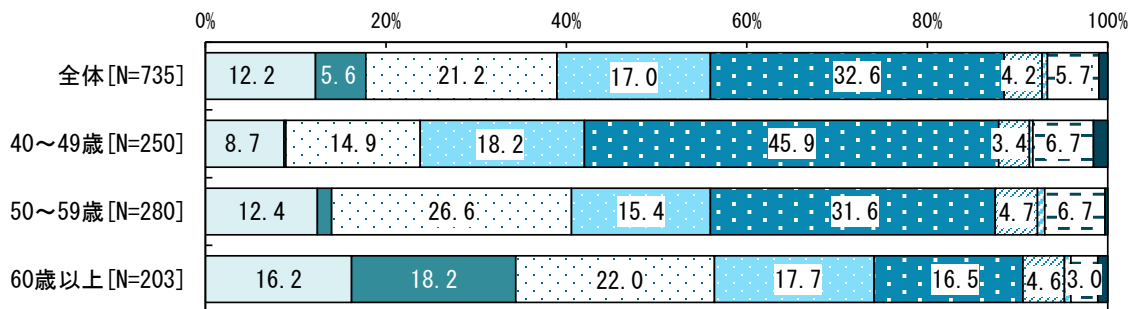
- 回答者の世帯は、「2世代家族（65歳以上の家族はいない）」が32.6%、「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」が21.2%、「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」が17.0%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べて「2世代家族（65歳以上の家族はいない）」がやや増えており、「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」がやや減っています。

図表5 世帯区分

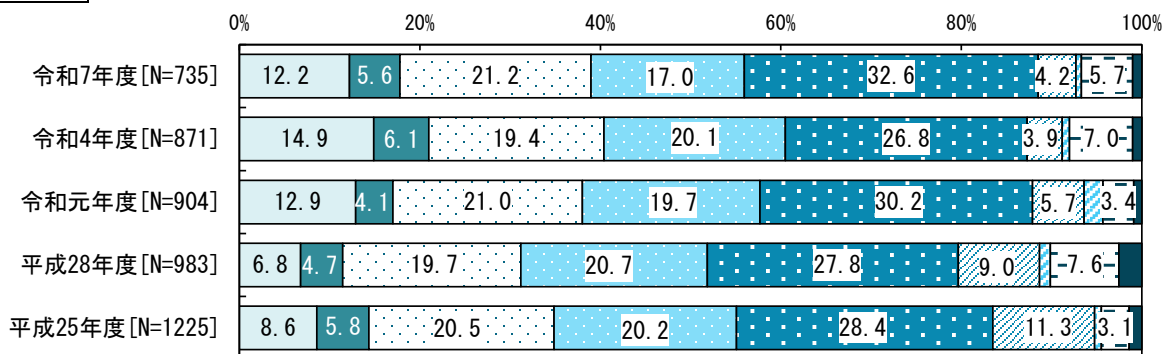
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 単身 (ご本人ひとり)
- 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)
- 2世代家族 (65歳以上の家族はいない)
- 2世代家族 (65歳以上の家族がいる)
- 配偶者、親以外の高齢者 (65歳以上) と同居
- 3世代家族
- その他
- 無回答

(2) - ⑤収入のある仕事

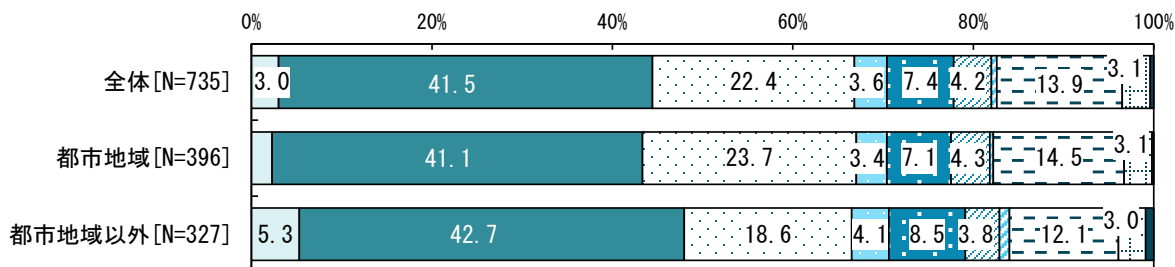
質問文

問5 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

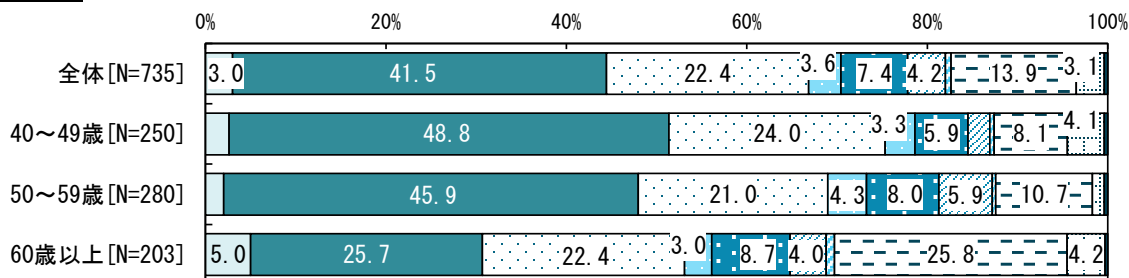
- 収入のある仕事について聞いたところ、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が41.5%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が22.4%、「収入のある仕事はしていない」が13.9%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「農林水産業」と「会社や団体等の勤め人（常勤）」の割合がやや多く、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」の割合はやや少なくなっています。
- 経年比較では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」の割合がやや多くなっています。

図表6 収入のある仕事

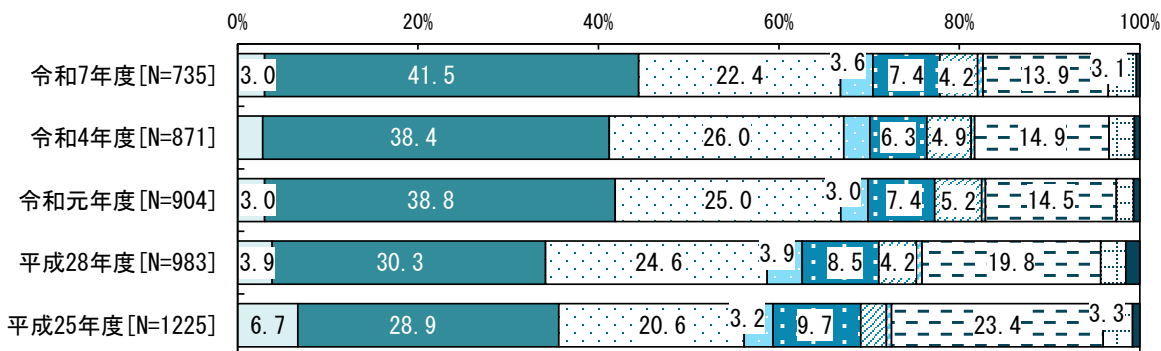
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 農林水産業
- 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等)
- 自営業主、個人事業主
- 内職
- その他
- 会社や団体等の勤め人 (常勤)
- 会社や団体等の役員
- 短期・不定期のアルバイト等
- 収入のある仕事はしていない
- 無回答

(3) 高齢期の暮らしなどについて

(3)- ① 高齢期の関心事

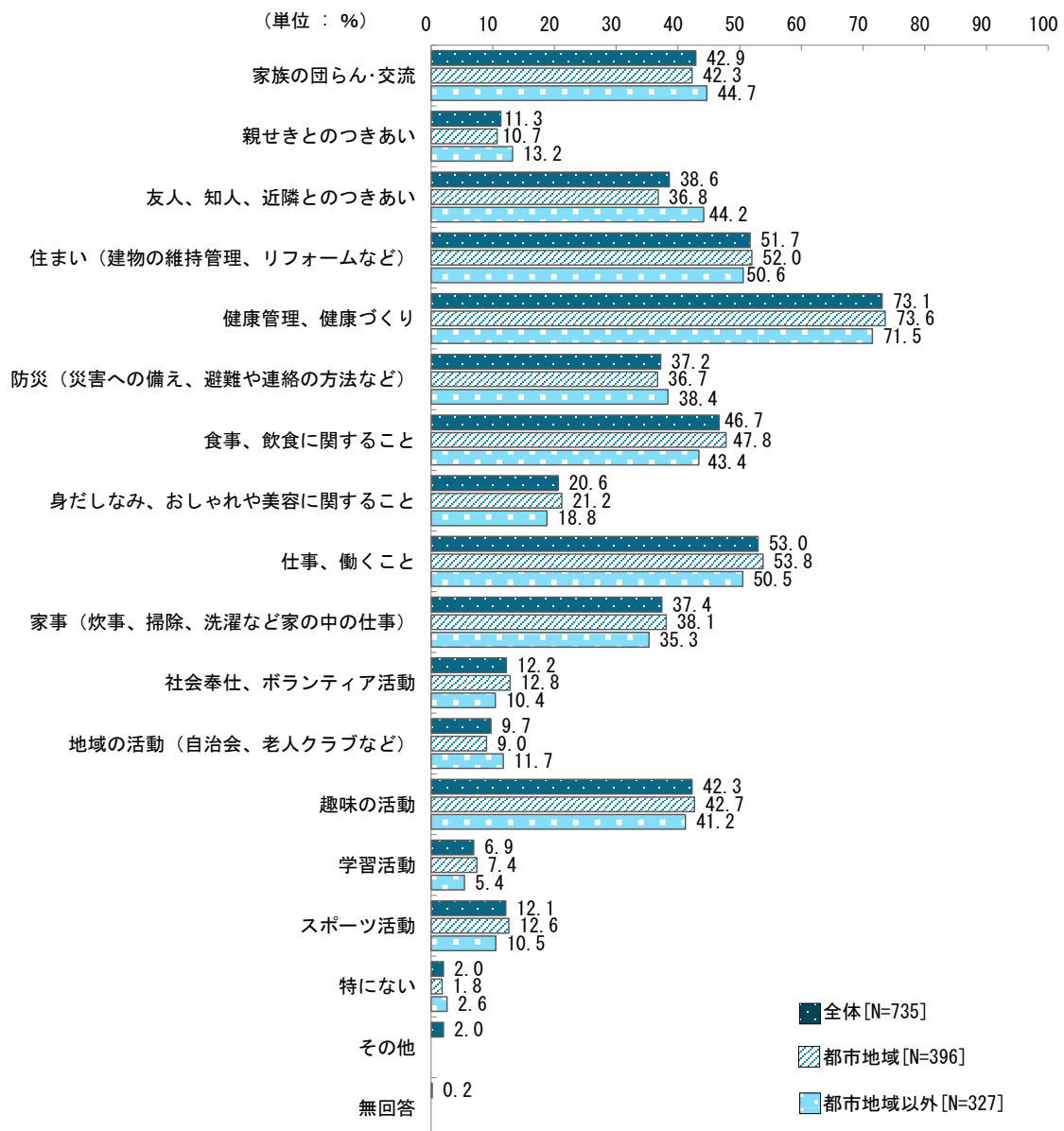
質問文

問6 あなたは、ご自身の高齢期の生活を考えたときに、特にどのようなことに関心がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

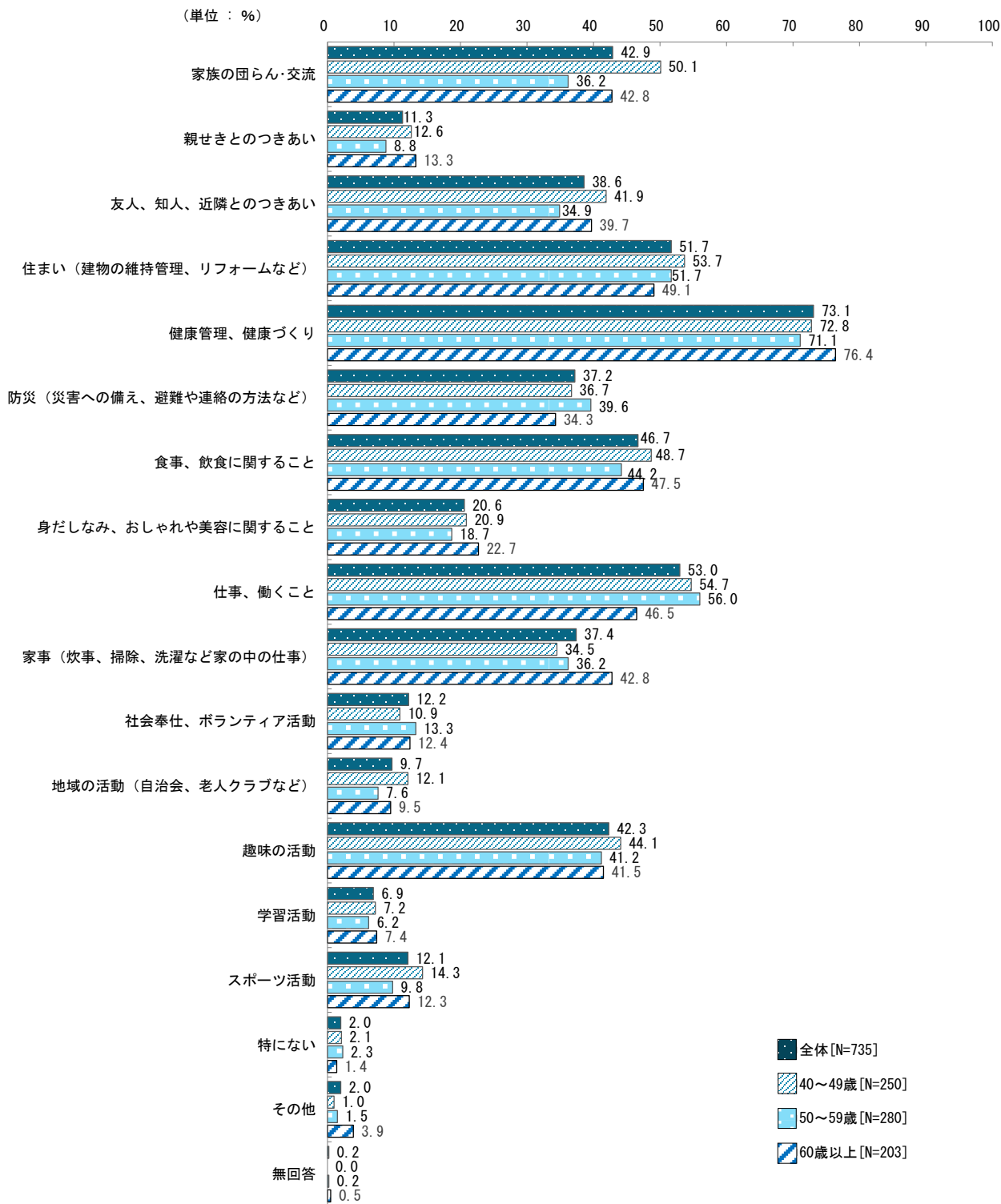
○ 高齢期の関心事について聞いたところ、「健康管理、健康づくり」が73.1%と最も多くなっています。次いで、「仕事、働くこと」(53.0%)、「住まい(建物の維持管理、リフォームなど)」(51.7%)、「食事・飲食に関すること」(46.7%)、「家族の団らん・交流」(42.9%)等となっています。

図表 7 高齢期の関心事(複数回答)

地域区分別



年齢階層別



(3) - ② 日常の買い物や外出などのしやすさ

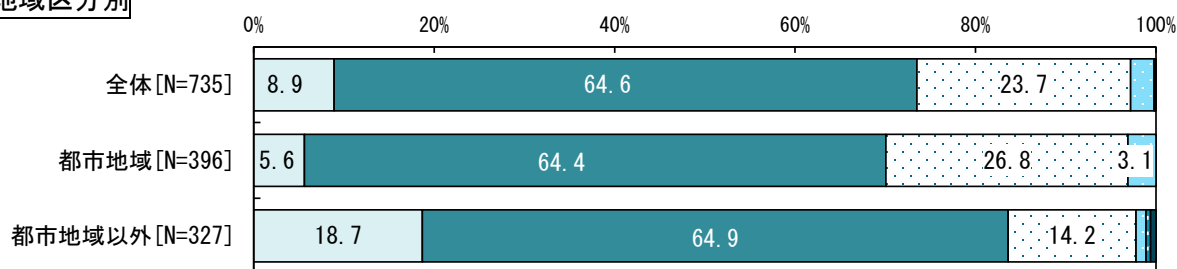
質問文

問7 あなたは、現在お住まいのところに高齢期も住み続けるとした場合に、日常の買い物や外出などのしやすさについてどのように思いますか。（そう思うもの1つに○）

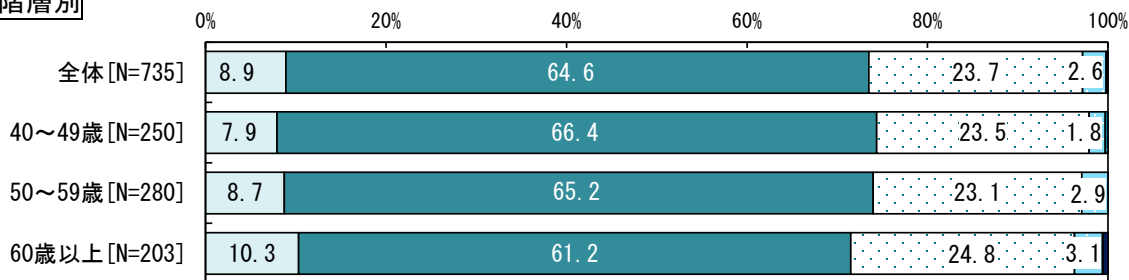
- 住んでいる地域の日常の買い物や外出などのしやすさについて聞いたところ、「現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う」が64.6%と最も多く、次いで、「現在でもかなり不便であり、高齢になったらさらに困ることになると思う」が8.9%となっています。一方、「高齢になっても特に困ることはないと思う」は23.7%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「現在でもかなり不便であり、高齢になったらさらに困ることになると思う」の割合が多く、「高齢になっても特に困ることはないと思う」の割合は少なくなっています。
- 経年比較では、「現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う」の割合が多くなっている一方、「高齢になっても特に困ることはないと思う」の割合が減っています。

図表 8 日常の買い物や外出などのしやすさ

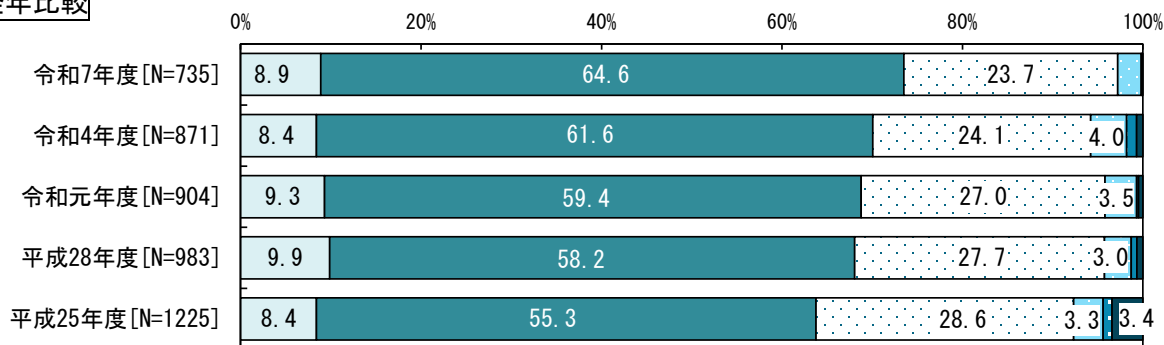
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 現在でもかなり不便であり、高齢になったらさらに困ることになると思う
- 現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う
- 高齢になっても特に困ることはないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

(3) - ③高齢期の生活の不安

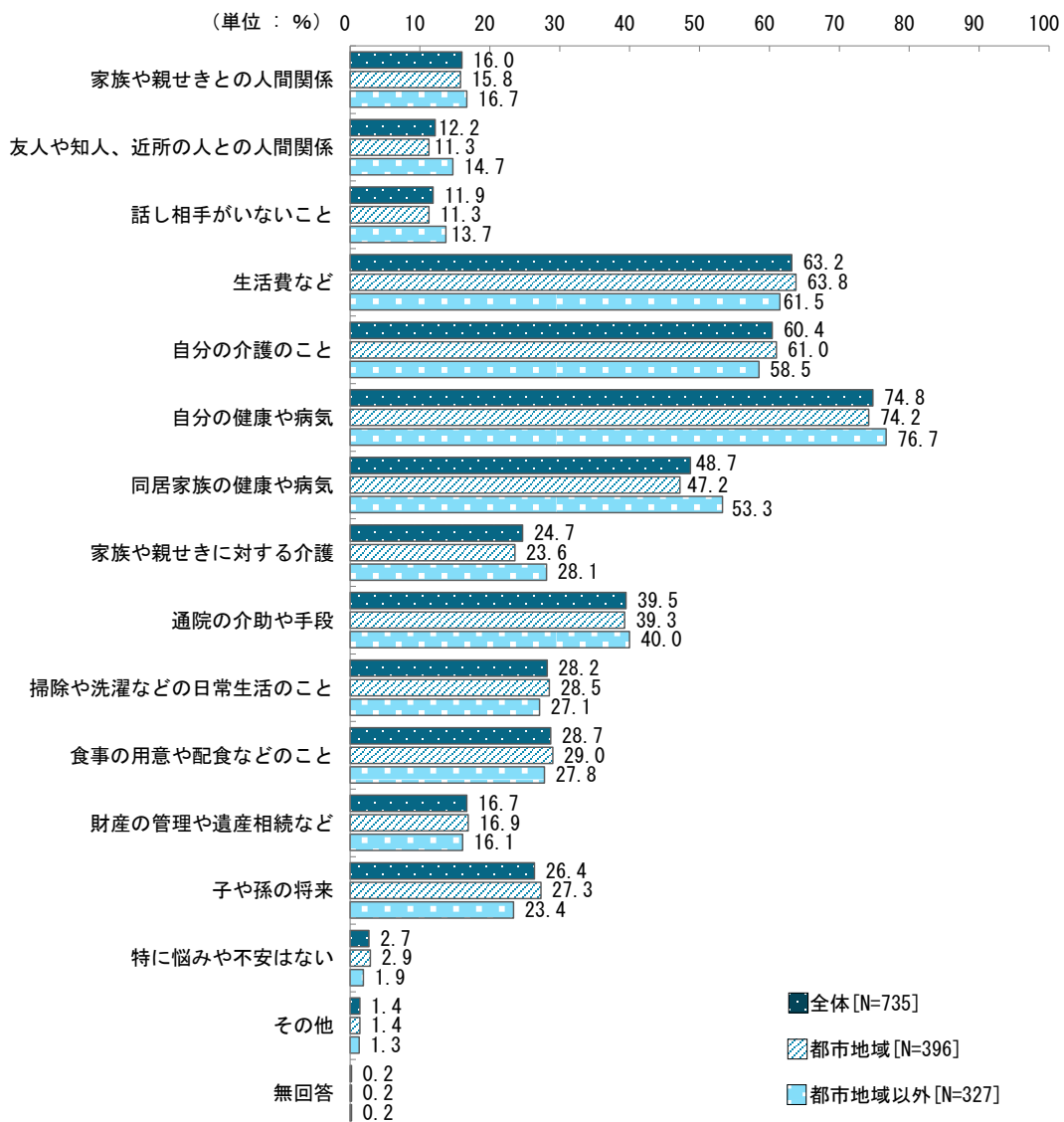
質問文

問 8 あなたは、ご自身の高齢期の生活を考えたときに、何か不安を感じることはありませんか。
(あてはまるものすべてに○)

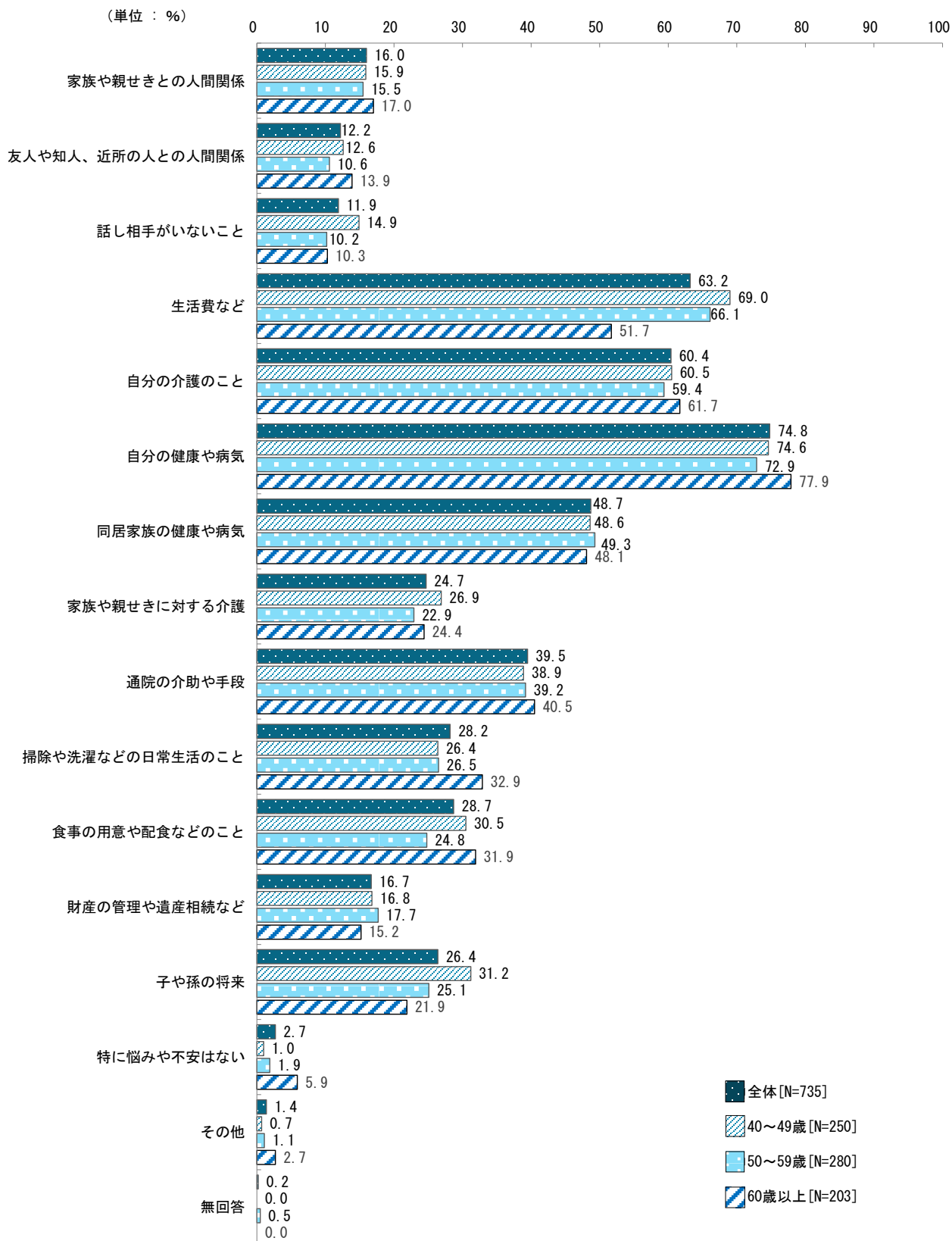
- 高齢期の生活の不安としては、「自分の健康や病気」が 74.8%と最も多く、次いで、「生活費など」が 63.2%、「自分の介護のこと」が 60.4%、「同居家族の健康や病気」が 48.7%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「同居家族の健康や病気」「家族や親せきに対する介護」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、60歳以上では「自分の健康や病気」「掃除や洗濯などの日常生活のこと」等の割合が多くなっている一方、「生活費など」の割合は少なくなっています。

図表 9 高齢期の生活の不安（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



(4) 健康について

(4) - ①現在の健康状態

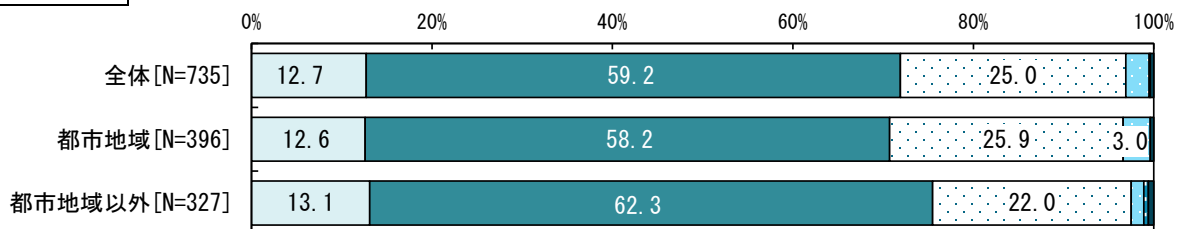
質問文

問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

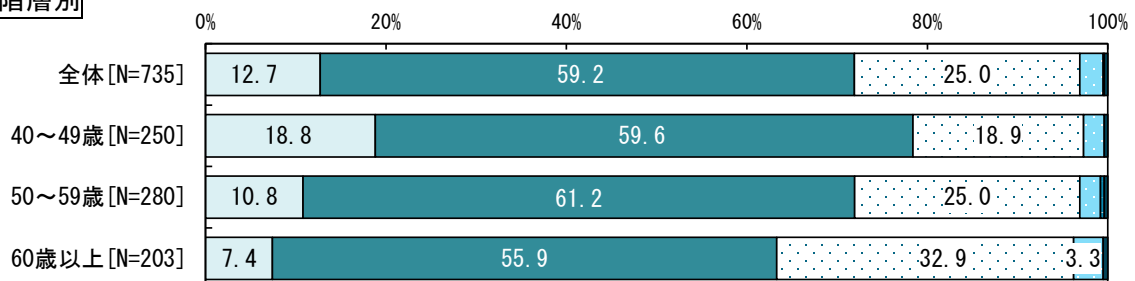
- 現在の健康状態としては、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が59.2%と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「大した病気や障害もなく普通に生活している」「たいへん健康である」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「たいへん健康である」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べて大きな違いは見受けられません。

図表 10 現在の健康状態

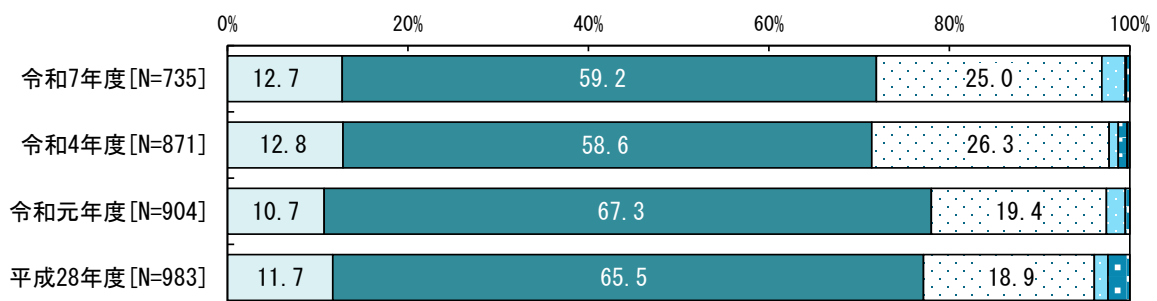
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- たいへん健康である
- 大した病気や障害もなく普通に生活している
- 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
- 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
- その他
- 無回答

(4) - ②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

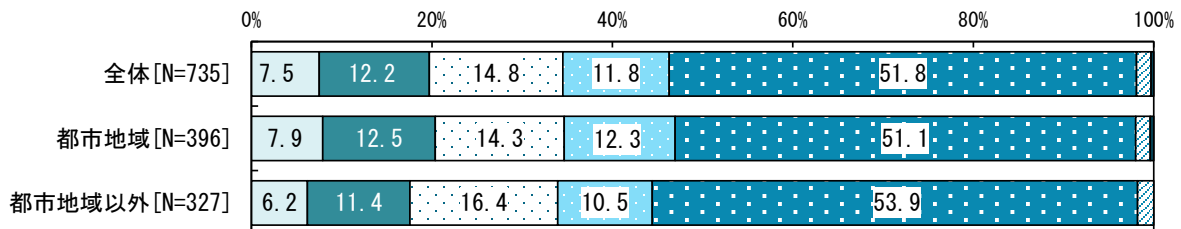
質問文

問 10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

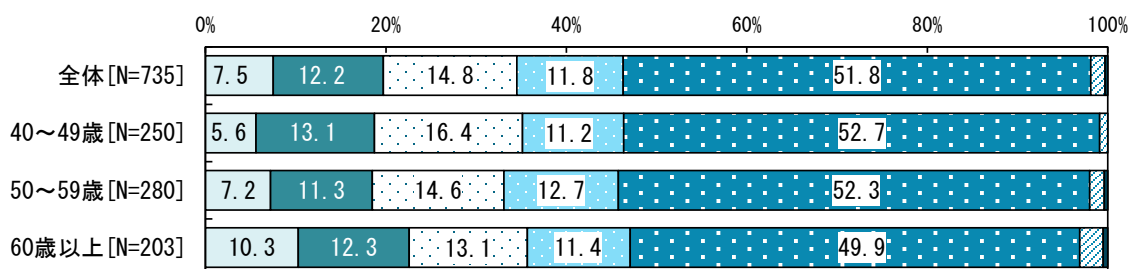
- 運動の有無について聞いたところ、「運動はほとんどしていない」が51.8%と多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「ほぼ毎日、運動をしている」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べて「運動はほとんどしていない」の割合が少なくなっています。

図表 11 運動の有無

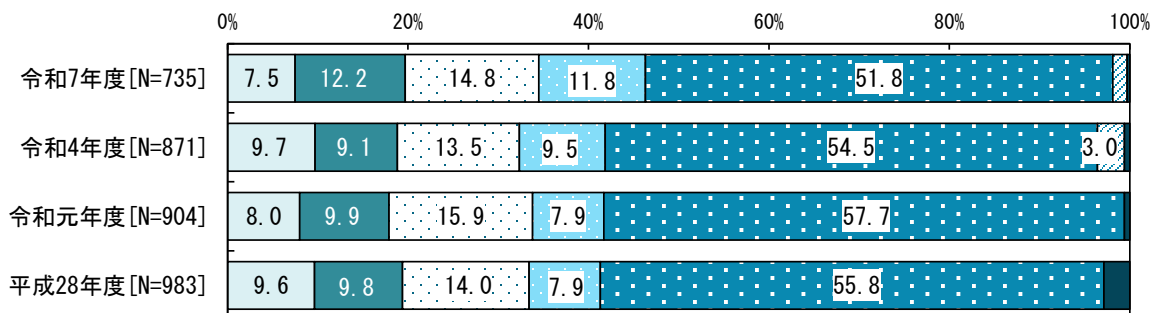
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- ほぼ毎日、運動をしている
- 週に3~5日程度、運動をしている
- ▨ 週に1~2日程度、運動をしている
- 月に数日程度、運動をしている
- 運動はほとんどしていない
- ▨ その他
- 無回答

(4) - ③健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

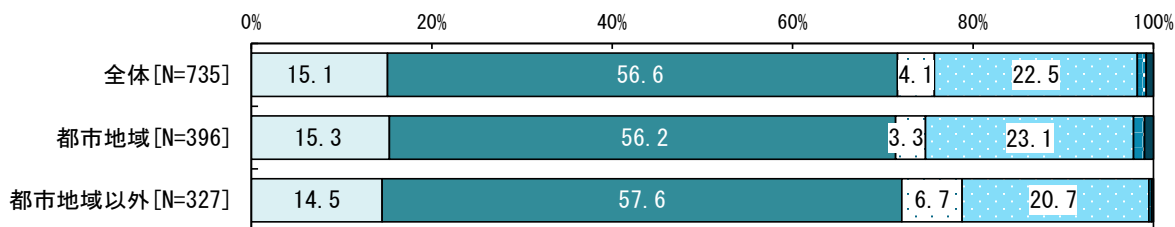
質問文

問 11 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣（ロコモ予防やメタボ予防など）をどのように思いますか。（あてはまるもの1つに○）

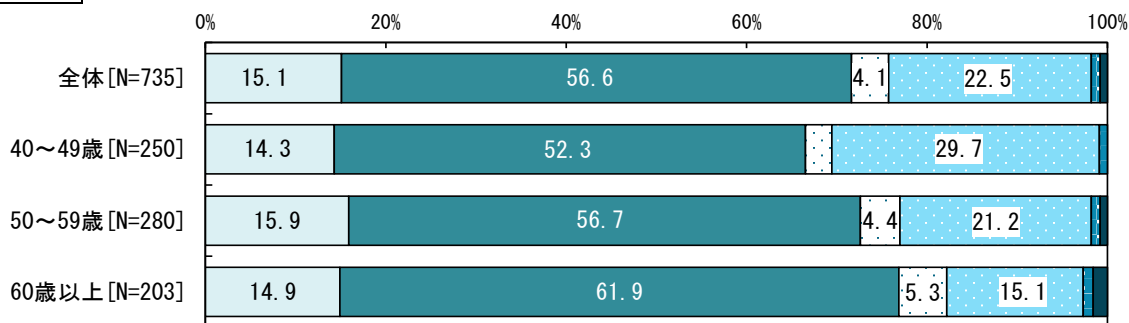
- 健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣に思うことを聞いたところ、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が56.6%と多くなっています。次いで、「特に意識をしていない」が22.5%、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が15.1%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、40～49歳で「特に意識をしていない」の割合が多くなっています。

図表 12 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

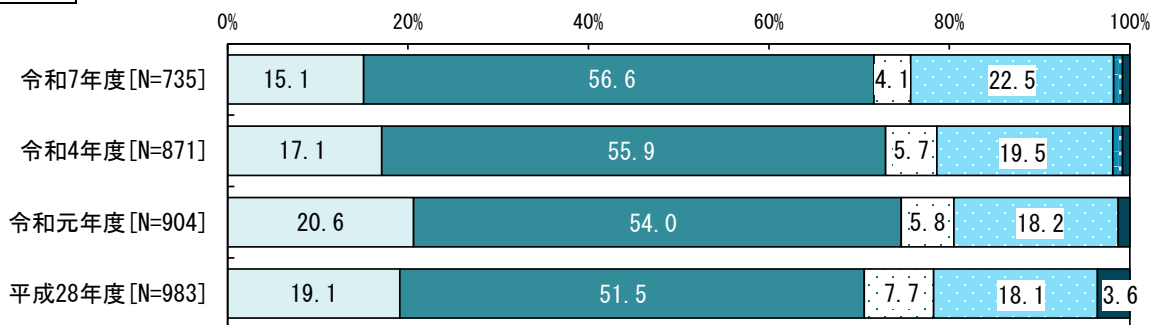
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
- 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
- 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
- 特に意識をしていない
- その他
- 無回答

(5) 高齢期の住宅の暮らし、住み替えなどについて

(5) - ①外出方法

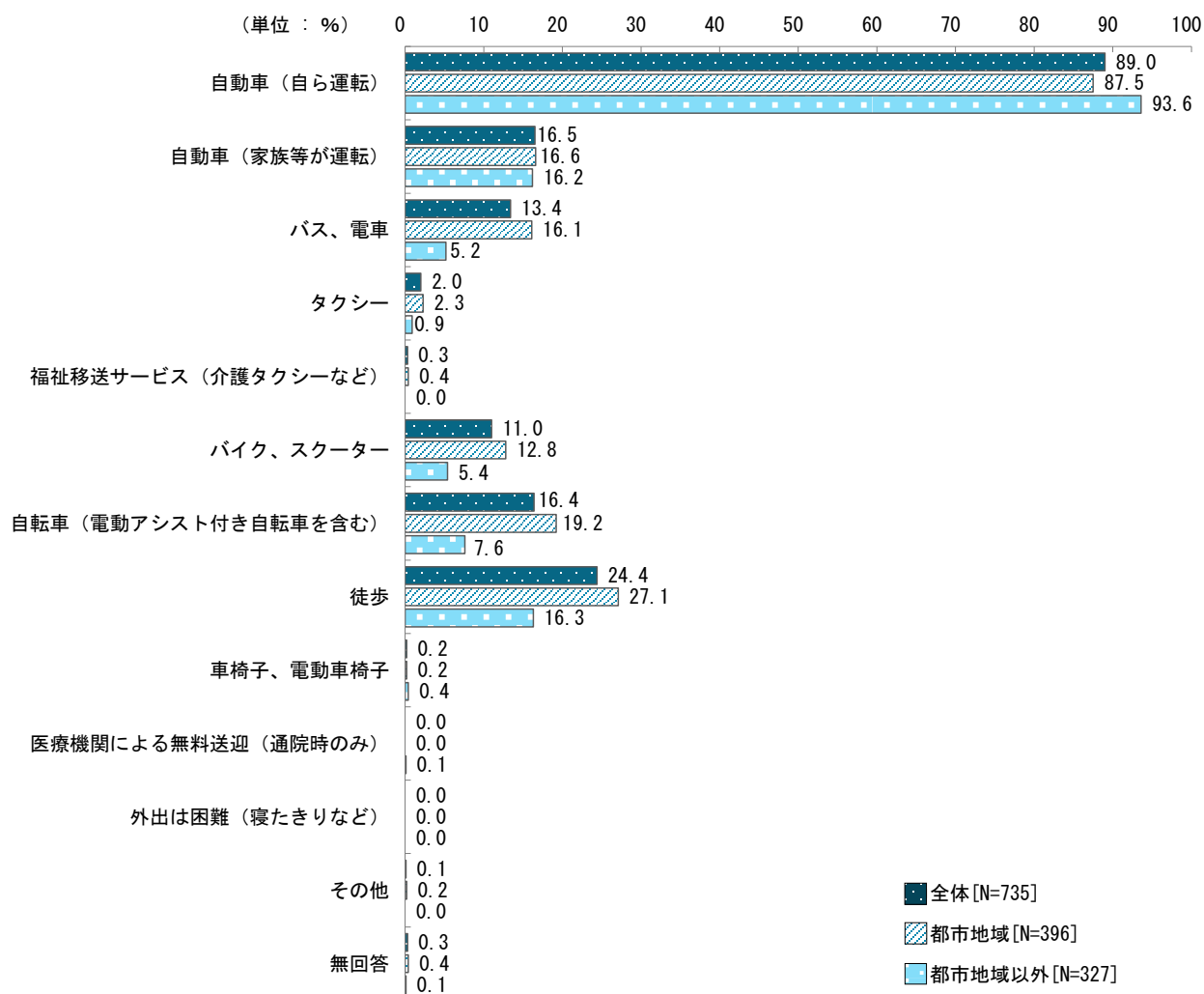
質問文

問 12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

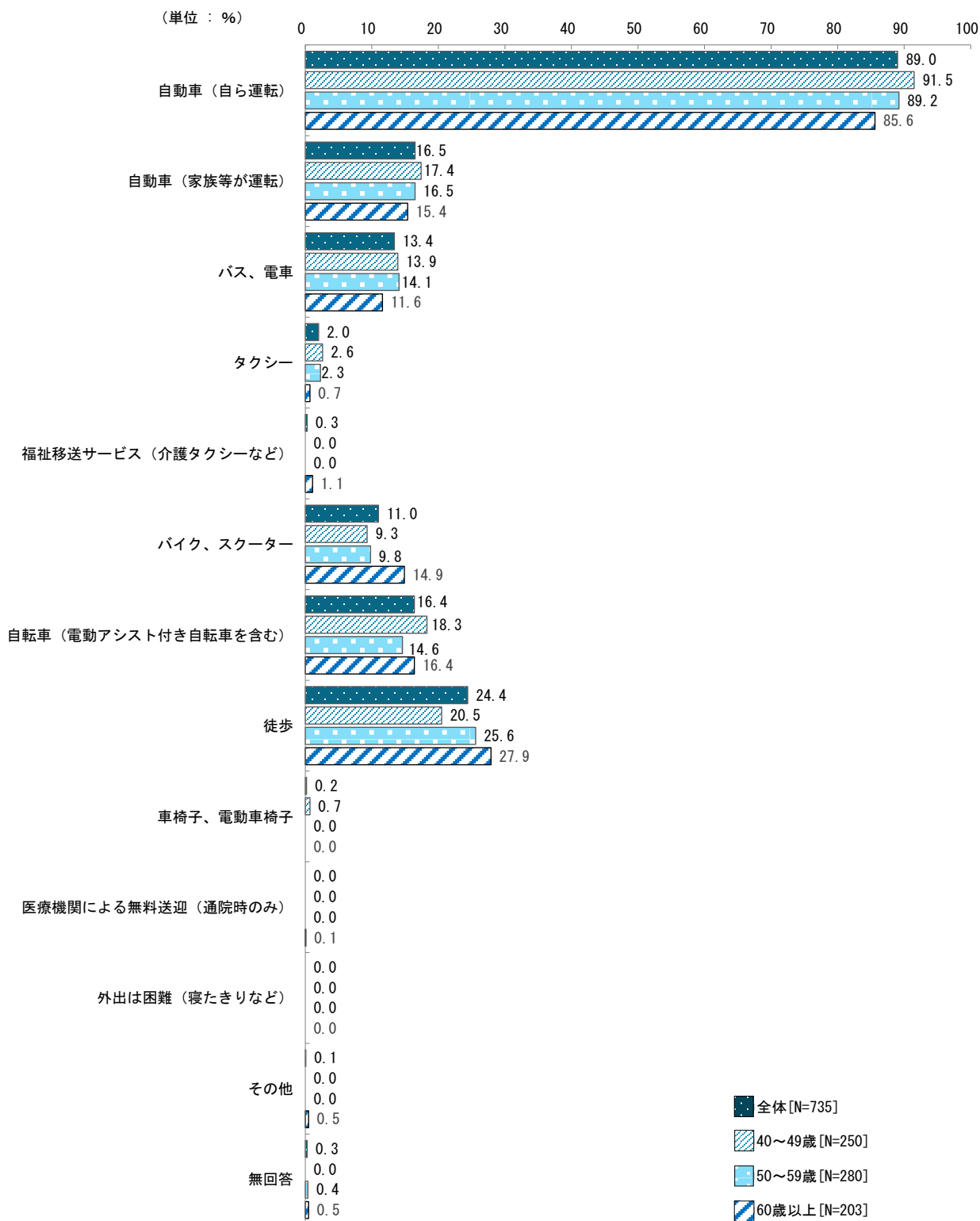
- 外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が89.0%と最も多くなっています。次いで、「徒歩」が24.4%、「自動車（家族等が運転）」が16.5%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域では「バス、電車」「バイク、スクーター」「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」「徒歩」、都市地域以外では「自動車（自ら運転）」の割合がそれぞれ多くなっています。

図表 13 外出方法（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



(5) - ②最寄りの駅等までの所要時間

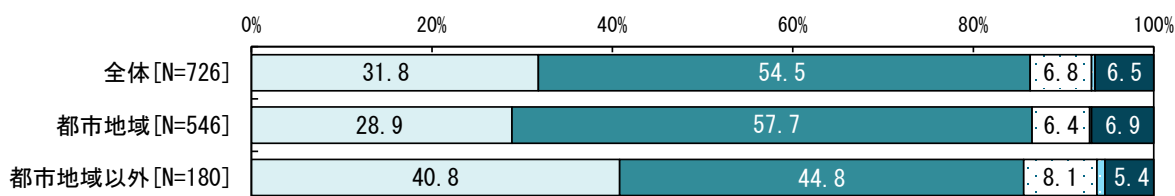
質問文

問 13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

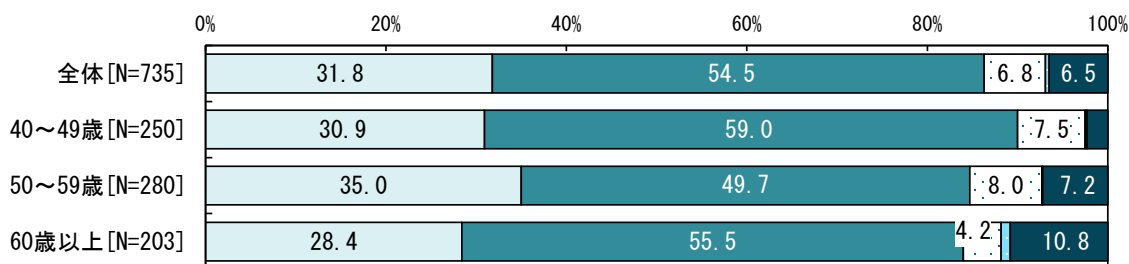
- 最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、「10～29分」が54.5%と最も多く、「10分未満」は31.8%等となっています。
- 経年比較では、「10～29分」が増えています。

図表 14 最寄りの駅等までの所要時間

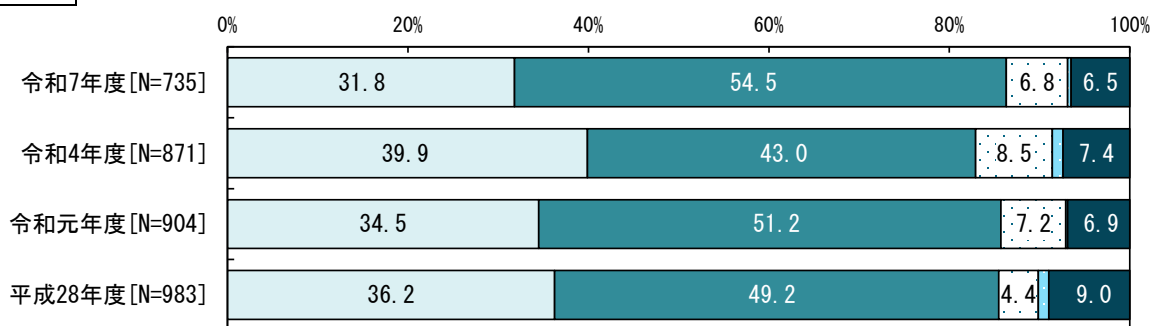
地域区分別



年齢階層別



経年比較



10分未満 10～29分 30～59分 60分以上 無回答

(5) - ③現在の住まいの種類

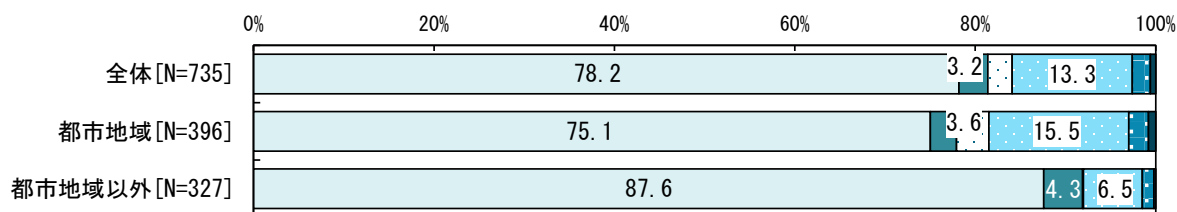
質問文

問 14 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。
(あてはまるもの1つに○)

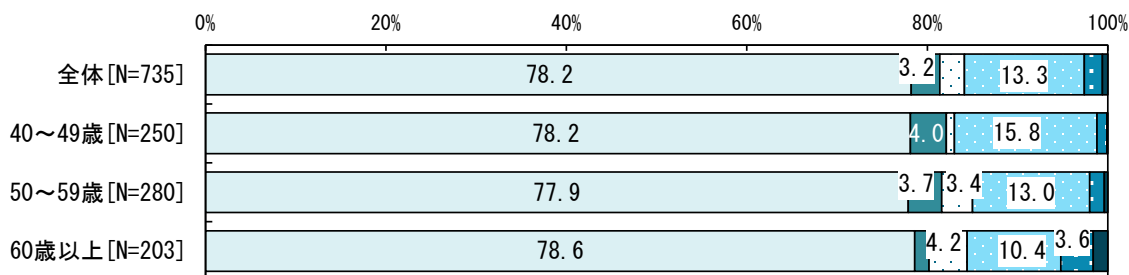
- 現在の住まいの種類としては、「戸建（持ち家）」が78.2%と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。

図表 15 現在の住まいの種類

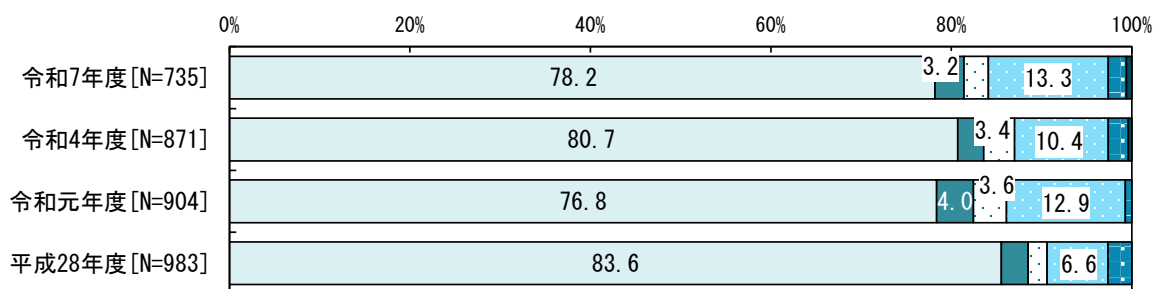
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 戸建（持ち家）
- 戸建（賃貸）
- マンションなどの集合住宅（持ち家）
- マンションなどの集合住宅（賃貸）
- その他
- 無回答

(5) - ④介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向

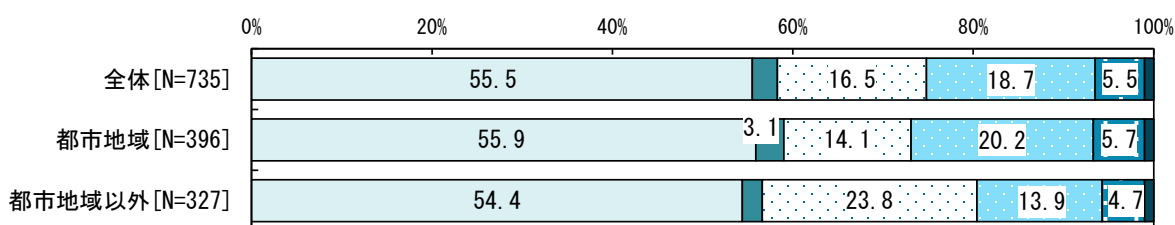
質問文

問 15 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。（そう思うもの1つに○）

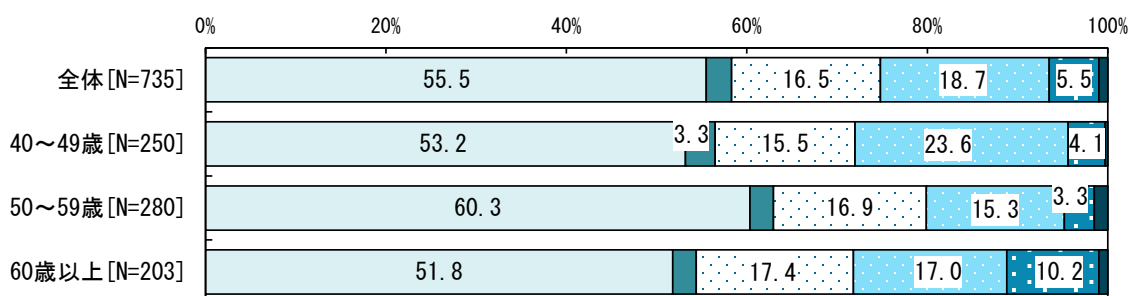
- 介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が55.5%と最も多くなっています。次いで、「介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う」が18.7%、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」が16.5%等となっています。
- 年齢階層別では、50～59歳で「自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べて「自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」の割合が少なくなっています。

図表 16 介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向

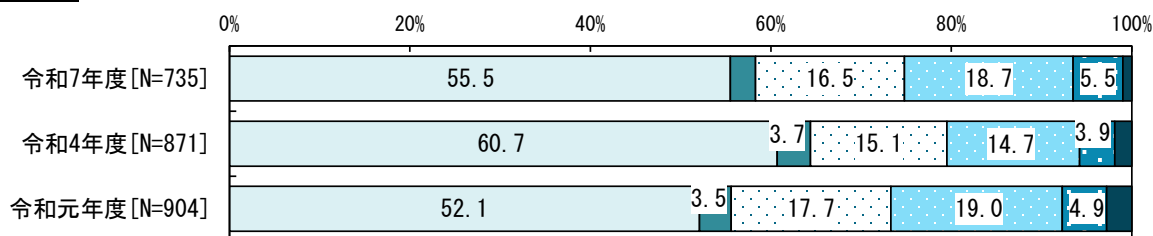
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 自宅で在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

(5) - ⑤ 住み替えで重視すること

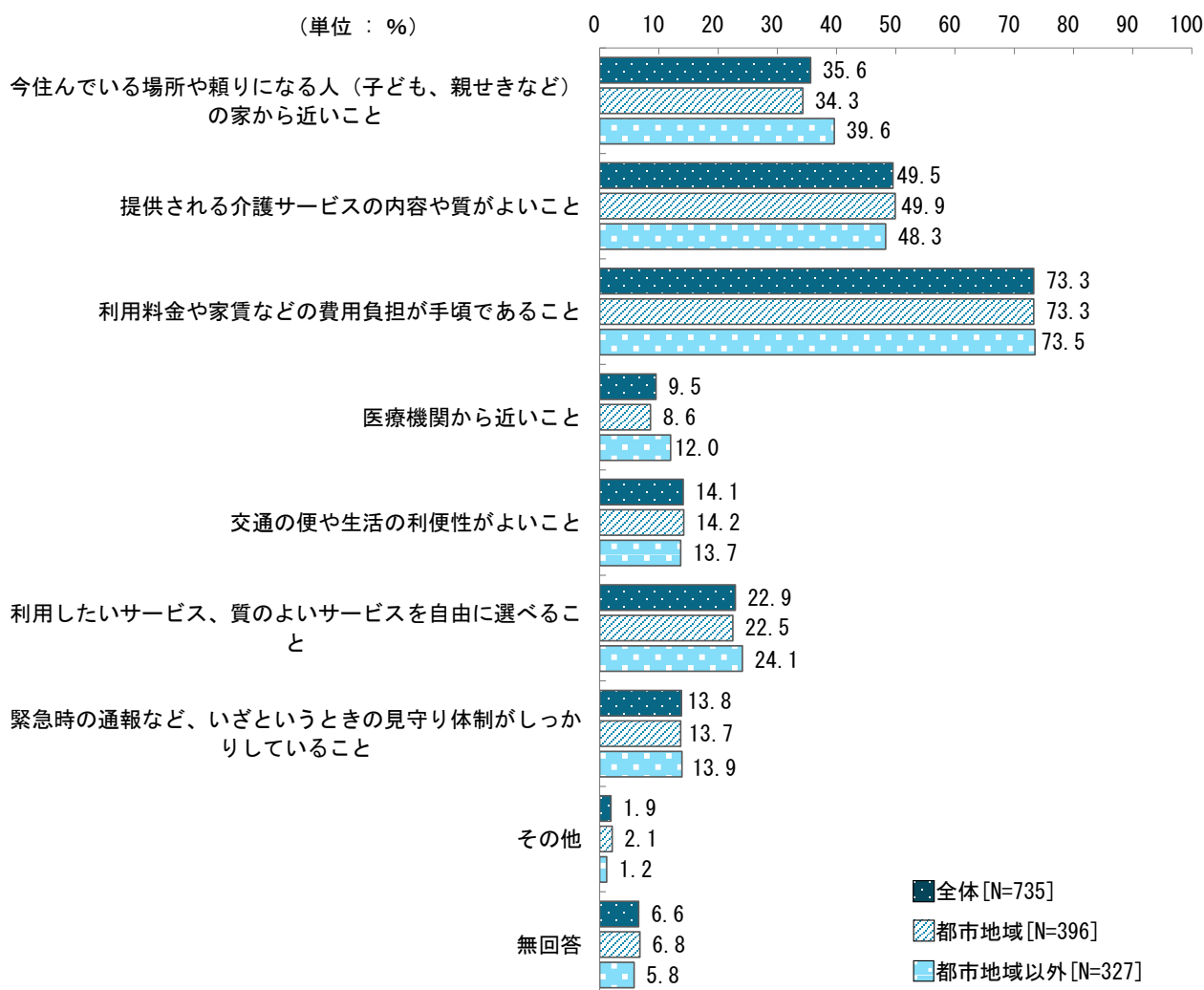
質問文

問 16 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか（重視する項目3つ以内に○）

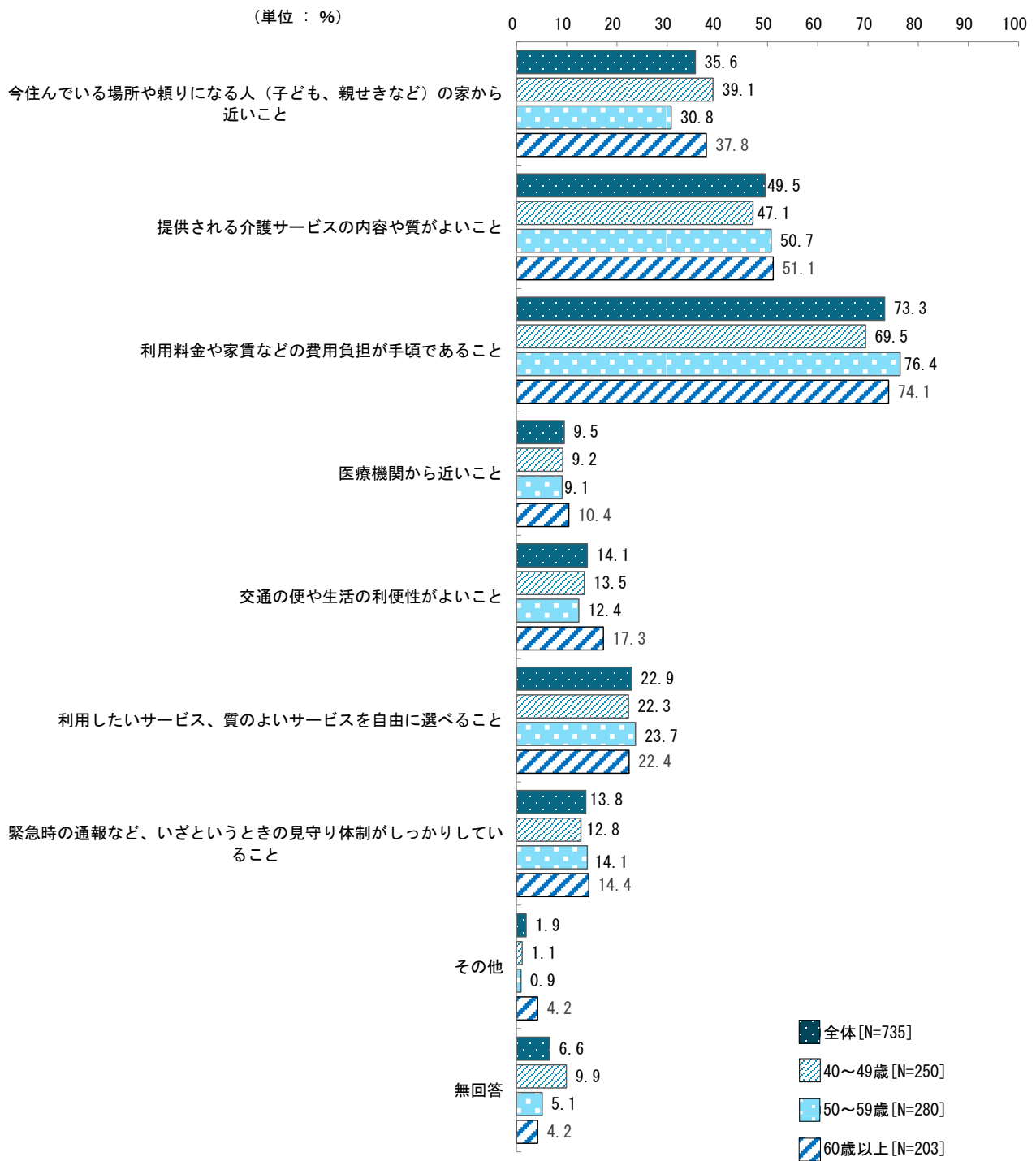
- 住み替えで重視することを聞いたところ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が73.3%と最も多く、次いで、「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」が49.5%、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が35.6%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、50～59歳で「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」、60歳以上で「交通の便や生活の利便性がよいこと」の割合が多くなっています。

図表 17 住み替えで重視すること（3つまで○）

地域区分別



年齢階層別



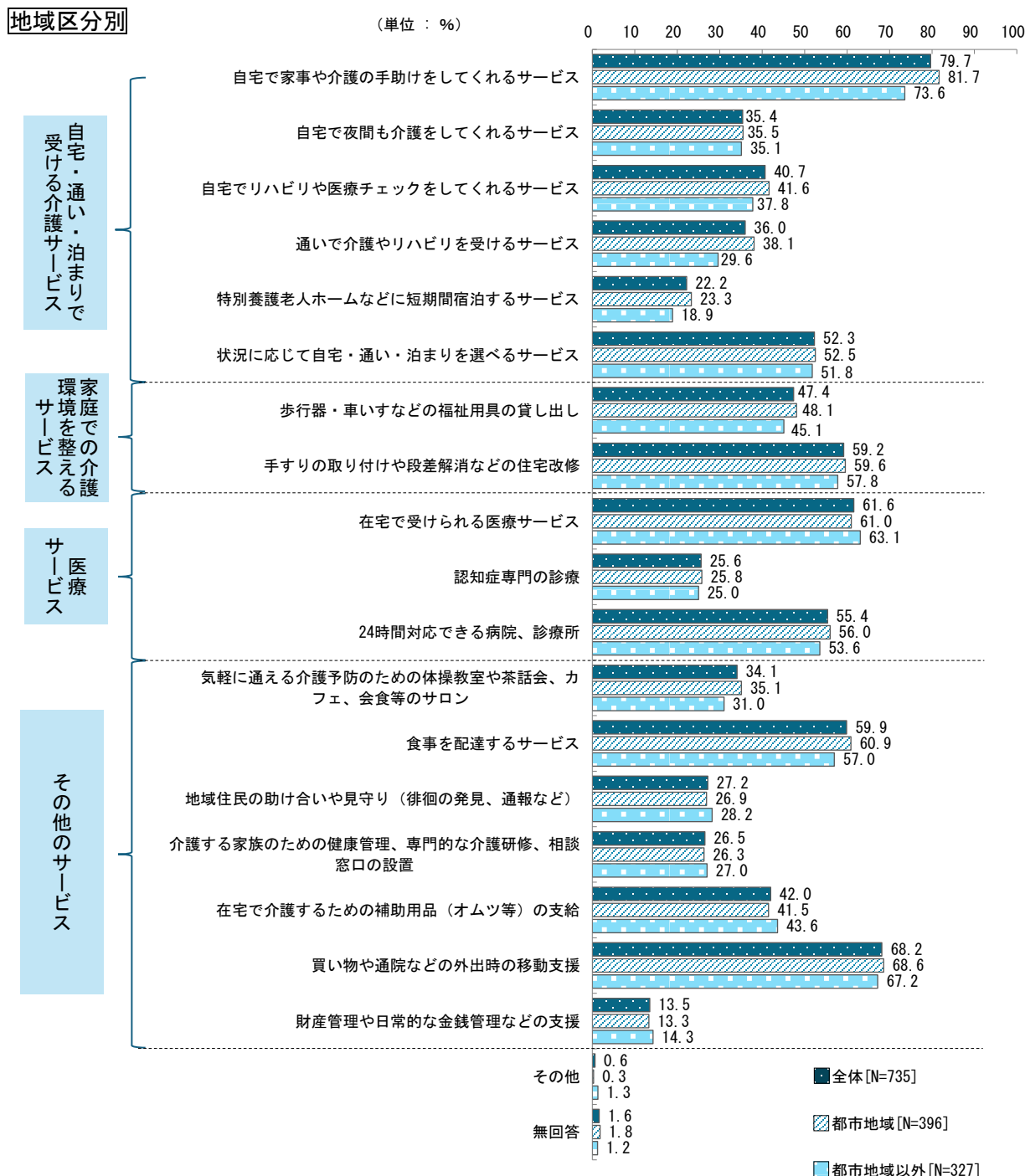
(5) ⑥介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス

質問文

問 17 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

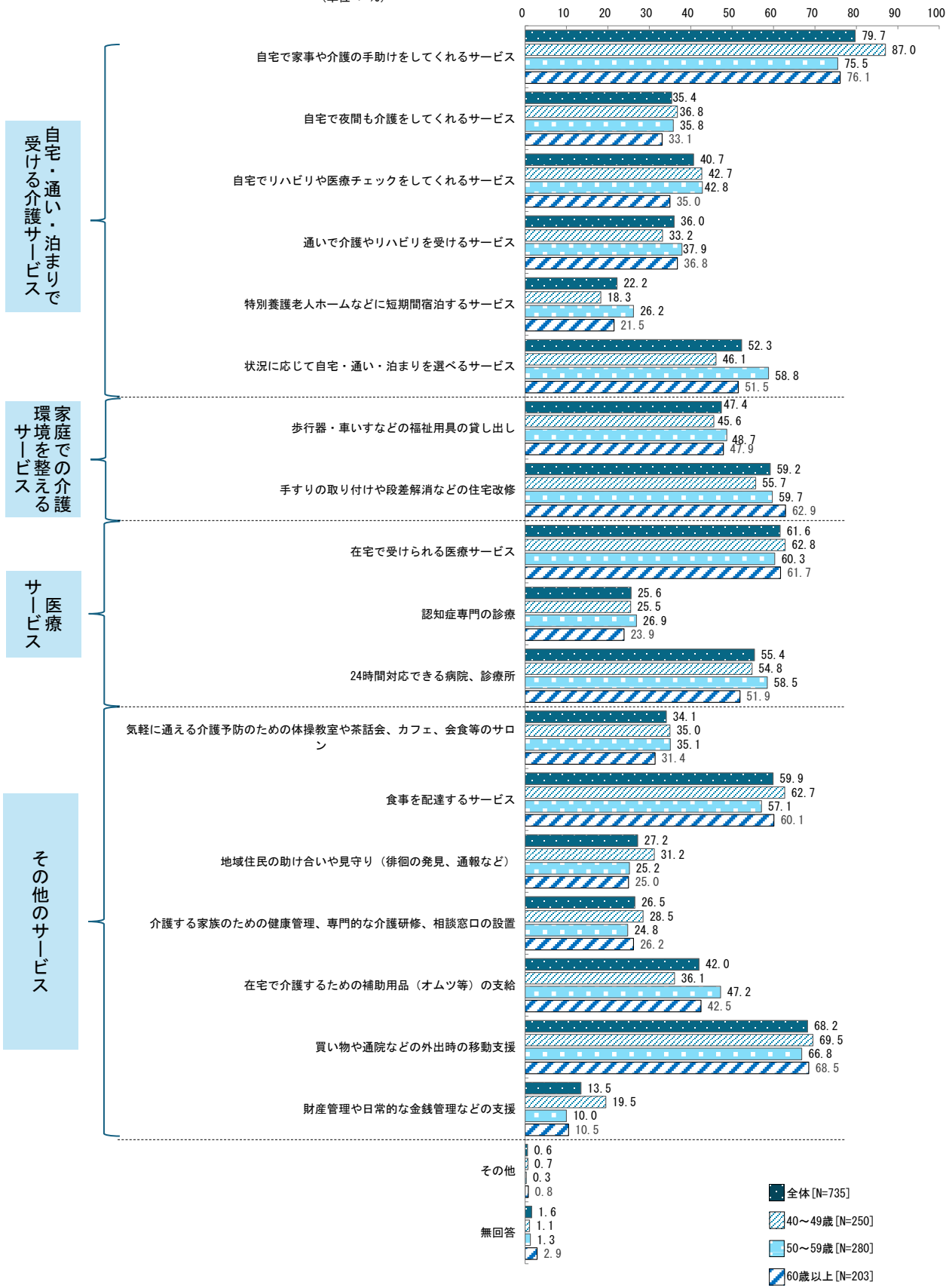
○ 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスを聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が79.7%と最も多く、次いで、「買い物や通院などの外出時の移動支援」が68.2%、「在宅で受けられる医療サービス」が61.6%、「食事を配達するサービス」が59.9%、「手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修」が59.2%等と続いています。

図表 18 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス（複数回答）



年齢階層別

(単位：%)



(6) 自宅での看取りの考え方など

(6) - ①延命治療等への関心

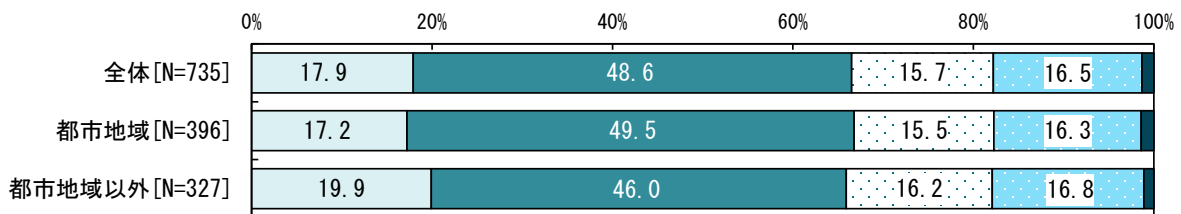
質問文

問 18 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

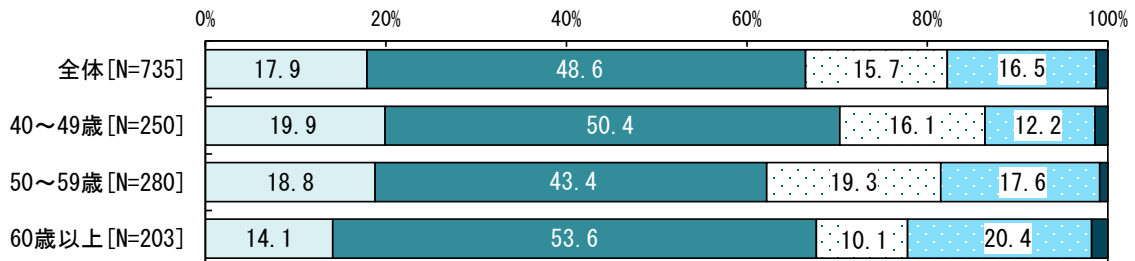
- 延命治療等への関心について聞いたところ、「ある程度は関心がある」が48.6%、「とても関心がある」が17.9%で、合わせると7割近い人が関心を持っています。一方で、「それほど関心はない」は15.7%、「今はわからない」は16.5%となっています。
- 年齢階層別では、40～49歳で「とても関心がある」「ある程度は関心がある」を合わせた割合が多くなっています。

図表 19 延命治療等への関心

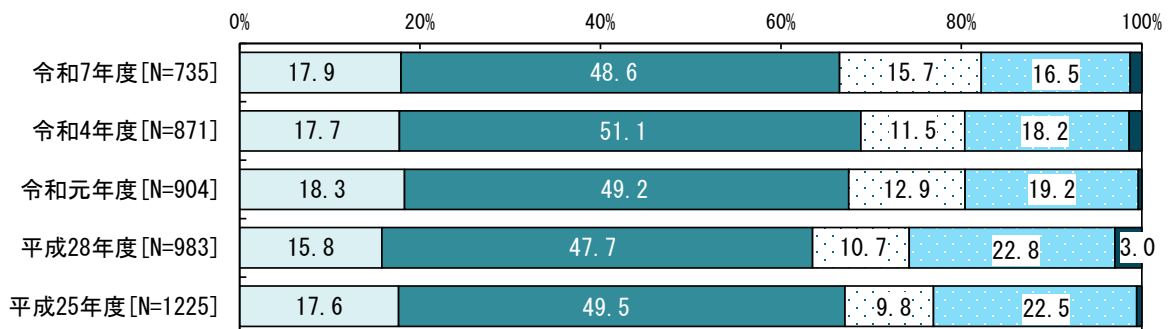
地域区分別



年齢階層別



経年比較



□ とても関心がある ■ ある程度は関心がある □□ それほど関心はない ■■ 今はわからない ■■■ 無回答

(6) - ② 自宅で家族を看取った経験の有無

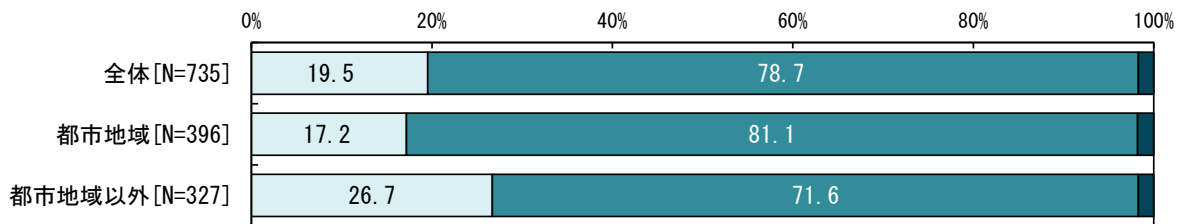
質問文

問 19 あなたは、自宅（または親の自宅等）で、家族を看取った経験がありますか。
（いずれか1つに○）

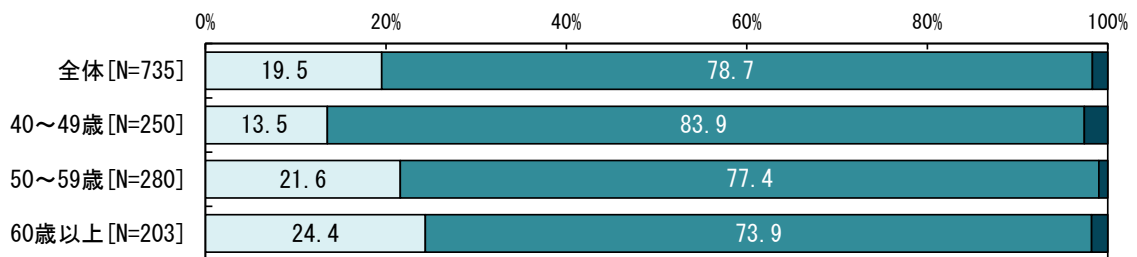
- 自宅で家族を看取った経験の有無について聞いたところ、「ない」が78.7%、「ある」が19.5%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「ある」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「ある」の割合が徐々に減っています。

図表 20 自宅で家族を看取った経験の有無

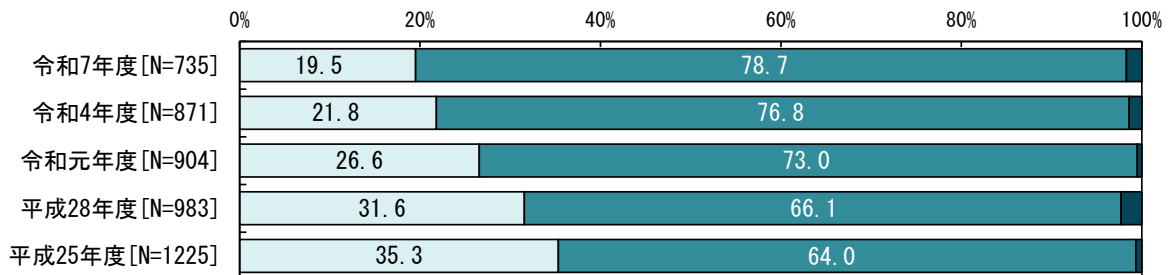
地域区分別



年齢階層別



経年比較



□ ある ■ ない ■ 無回答

(6) - ③リビング・ウィルに対する意見

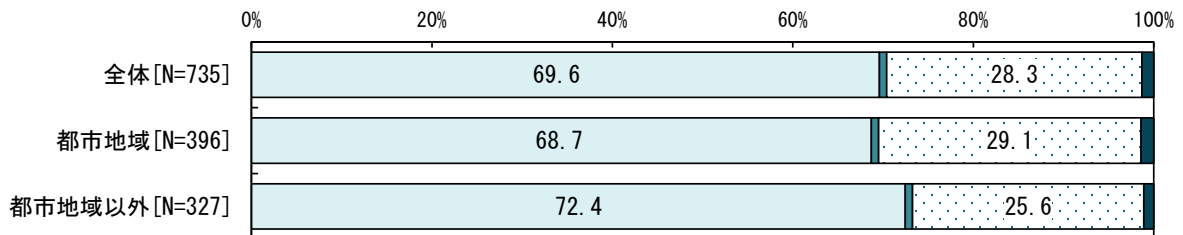
質問文

問 20 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと（リビング・ウィル）について、どう思いますか。（最も近いもの1つに○）

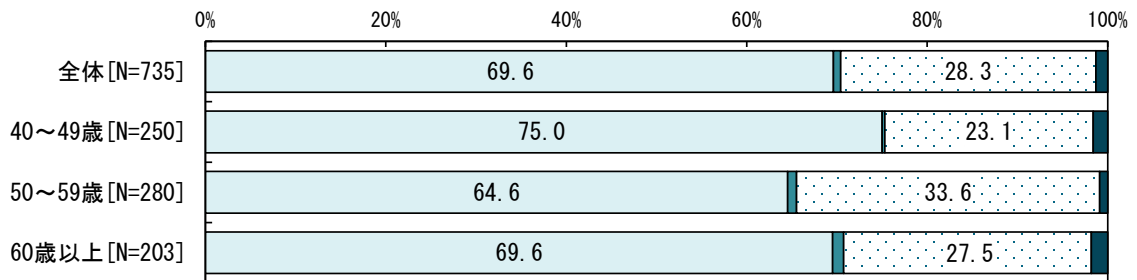
- リビング・ウィルに対する意見については、「賛成である」が69.6%、「わからない」が28.3%となっています。
- 年齢階層別では、40～49歳で「賛成である」の割合が多くなっています。

図表 21 リビング・ウィルに対する意見

地域区分別



年齢階層別



賛成である
 反対である
 わからない
 無回答

(6) - ④延命治療の希望

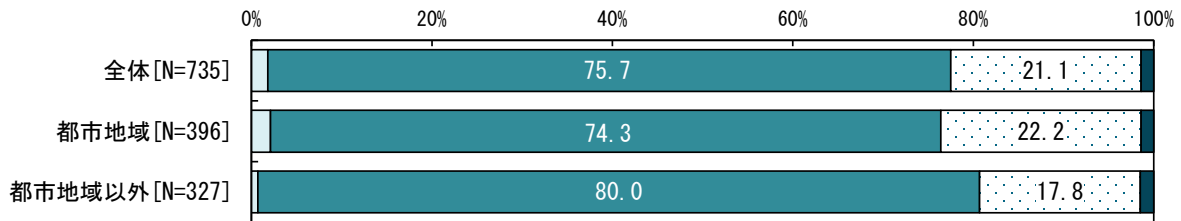
質問文

問 21 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

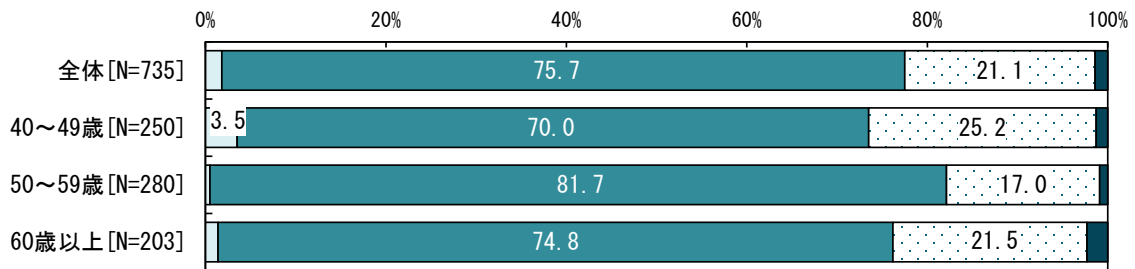
- 延命治療の希望については、「望まない」が75.7%、「今はわからない」が21.1%となっています。
- 年齢階層別では、50～59歳で「望まない」の割合が多くなっています。

図表 22 延命治療の希望

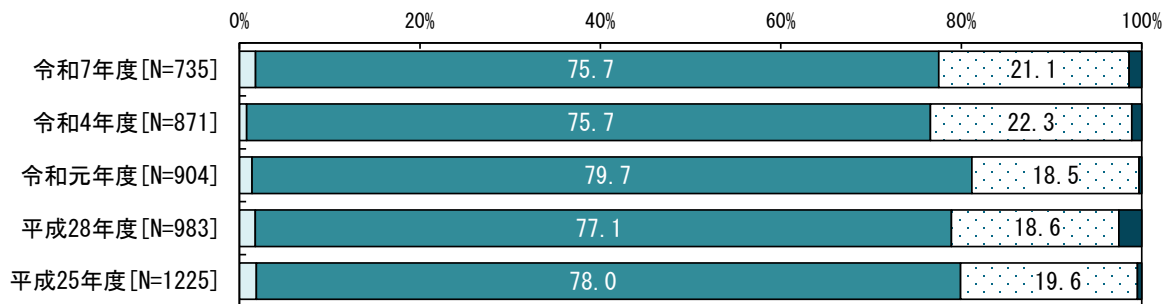
地域区分別



年齢階層別



経年比較



望む 望まない 今はわからない 無回答

(6) - ⑤最期を過ごしたい場所

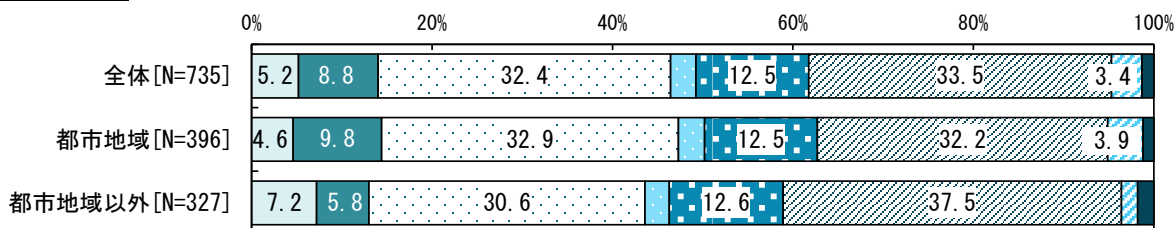
質問文

問 22 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思いますか。
(最も近いもの1つに○)

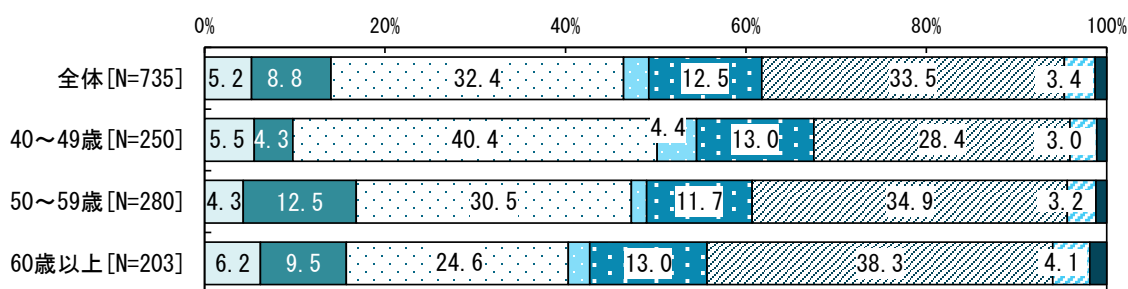
- 自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「今はわからない」が33.5%、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が32.4%、「どこでもよい」が12.5%等となっています。
- 年齢階層別では、40～49歳で、「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が徐々に減っています。

図表 23 最期を過ごしたい場所

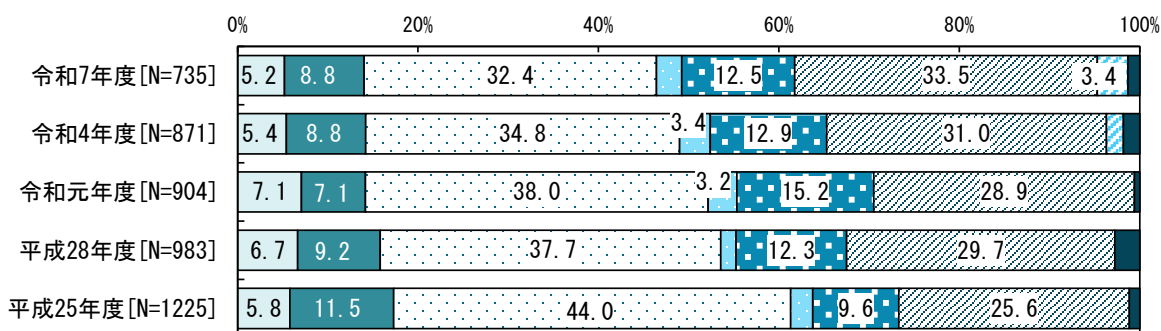
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
- 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
- ◻ 住み慣れた自宅で過ごしたい
- 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
- どこでもよい
- ▨ 今はわからない
- ▨ その他
- 無回答

(6) - ⑥親の看取りの希望

質問文

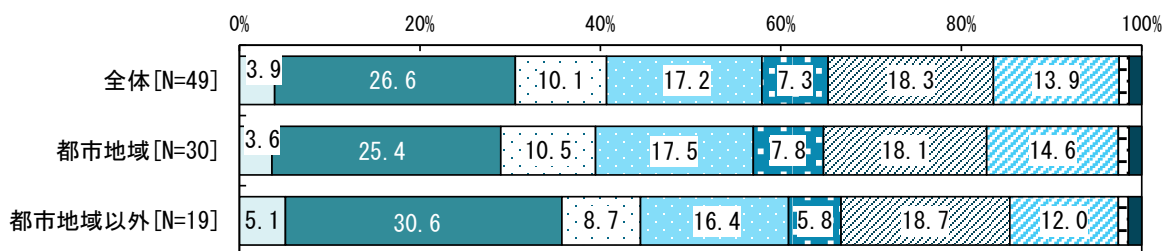
問 23 もしも、あなたの親に死期が迫っており、本人の意思確認が難しい状態になったら、あなたはどのように看取りたいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

○ 親の看取りに関する希望を聞いたところ、「延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい」が26.6%と最も多く、「今はわからない」が18.3%で続いています。「すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」は7.3%となっています。

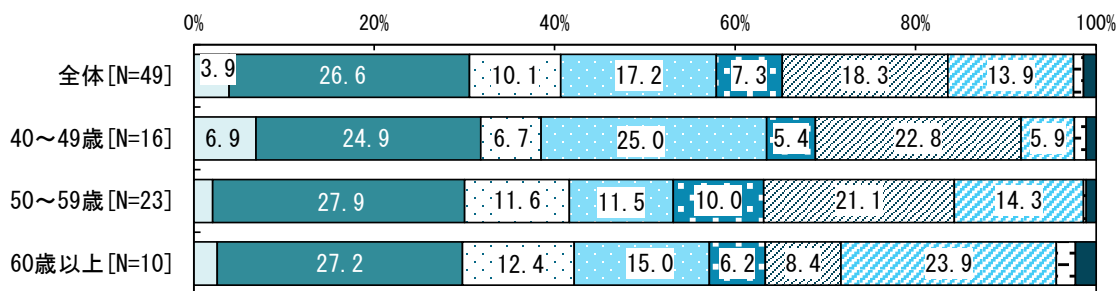
○ 年齢階層別では、40～49歳で「延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい」の割合が多くなっています。

図表 24 親の看取りの希望

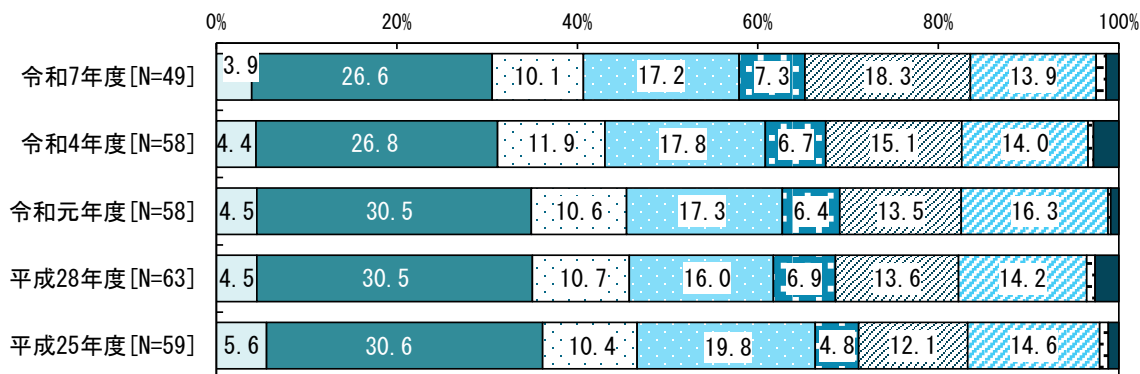
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けさせたい
- 延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい
- 延命治療は望まないが、設備の整った介護保険施設などで過ごさせたい
- 延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい
- すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい
- ▨ 今はわからない
- ▨ すでに親は亡くなっている
- その他
- 無回答

(6) - ⑦終末期に関する親の意思

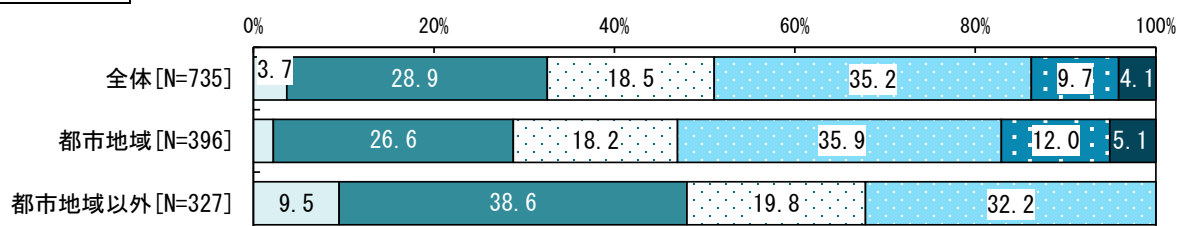
質問文

問 24 前の問で「5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」と答えた方におたずねします。それはどのような意思ですか。(最も近いもの1つに○)

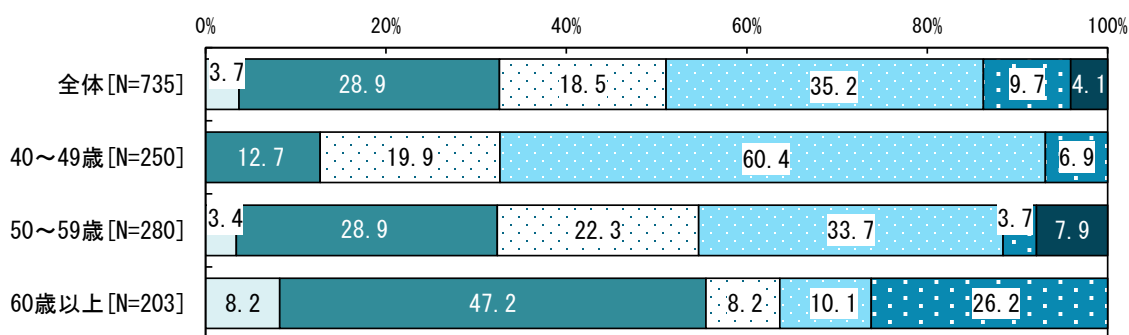
- 看取りについて、親から意思を聞いていると回答した人に、その内容について聞いたところ、「延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい」が35.2%、「延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい」が28.9%等となっています。
- 年齢階層別では、40～49歳では「延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい」の割合が多くなっています。

図表 25 終末期に関する親の意思

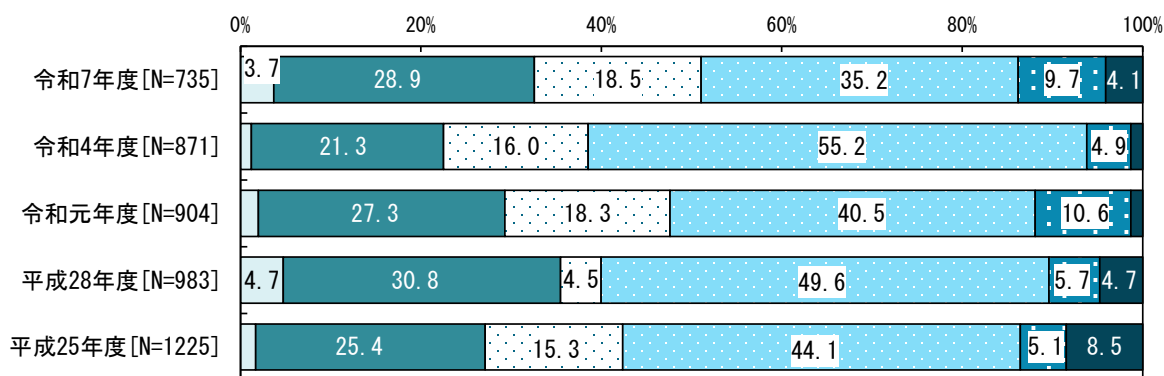
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けたい
- 延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい
- 延命治療は受けたくないが、設備の整った介護保険施設などへ入所したい
- 延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい
- その他
- 無回答

(7) 家族介護の状況などについて

(7)- ①介護が必要な家族の有無

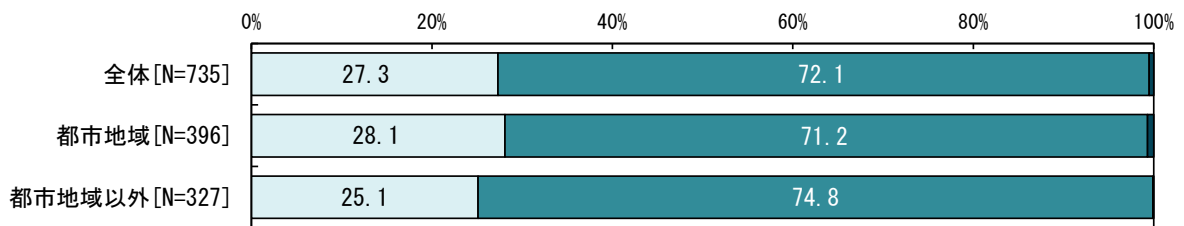
質問文

問 25 あなたのご家族（別居の場合を含みます）で、介護が必要な方（要支援・要介護の認定を受けている方）はおられますか。（いずれか1つに○）

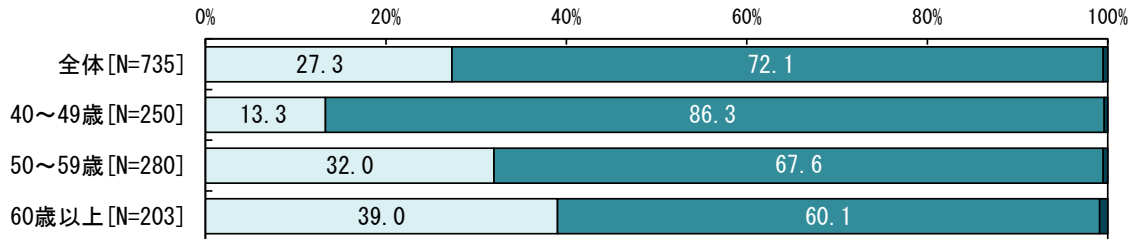
- 介護が必要な家族の有無については、「いない」が72.1%、「いる」が27.3%となっています。
- 年齢階層別では、60歳以上では「いる」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「いる」の割合が徐々に減っています。

図表 26 介護が必要な家族の有無

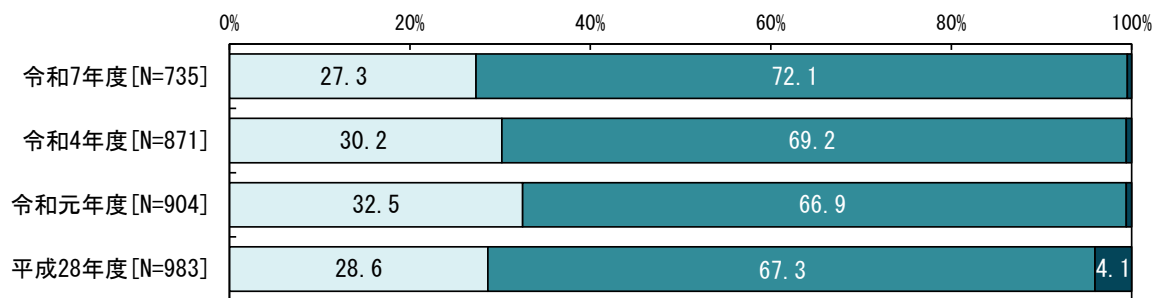
地域区分別



年齢階層別



経年比較



□ いる ■ いない ■ 無回答

(7) - ②家族介護への関わり

質問文

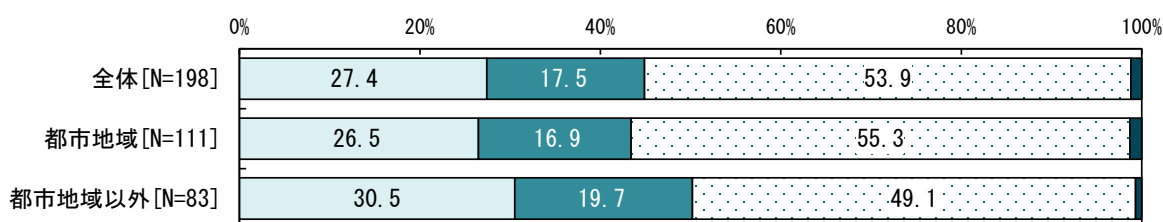
問 26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1) あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

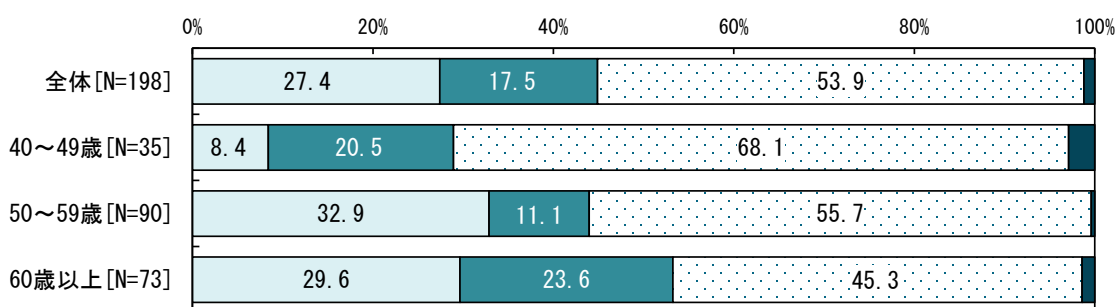
- 介護が必要な家族のいる人に、家族介護への関わりについて聞いたところ、「それほど介護には関わっていない」が53.9%と最も多くなっています。次いで、「主に自分が介護している」が27.4%、「他の家族が介護しているのを手伝っている」が17.5%となっています。
- 経年比較では、「それほど介護には関わっていない」の割合が徐々に増えています。

図表 27 家族介護への関わり

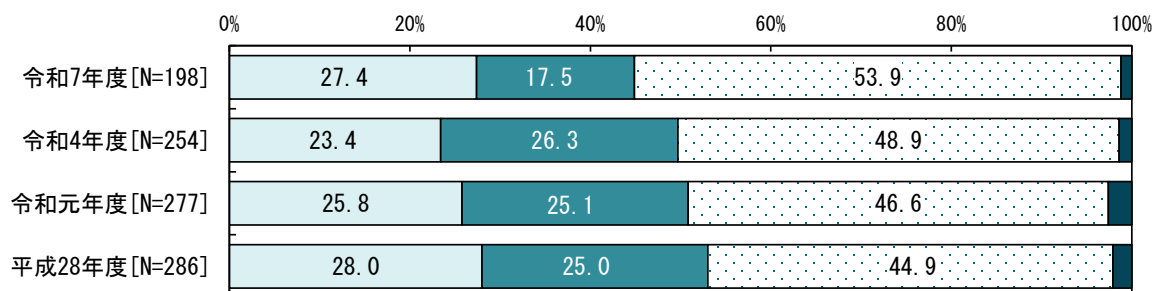
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 主に自分が介護している
- 他の家族が介護しているのを手伝っている
- それほど介護には関わっていない
- 無回答

(7) - ③介護辞職等の状況

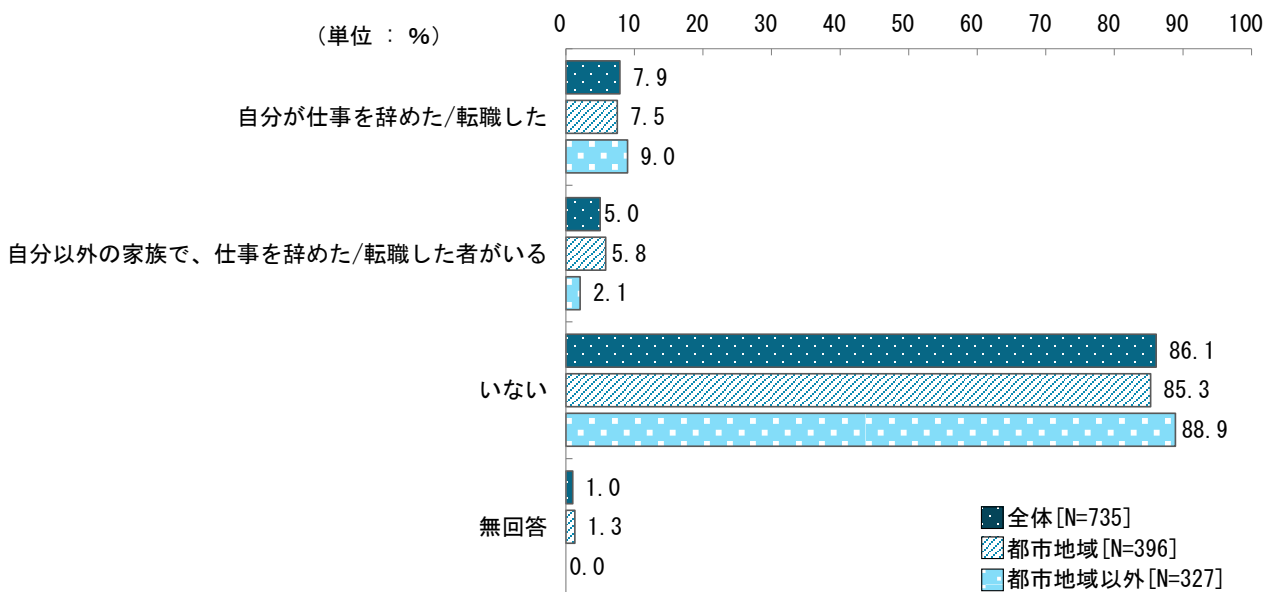
質問文

問 26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。
 (2) ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

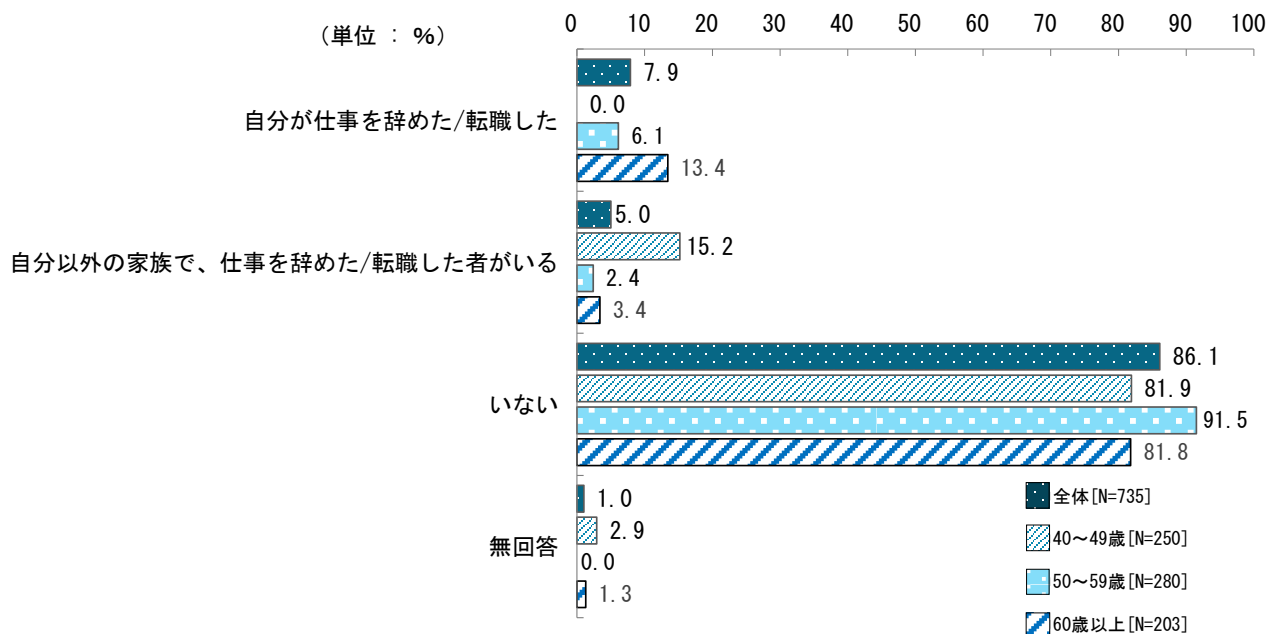
- 介護が必要な家族のいる人に、家族の中で介護辞職等をした人がいるかどうかを聞いたところ、「自分が仕事を辞めた／転職した」は7.9%、「自分以外の家族で、仕事を辞めた／転職した者がいる」は5.0%となっています。
- 年齢階層別では、60歳以上で「自分が仕事を辞めた／転職した」、40～49歳で「自分以外の家族で、仕事を辞めた／転職した者がいる」の割合が多くなっています。

図表 28 介護辞職等の状況（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



(7) - ④介護で困っていることなど

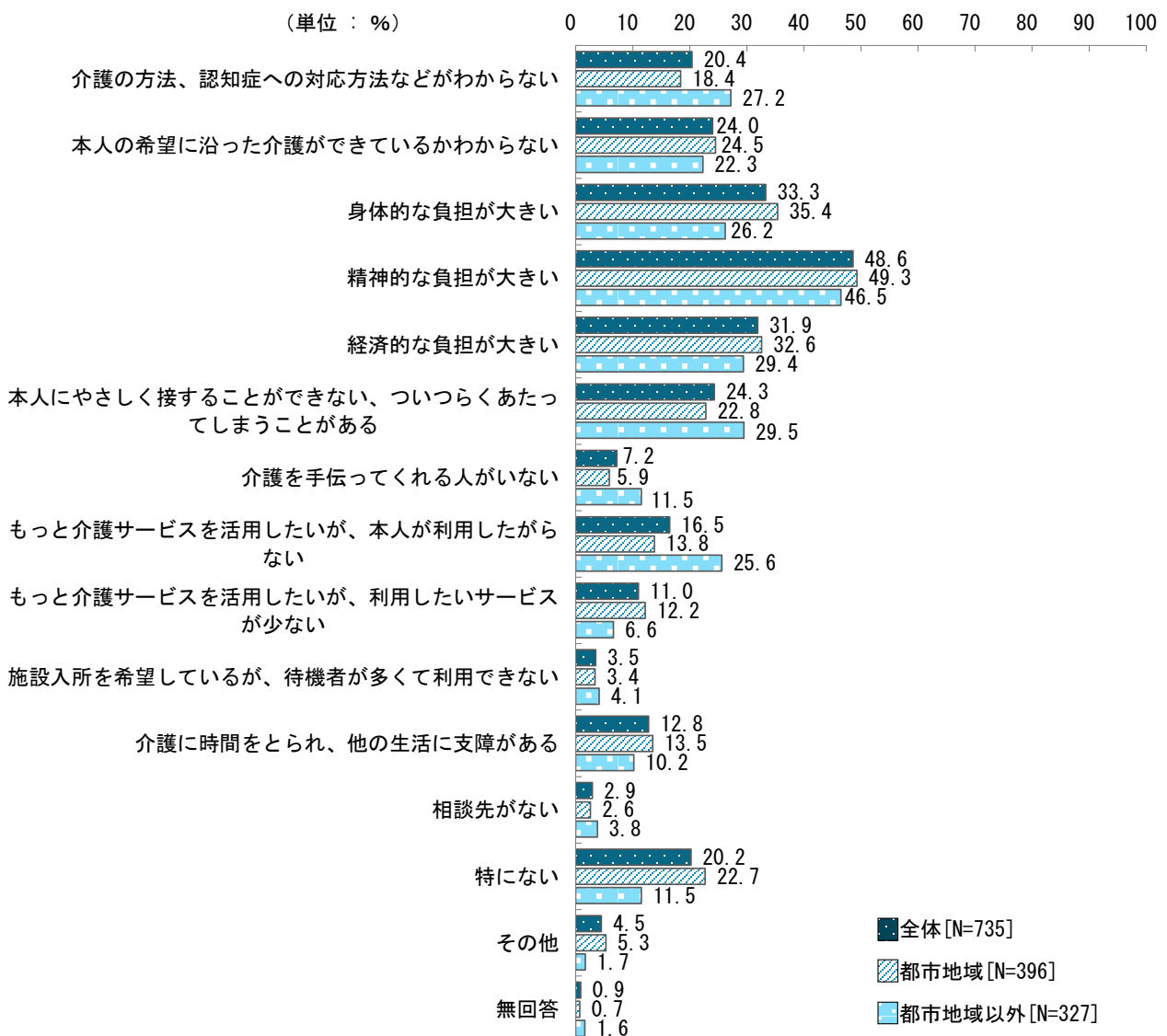
質問文

問 26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。
 (3) 介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

- 介護が必要な家族のいる人に、介護で困っていることなどについて聞いたところ、「精神的な負担が大きい」が48.6%と最も多く、次いで、「身体的な負担が大きい」が33.3%、「経済的な負担が大きい」31.9%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域で都市地域以外に比べて「身体的な負担が大きい」「精神的な負担が大きい」「経済的な負担が大きい」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、40～49歳で「身体的な負担が大きい」「経済的な負担が大きい」「介護に時間をとられ、他の生活に支障がある」の割合が多くなっています。

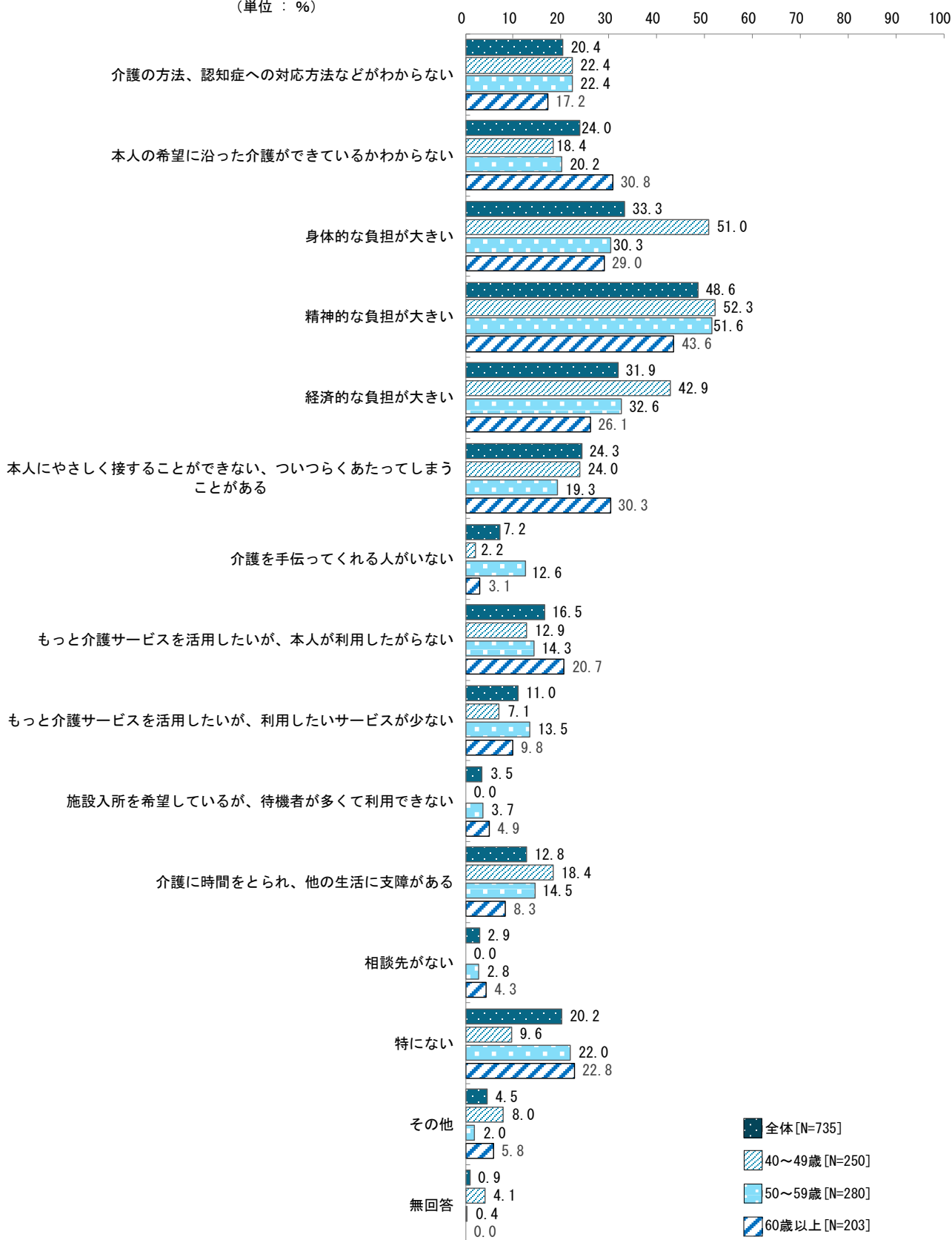
図表 29 介護で困っていることなど（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)



(8) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

(8) - ① 高齢者の生活支援事業参加への興味

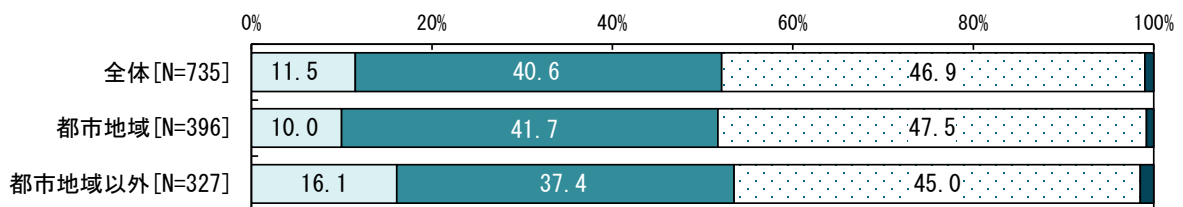
質問文

問 27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

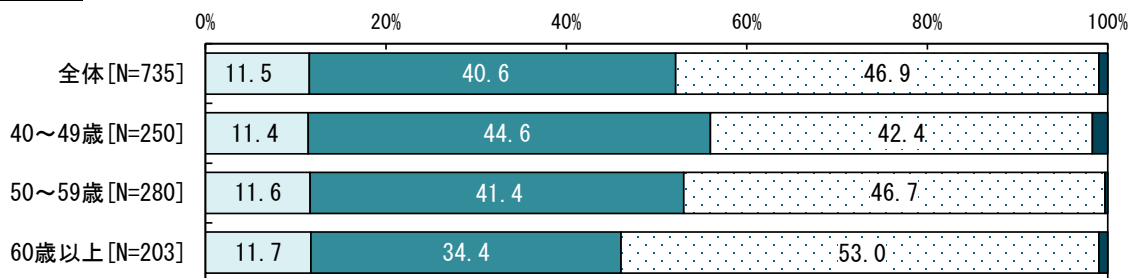
- 高齢者の生活支援事業に参加することについて興味があるかどうかを聞いたところ、「ない」が46.9%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が40.6%、「ある」が11.5%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「ない」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」の割合が徐々に増えてきています。

図表 30 高齢者の生活支援事業参加への興味

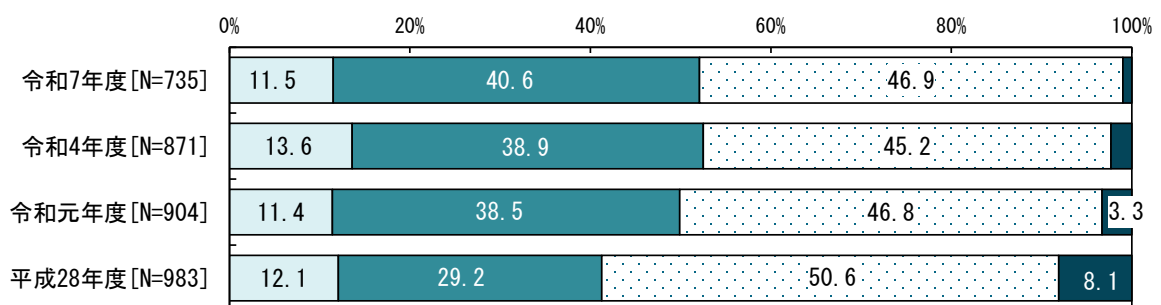
地域区分別



年齢階層別



経年比較



ある 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある ない 無回答

(8) - ②高齢者支援事業への参加の仕方の希望

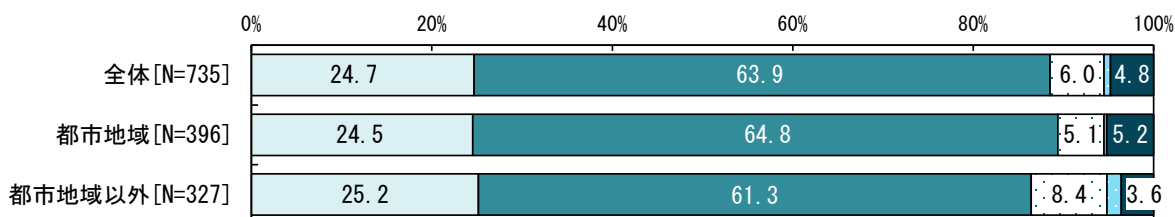
質問文

問 28 前問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。
(あてはまるもの1つに○)

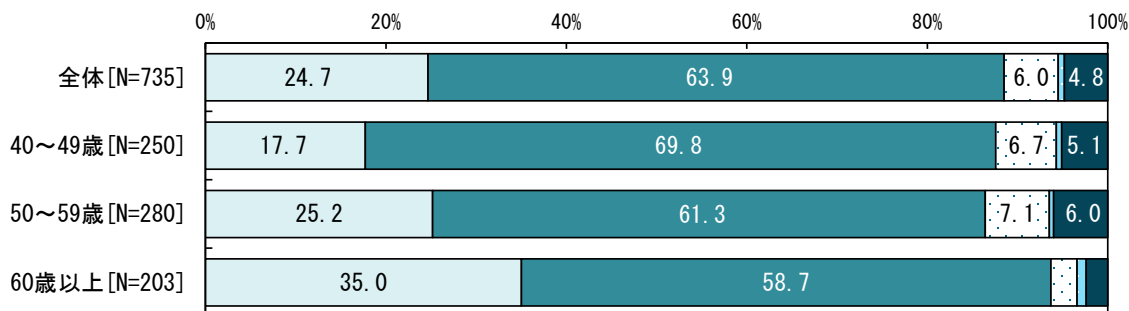
- 高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望を聞いたところ、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)」が63.9%、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が24.7%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)」の割合が多くなっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」の割合が減っています。

図表 31 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

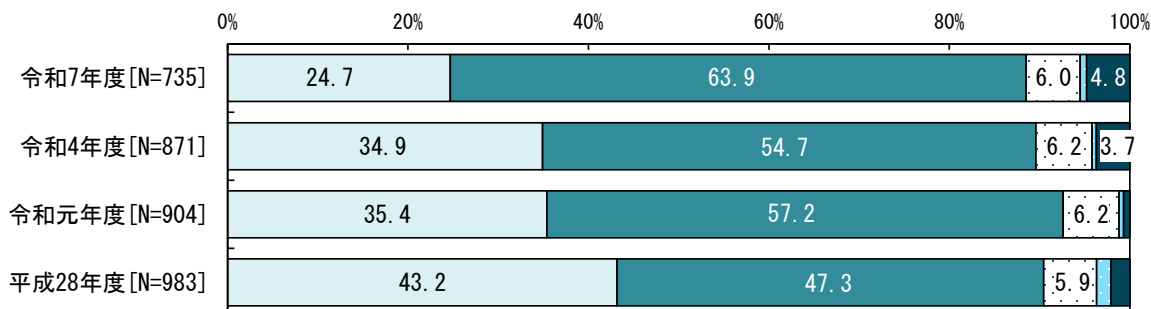
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
- 給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい (短時間のパート・アルバイト含む)
- 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
- その他
- 無回答

(9) 介護保険制度等について

(9)- ①介護保険制度やサービスについて知りたいこと

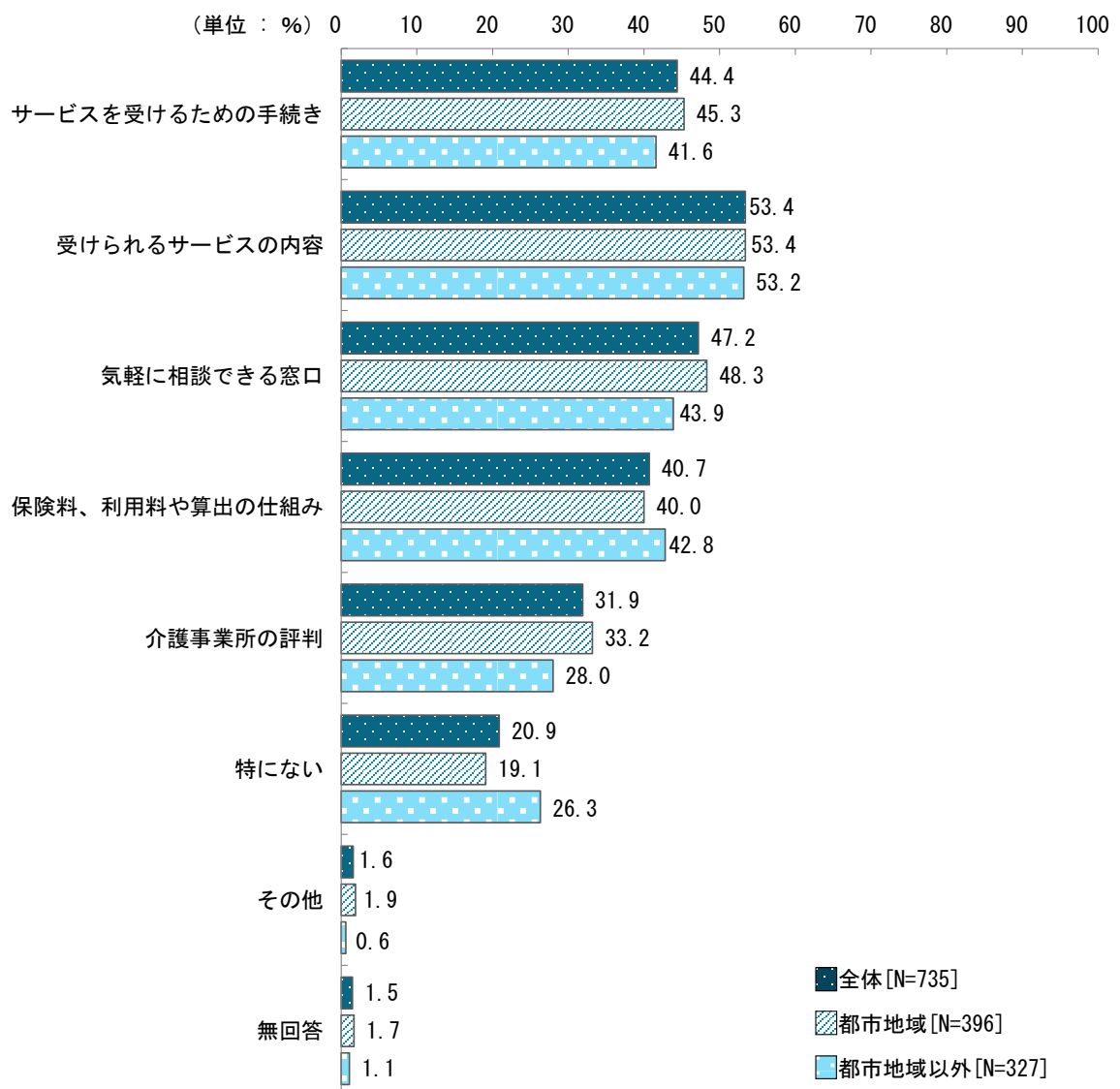
質問文

問 29 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

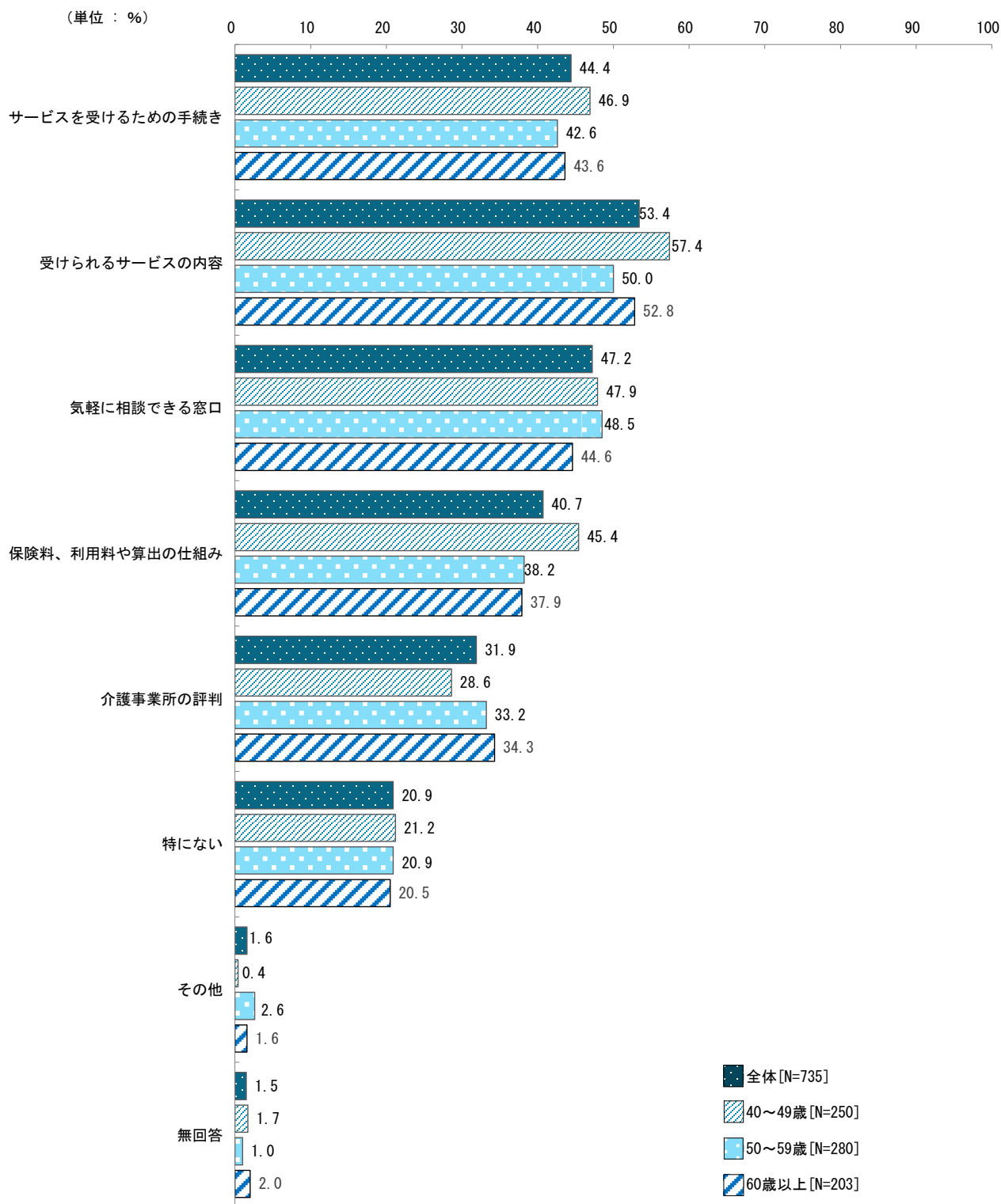
- 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことを聞いたところ、「受けられるサービスの内容」が53.4%と最も多く、次いで、「気軽に相談できる窓口」が47.2%、「サービスを受けるための手続き」が44.4%等と続いています。
- 年齢階層別では、40～49歳で「サービスを受けるための手続き」「受けられるサービスの内容」「保険料、利用料や算出の仕組み」の割合が多くなっています。

図表 32 介護保険制度やサービスについて知りたいこと（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



(9) - ②介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方

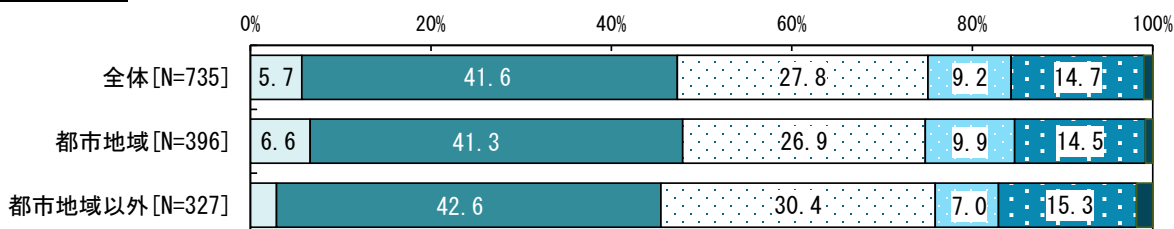
質問文

問 30 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

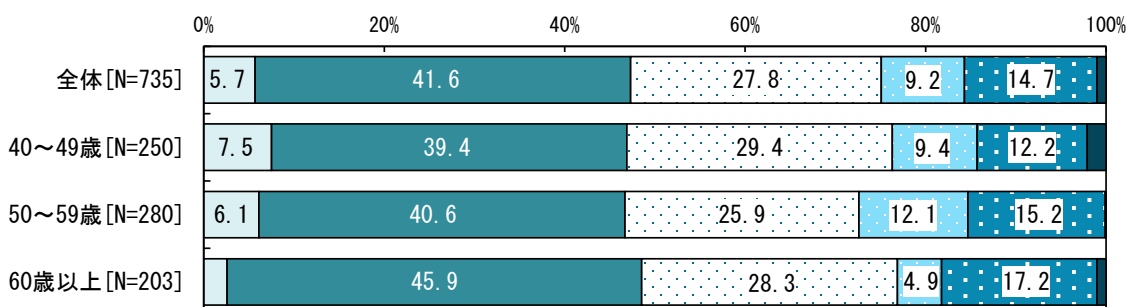
- 介護保険のサービスと介護保険料の負担について、考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が41.6%と最も多く、次いで、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない」が27.8%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき」の割合が多くなっています。

図表 33 介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方

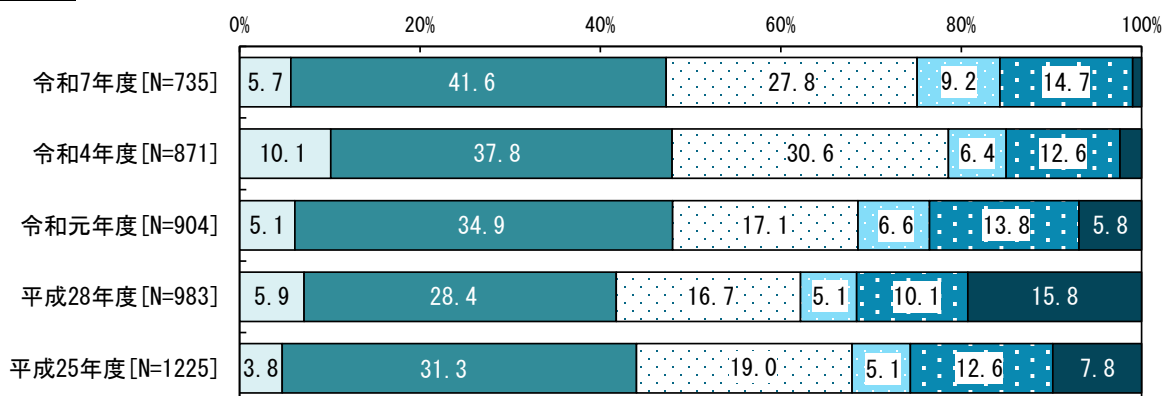
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 今介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

(9) - ③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

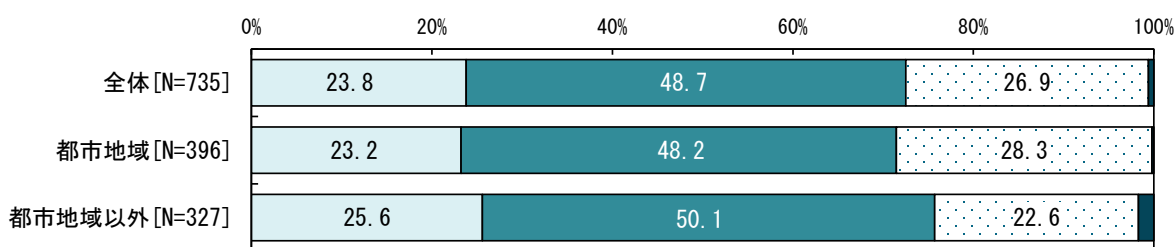
質問文

問 31 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

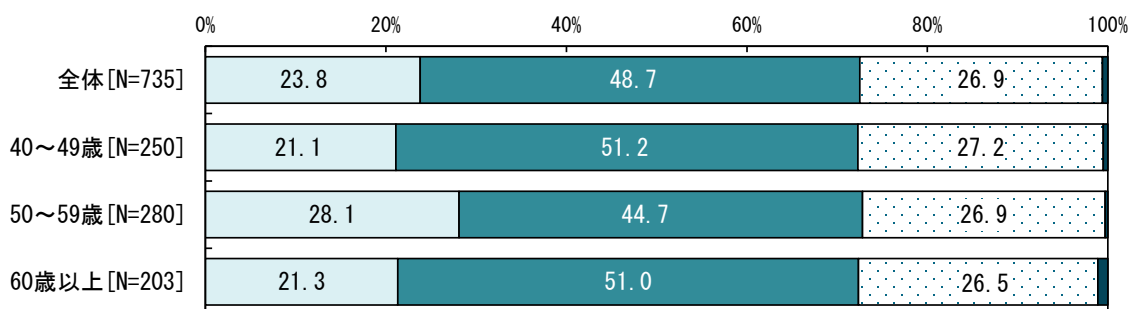
- 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について知っているかどうかを聞いたところ、「内容を知っている」は23.8%、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は48.7%、「名前も聞いたことがない」は26.9%となっています。
- 経年比較では、「名前も聞いたことがない」の割合が徐々に増えています。

図表 34 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

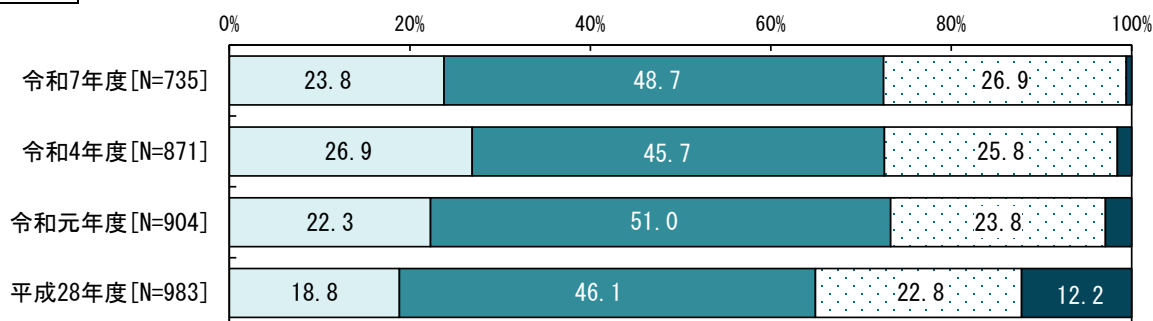
地域区分別



年齢階層別



経年比較



- 内容を知っている
- 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
- 名前も聞いたことがない
- 無回答

(10) 認知症について

(10) - ①認知症の人との関わり

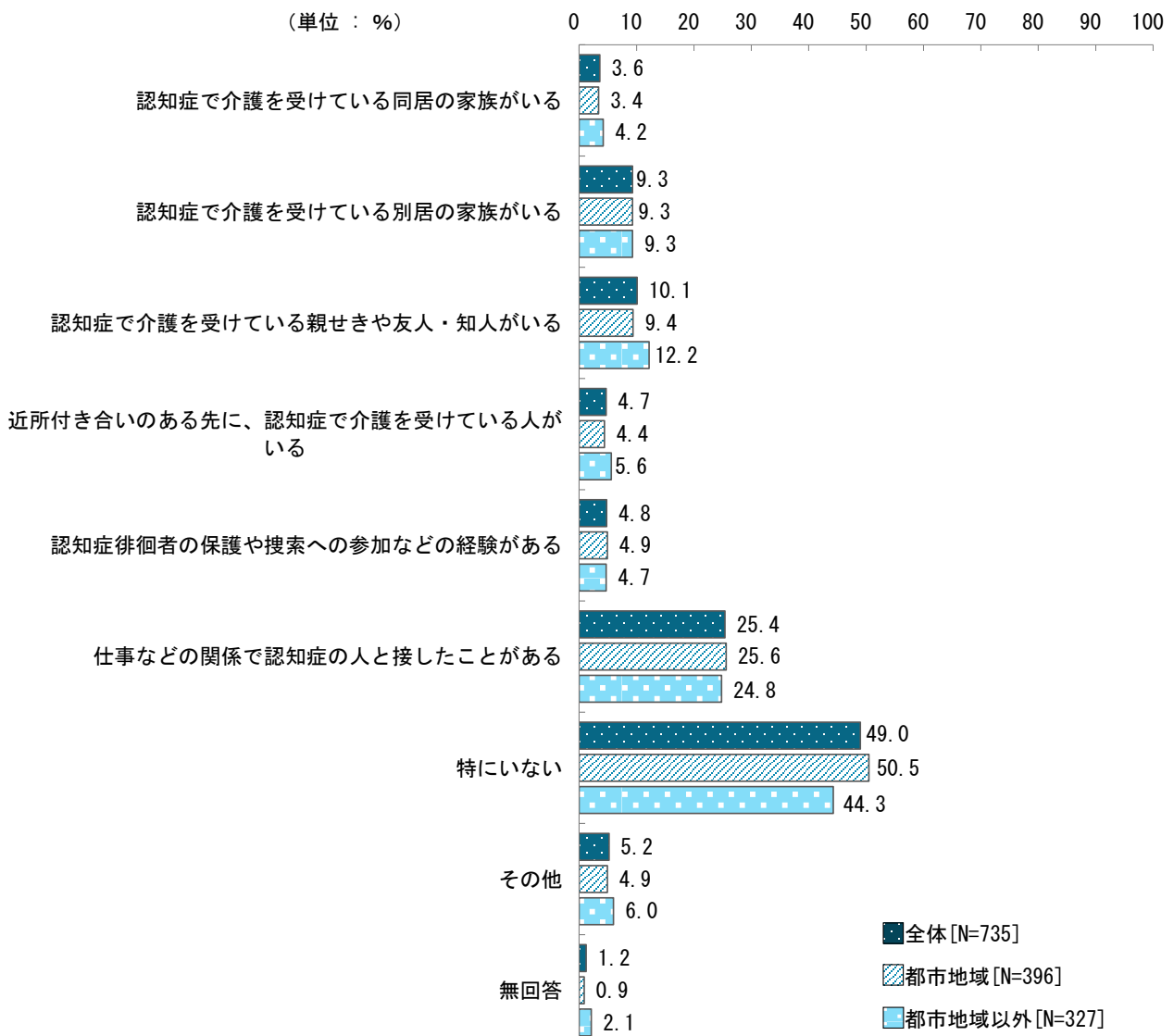
質問文

問 32 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

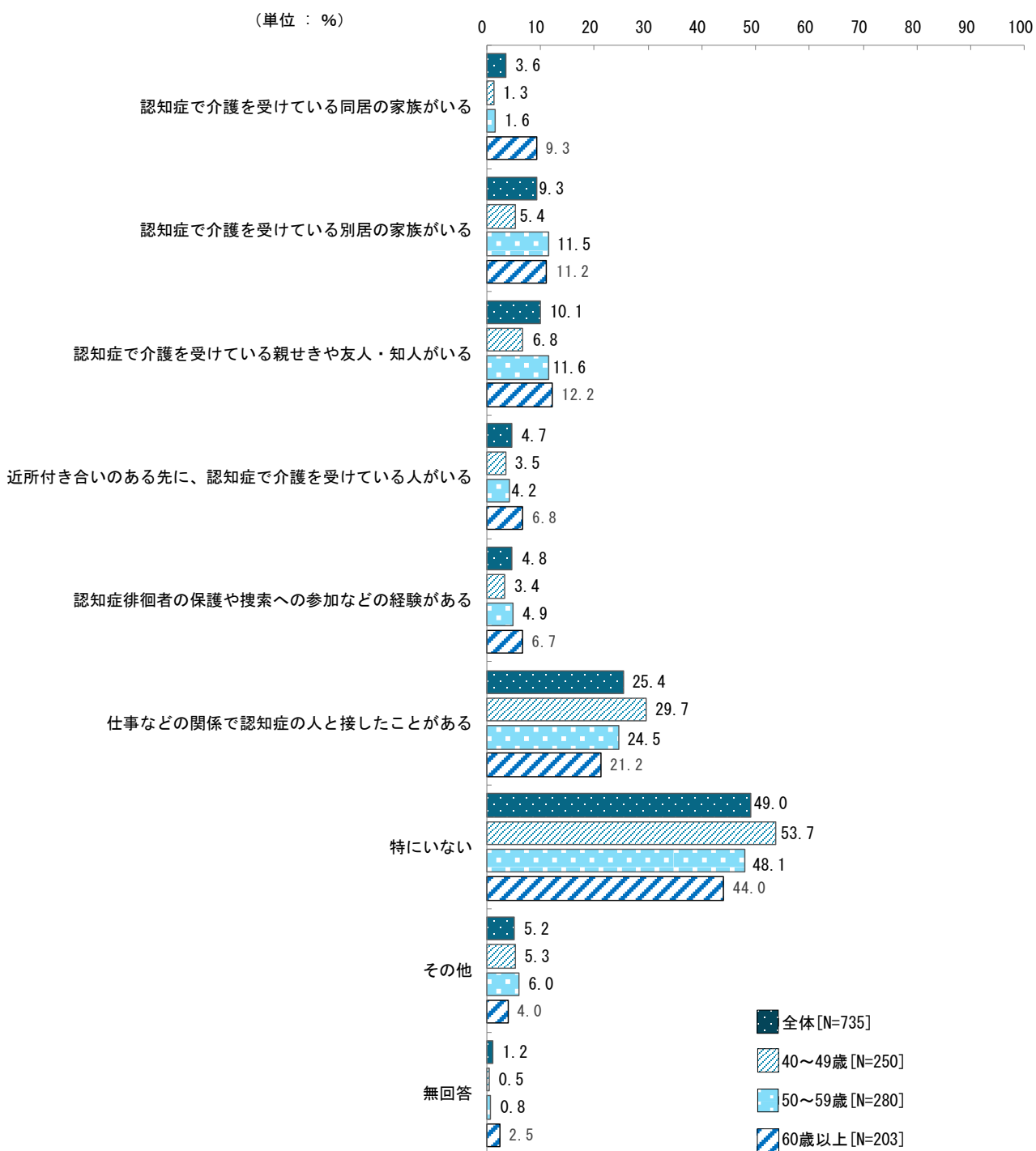
- 認知症の人との関わりの有無を聞いたところ、「特にいない」が49.0%となっています。関わりのある人では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が25.4%と最も高く、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が10.1%、「認知症で介護を受けている別居の家族がいる」が9.3%等となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「特にいない」の割合が少なくなっています。

図表 35 認知症の人との関わり（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



(10) - ②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

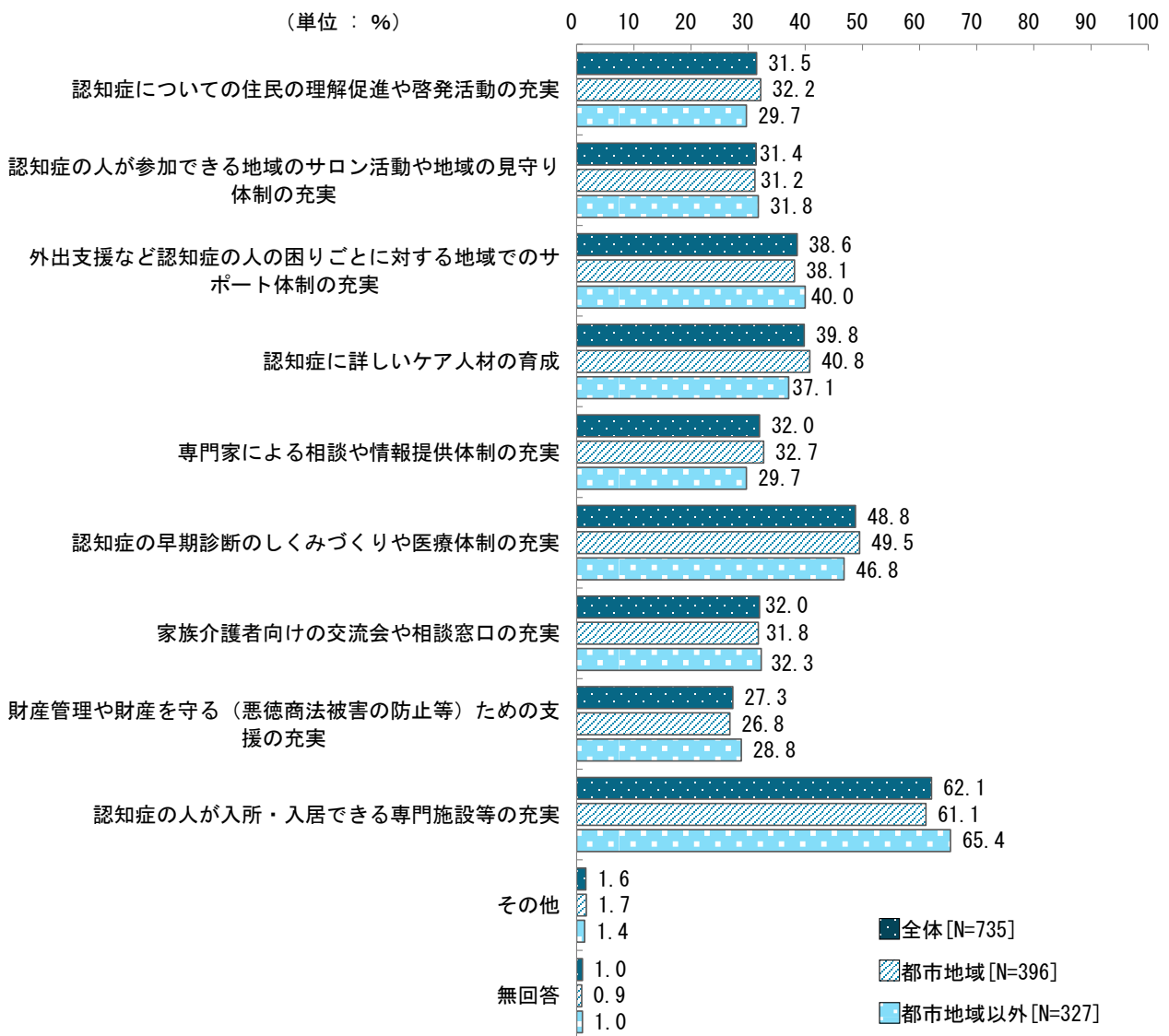
質問文

問 33 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が62.1%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が48.8%、「認知症に詳しいケア人材の育成」が39.8%、「外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実」が38.6%等と続いています。
- 年齢階層別では、40～49歳で「認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実」「認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実」等の割合が多くなっています。

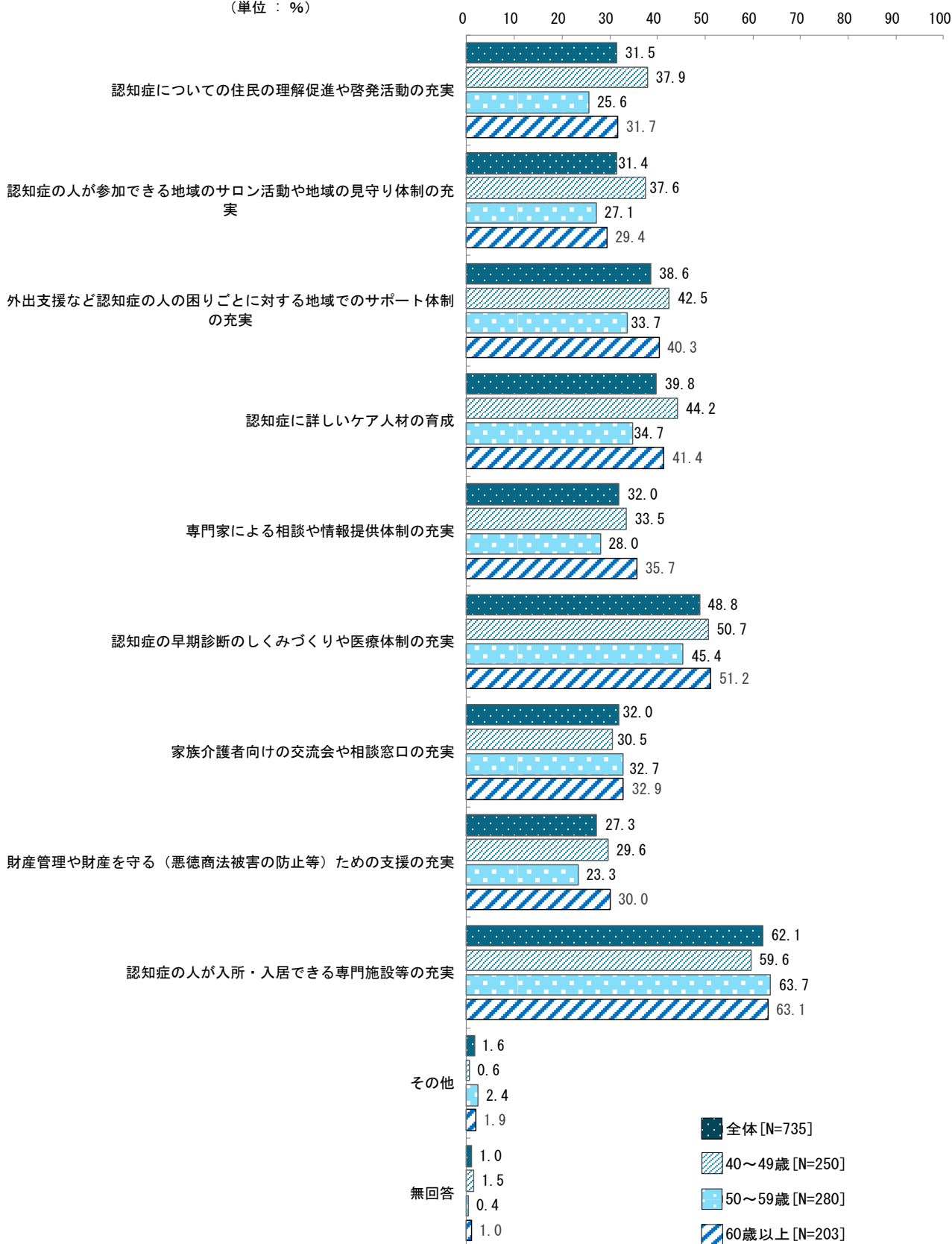
図表 36 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位：%)



(10) - ③若年性認知症の認知状況

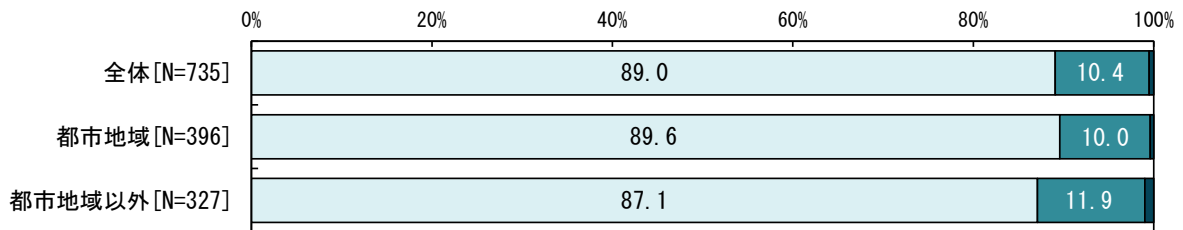
質問文

問 34 若年性認知症についてお聞きします。あなたは、「若年性認知症」（65歳未満で発症した認知症のこと）という言葉をご存知でしたか。（いずれか1つに○）

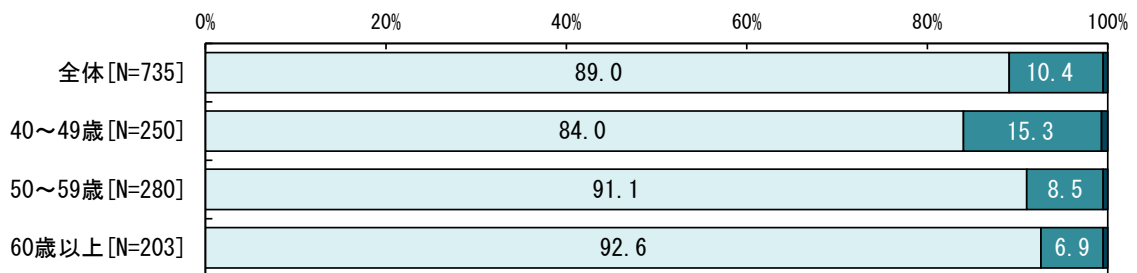
- 若年性認知症について知っているかどうかを聞いたところ、「知っている」が89.0%、「知らない」が10.4%となっています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「知っている」の割合が多くなっています。

図表 37 若年性認知症の認知状況

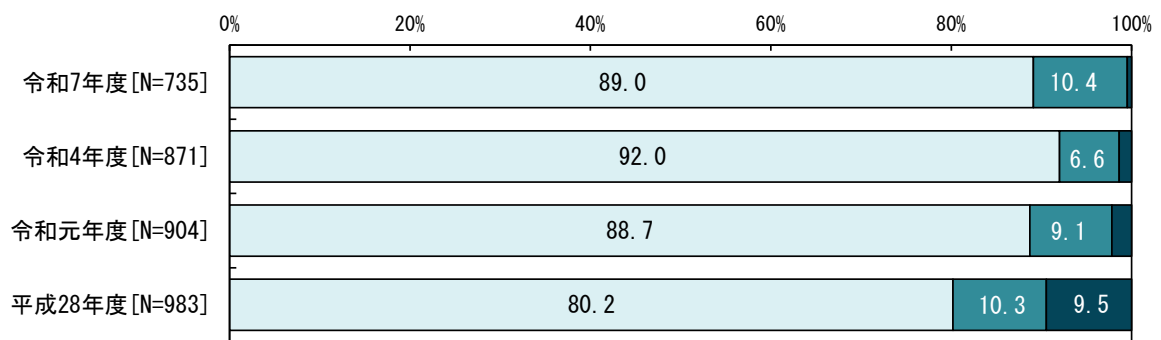
地域区分別



年齢階層別



経年比較



□ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

(10) - ④若年性認知症の人との関わり

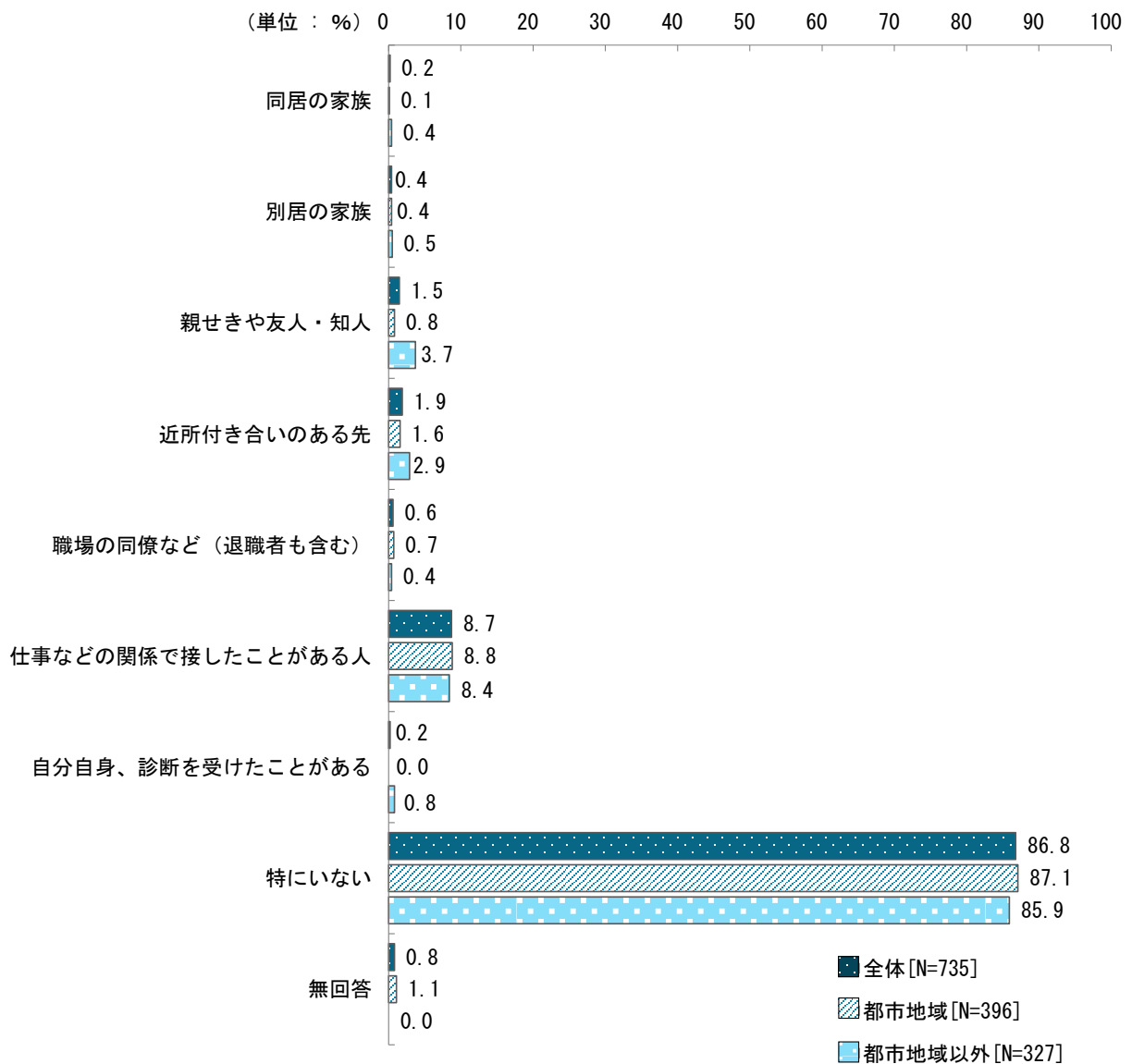
質問文

問 35 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。
 (1) あなたの身の回りで、若年性認知症で介護を受けている人はいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

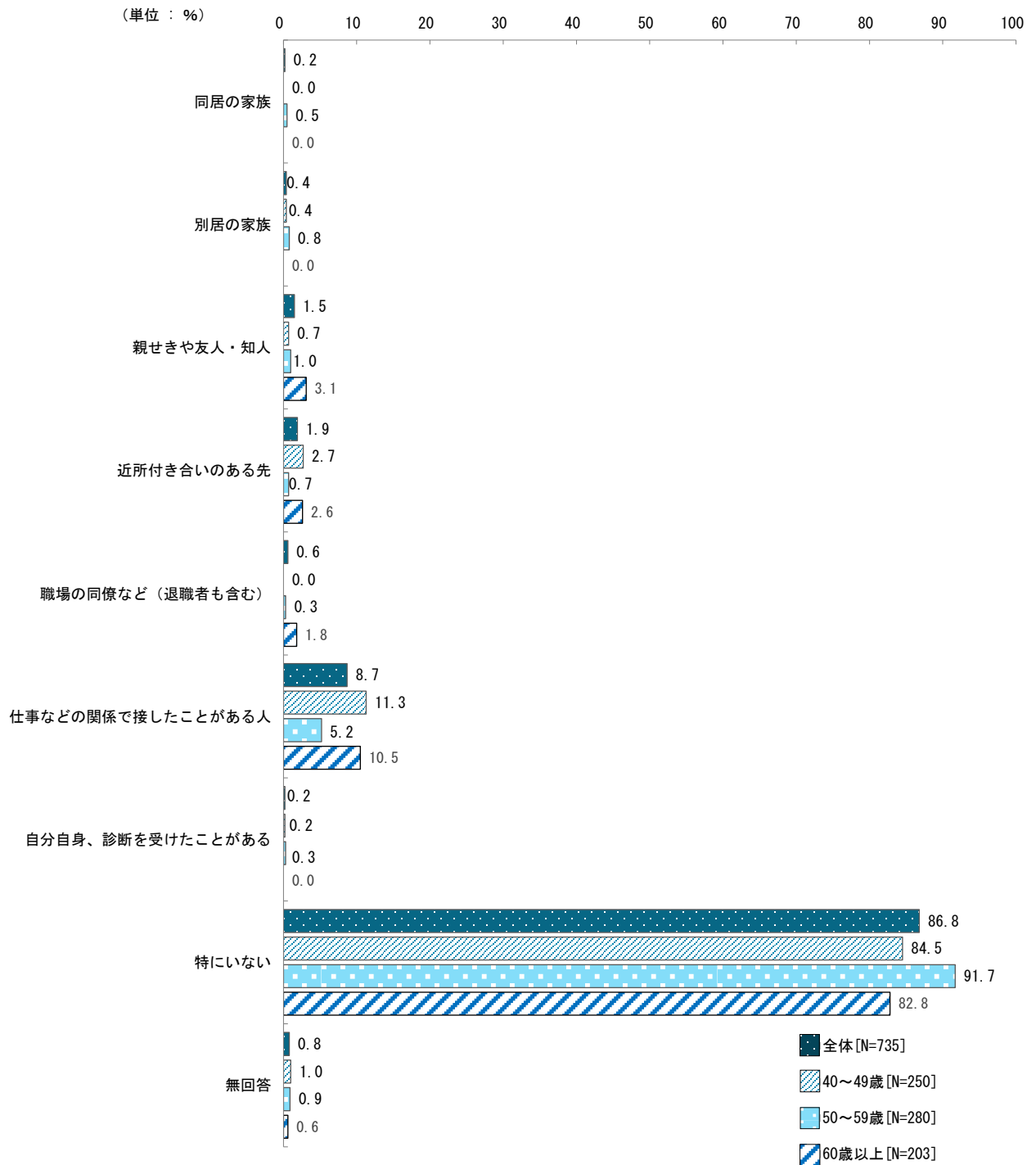
○ 若年性認知症を知っている人に、若年性認知症の人との関わりについて聞いたところ、「特にいない」が86.8%と多くなっています。関わりのある人では、「仕事などの関係で接したことがある人」が8.7%等となっています。

図表 38 若年性認知症の人との関わり（複数回答）

地域区分別



年齢階層別



(10) - ⑤ 認知症への支援

質問文

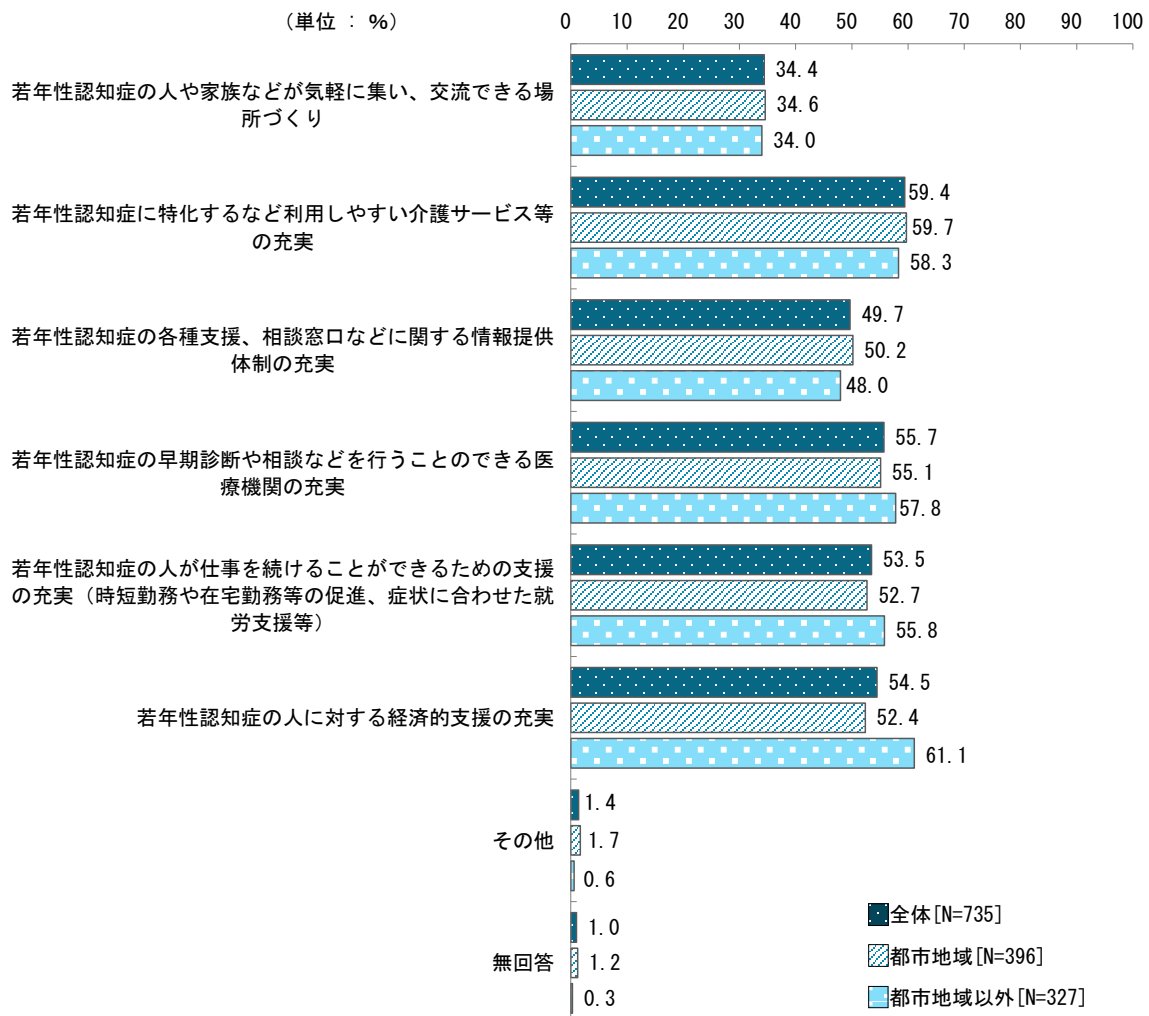
問 35 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

(2) 若年性認知症は、現役世代で認知症を発症するため、本人の仕事に支障が生じて経済的に困難な状況になる、家族への影響が大きい、高齢者でない人に適したサービスが少ないなど、高齢者の認知症とは異なるいろいろな問題があります。あなたは、若年性認知症の人に、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 若年性認知症の人への支援について必要と思うことを聞いたところ、「若年性認知症に特化するなど利用しやすい介護サービス等の充実」が 59.4%と最も多く、「若年性認知症の早期診断や相談などを行うことのできる医療機関の充実」が 55.7%、「若年性認知症の人に対する経済的支援の充実」が 54.5%、「若年性認知症の人が仕事を続けることができるための支援の充実（時短勤務や在宅勤務等の促進、症状に合わせた就労支援等）」が 53.5%等と続いています。
- 年齢階層別では、年齢が上がるにつれ「若年性認知症の早期診断や相談などを行うことのできる医療機関の充実」「若年性認知症の人が仕事を続けることができるための支援の充実（時短勤務や在宅勤務等の促進、症状に合わせた就労支援等）」等の割合が減っています。

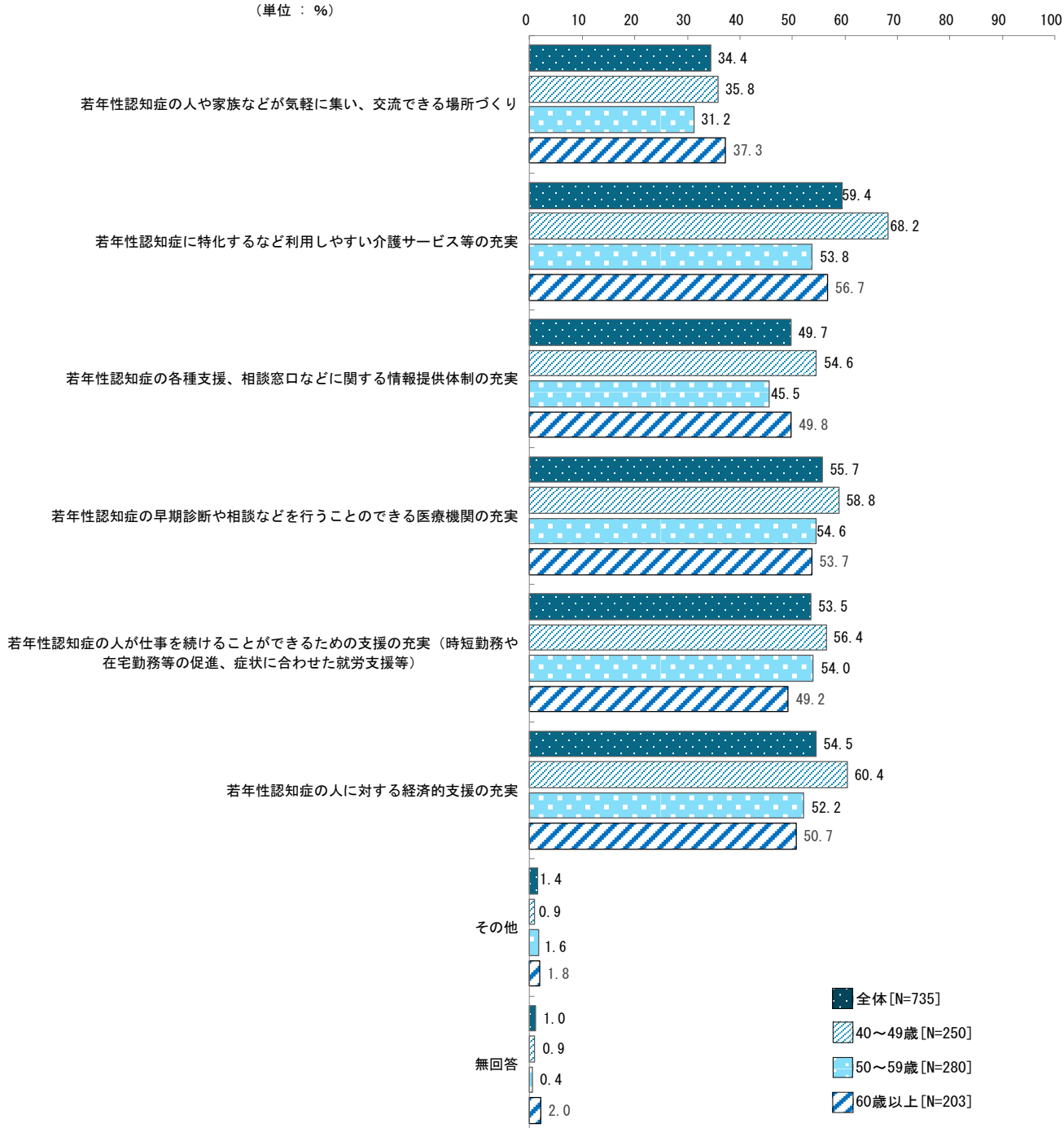
図表 39 若年性認知症への支援（複数回答）

地域区分別



年齢階層別

(単位 : %)



(10) - ⑥認知症の相談窓口

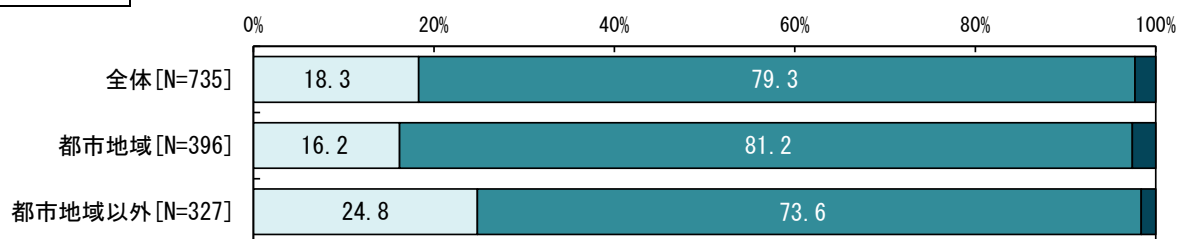
質問文

問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

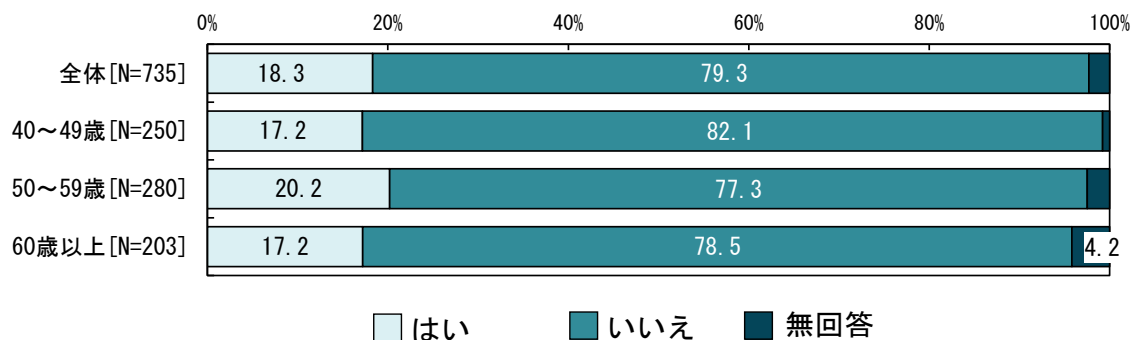
- 認知症に関する相談窓口を知っているか聞いたところ、「はい」が18.3%、「いいえ」が79.3%となっています。
- 年齢階層別では、50～59歳で「はい」の割合が多くなっています。

図表 40 認知症相談窓口の認知状況

地域区分別



年齢階層別



□ はい ■ いいえ ■ 無回答

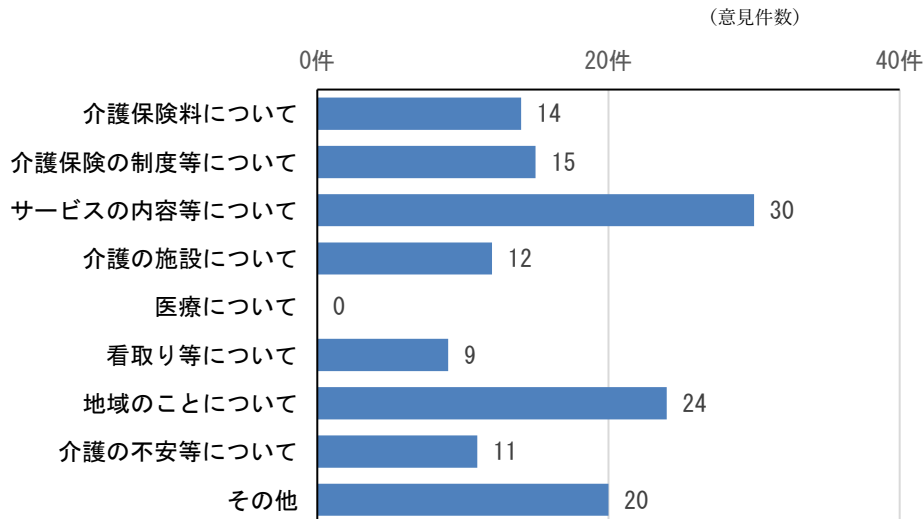
(11) 自由意見

質問文

問 37 高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスなど）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

○ 自由意見は、135 件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。サービスの内容や地域のことについての意見が多くなっています。

図表 41 自由意見の意見内容の内訳



【主な意見】

(介護保険料について)

- ・田舎では車がないと生活が不便で、支援がなければ自宅で暮らせなくなる不安があります。年金生活では保険料負担が大きく、生活が成り立たない心配もあります。
- ・介護保険料が多少上がってもサービス維持と人材確保を望みます。介護福祉士として働いた際、低賃金と人手不足で続けられませんでした。若い人が住み続けられる地域づくりが必要です。
- ・介護保険料が大切なのは理解していますが、収入に対して負担が大きく、もう少し安くないかと思います。

(介護保険の制度等について)

- ・要介護認定では家族の意見をもっと重視すべきです。本人はプライドから実態と違う申告をしがちで、短時間調査では判断が難しいため、家族の状況も含め正確に見極めてほしいです。
- ・相談先が分からず困る声が多く、窓口の説明が丁寧でないとの話もあります。介護申請は初めての人が多いため、行政が丁寧に対応し、働く世代にも理解しやすい支援が必要です。
- ・介護予防制度やケアマネジャーの在り方など、制度全体を見直し、真に支援が必要な高齢者と介護者に援助が確実に届く仕組みにすべきだと感じます。
- ・国民の税金を介護士の育成と増員に充て、補助金で働きやすい環境を整え、高齢者支援と介護保険制度を充実させるべきだと思います。

(サービスの内容等について)

- ・高齢者の生活支援の学習会があれば参加したい。どんなサービスがあるのか知りたい。
- ・色々なサービスを知る機会が少なく、普段から情報を得る方法が分かりません。もっと分かりやすい情報提供がほしいです。
- ・認知症は負担が大きく支援の相性も難しいです。人材確保とマッチングの幅を広げ、合う支援が受けられるようにしてほしいです。
- ・一人暮らしの高齢者が安心できるよう見守りや訪問を充実してほしいです。介護度に応じた支援もきめ細かく行き、ボランティア訪問も増やしてほしいです。
- ・サービスには資金が必要ですが今の議論は生産性が低いと感じます。経費削減や新しい発想で、全国にない斬新な行政運営を期待します。
- ・介護サービスがもっと気軽に使える社会になれば、負い目を感じず介護者の負担も減ると思います。

(介護の施設について)

- ・介護職経験があるため制度の有難さを感じますが、少子高齢化で人員不足が心配です。自分が高齢になる頃の介護サービスや施設の状況に不安があります。
- ・各施設に抜き打ち検査を行い、介護や食事の質を客観的に評価し公開してほしい。全職員の外部研修参加も義務化してほしいです。

(看取り等について)

- ・介護や認知症になる前に家族と意思決定できる支援が必要。望まない延命治療を避けるためにも、尊厳死などの情報提供と法整備が求められます。
- ・一人暮らし高齢者の孤独死が増えており、安否確認の仕組みが必要だと感じます。

(地域のことについて)

- ・車がなくても生活できる環境が必要で、免許返納したくてもできない現状がある。
- ・高齢者が気軽に集まれる場所がなく孤立が心配です。管理者不足も課題で、地域で楽しく過ごせる場づくりに協力したいです。
- ・公共交通が減り高齢者の移動が困難です。運転手への補助など交通維持の支援を求めます。
- ・過疎地域でも住み慣れた場所で暮らせるよう、国の支援強化が必要だと思います。

(介護の不安等について)

- ・いざという時どこへ相談すればよいか不安です。必要な情報をまとめた冊子が手元にあると安心できます。
- ・介護者の負担軽減のため、要介護者を預かる支援を充実させてほしいです。
- ・親の免許返納後の送迎負担が大きく、仕事と両立が難しいです。介護認定前でも支援が必要な場面があり、事前に制度を知っておきたいと感じます。

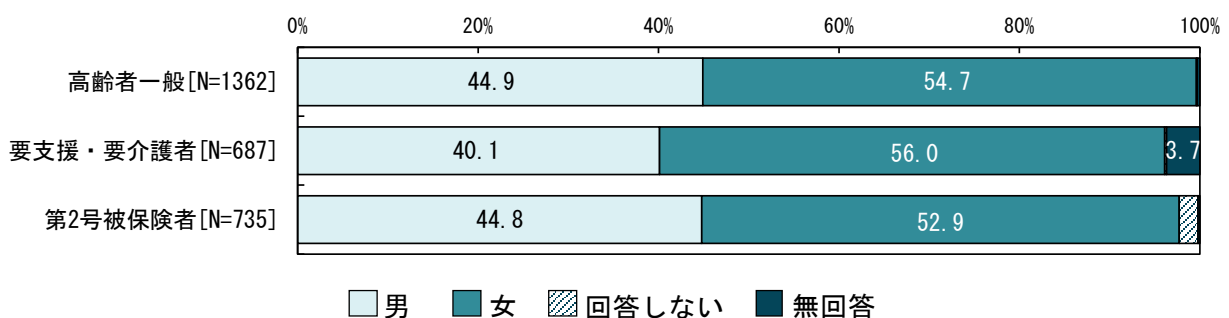
3 調査間の比較

(1) 回答者の属性

(1)- ①性別

○ 性別は、高齢者一般で「女」が54.7%、「男」が44.9%、要支援・要介護者で「女」が56.0%、「男」が40.1%、第2号被保険者で「女」が52.9%、「男」が44.8%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。

図表 42 性別

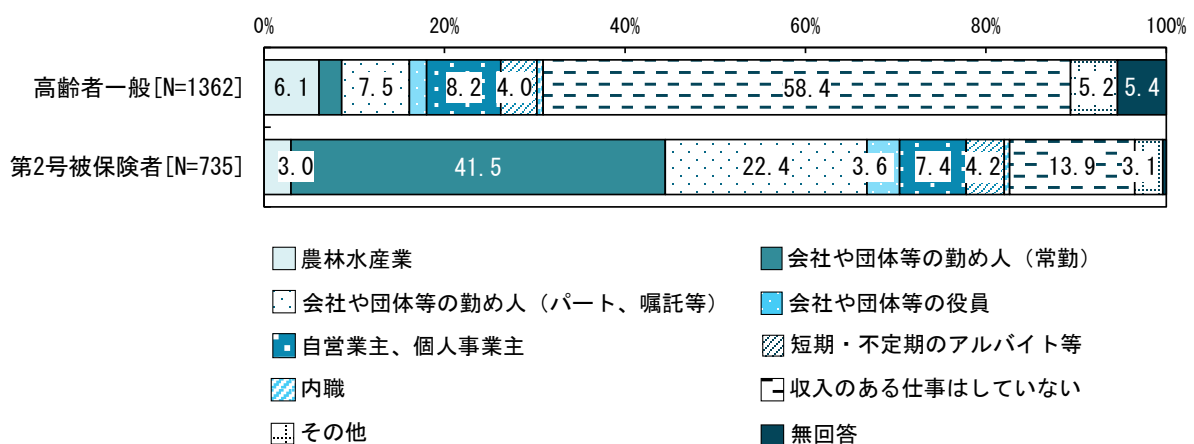


(1)- ②仕事

○ 高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が58.4%となっており、仕事をしている人では、「自営業主、個人事業主」が8.2%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が7.5%、「農林水産業」が6.1%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い比率となっています。

○ 仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が41.5%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が22.4%、「収入のある仕事はしていない」が13.9%等となっています。

図表 43 仕事

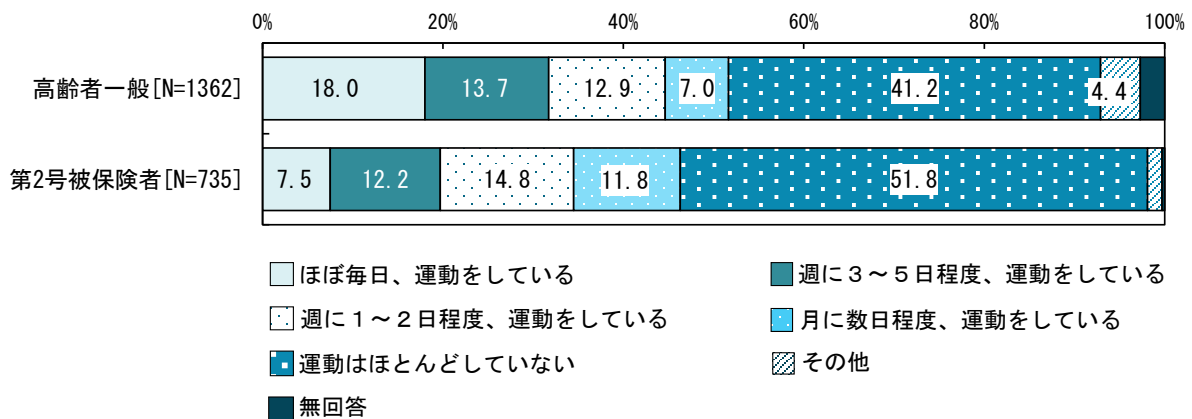


(2) 健康について

(2)- ①運動の状況

- 運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が41.2%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も18.0%と多くなっています。
- 第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が51.8%と半数以上見られ、次いで、「週に1~2日程度、運動をしている」が14.8%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。

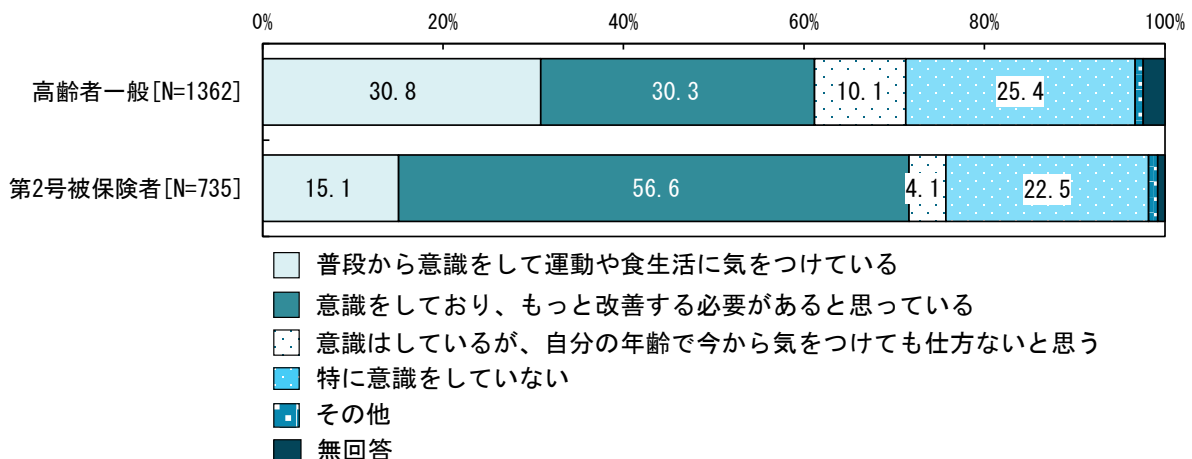
図表 44 運動の状況



(2)- ②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

- 健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が30.8%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が30.3%等となっています。
- 第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が56.6%と半数以上を占め、次いで、「特に意識をしていない」が22.5%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

図表 45 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

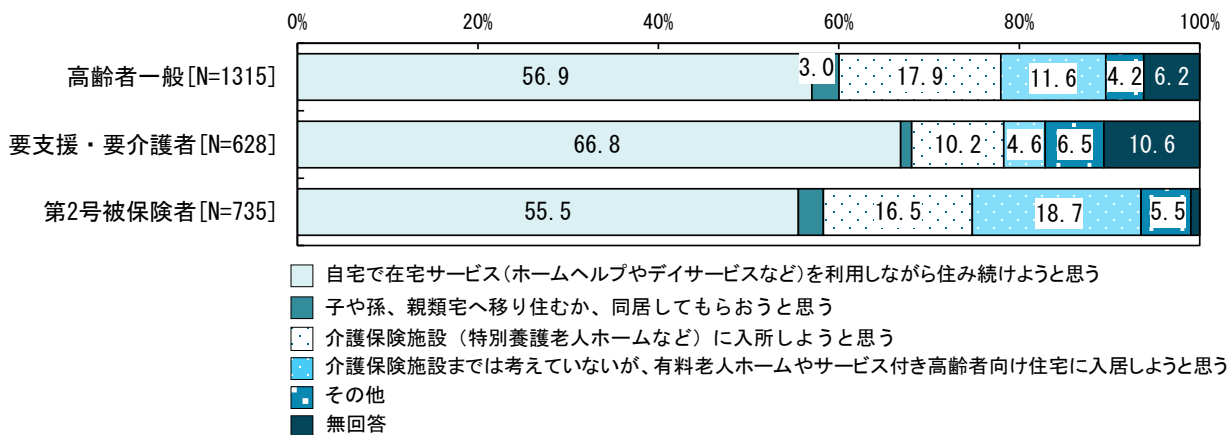


(3) 住まい、住み替えなどについて

(3)- ①住み替えの希望

○ 将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者の全てで、「自宅で在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっており、中でも要支援・要介護者で特に多くなっています。

図表 46 住み替えの希望

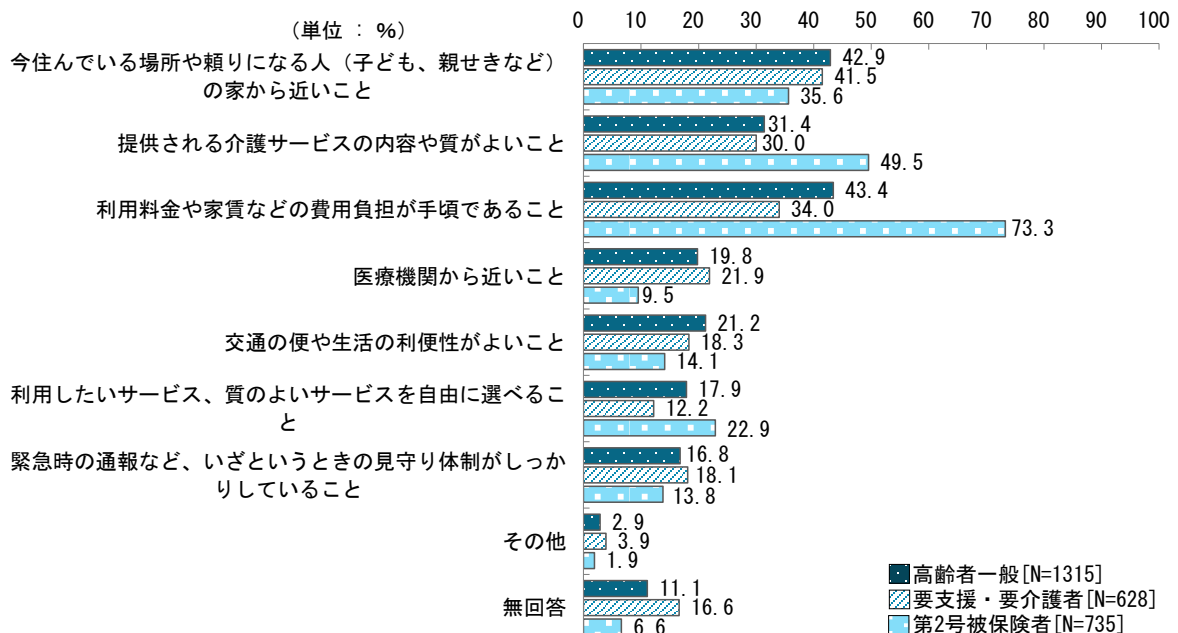


(3)- ②住み替えで重視すること

○ 住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと」や「医療機関から近いこと」が多くなっています。

○ 一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」の割合が多くなっています。

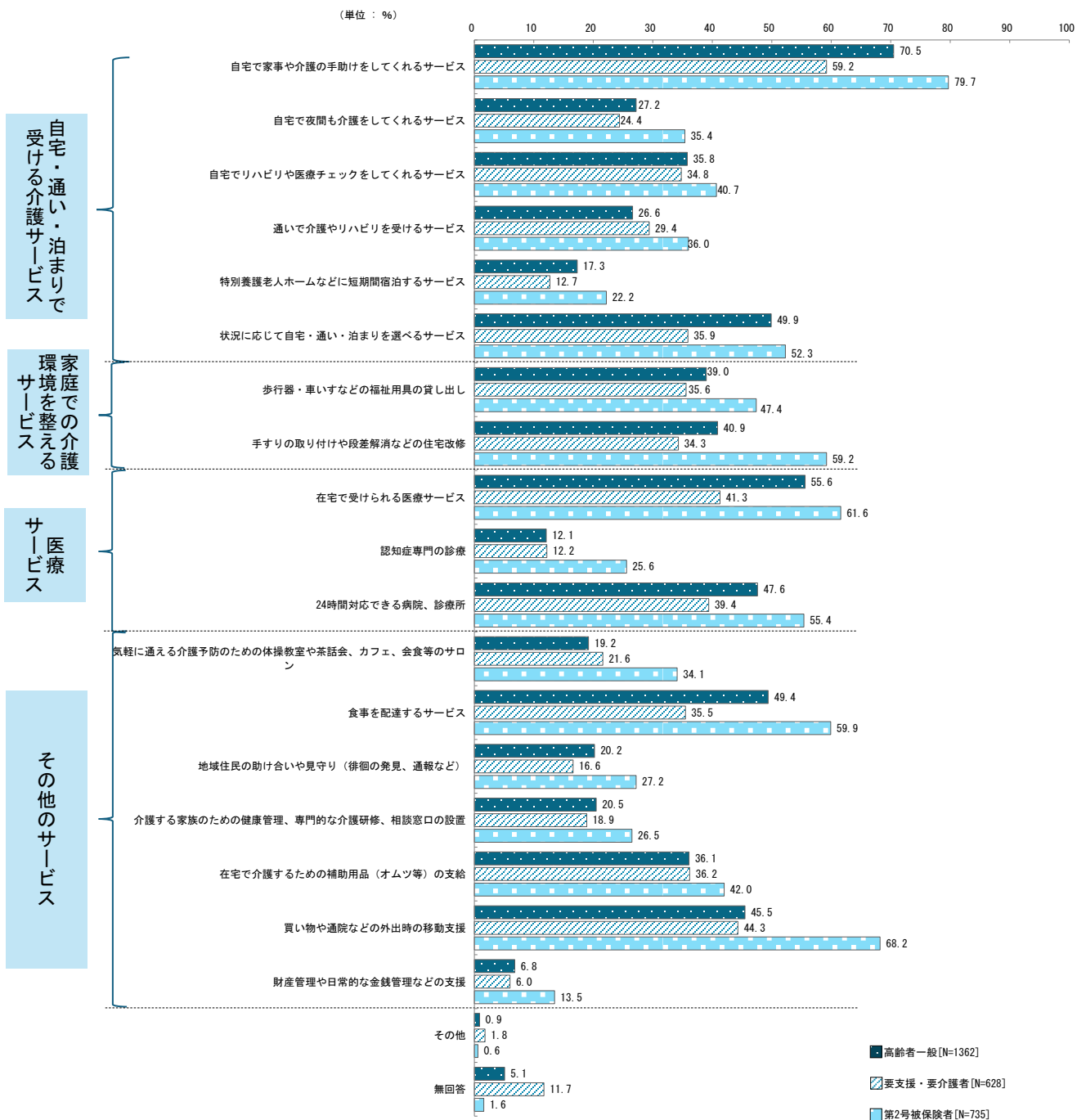
図表 47 住み替えで重視すること(複数回答)



(3)- ③在宅生活に必要なサービス

- 在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、全般的な傾向として、高齢者一般や要支援・要介護者に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が多くなっています。
- また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」の割合が最も多くなっています。

図表 48 在宅生活に必要なサービス（複数回答）

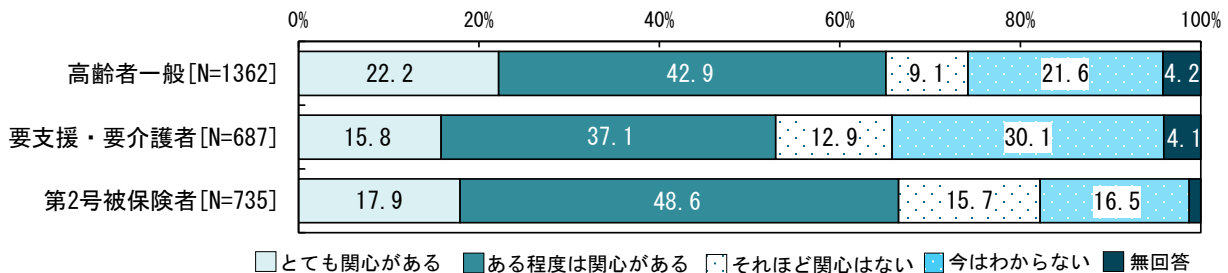


(4) 看取りなどについて

(4)- ①延命治療等への関心

○ 延命治療等への関心について聞いたところ、「とても関心がある」「ある程度は関心がある」を合わせた関心のある人の割合は高齢者一般が65.1%、第2号被保険者が66.5%となっています。一方、要支援・要介護者では52.9%とやや少なくなっています。

図表 49 延命治療等への関心

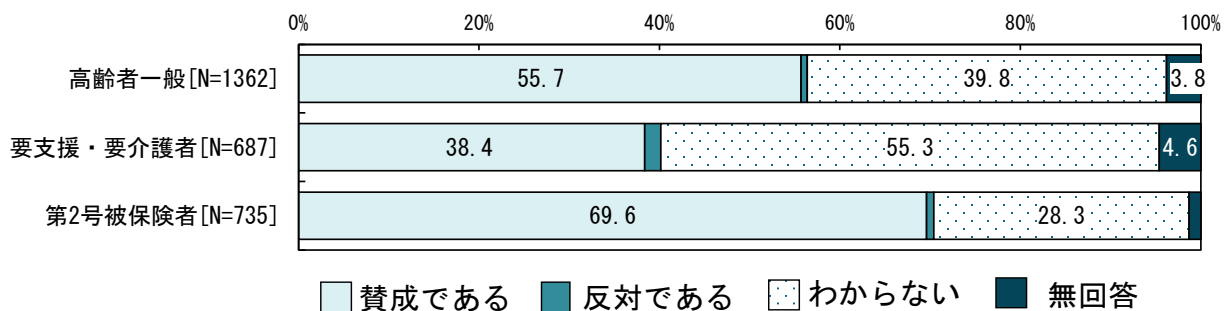


(4)- ②リビング・ウィルに対する意見

○ リビング・ウィルに対する意見を見ると、高齢者一般、第2号被保険者で延命治療に「賛成である」人が5~6割台と多くなっています。一方、要支援・要介護者では3割台と少なくなっています。

※リビング・ウィルとは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことです。

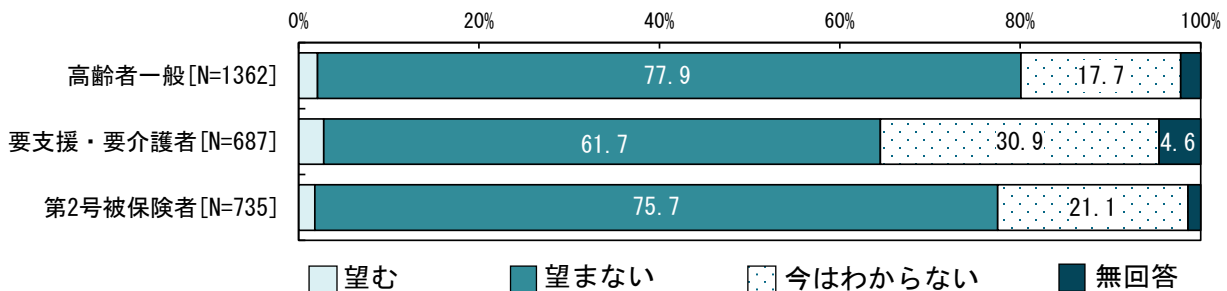
図表 50 リビング・ウィルに対する意見



(4) - ③延命治療に対する希望

○ 延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6~7割台でいずれの区分でも多くなっています。要支援・要介護者では、高齢者一般や第2号被保険者に比べ、「今はわからない」という人が多くなっています。

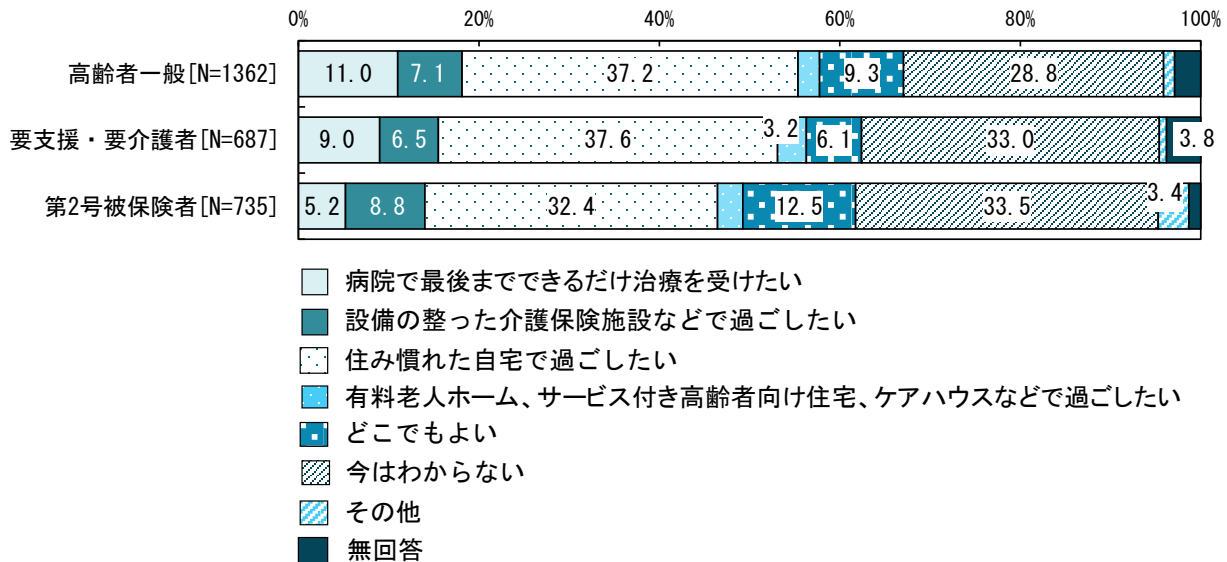
図表 51 延命治療に対する希望



(4) - ④最期を迎えたい場所

○ 最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がいずれの区分でも3割台となっています。一方、「今はわからない」という人も同様に3割台となっています。

図表 52 最期を迎えたい場所

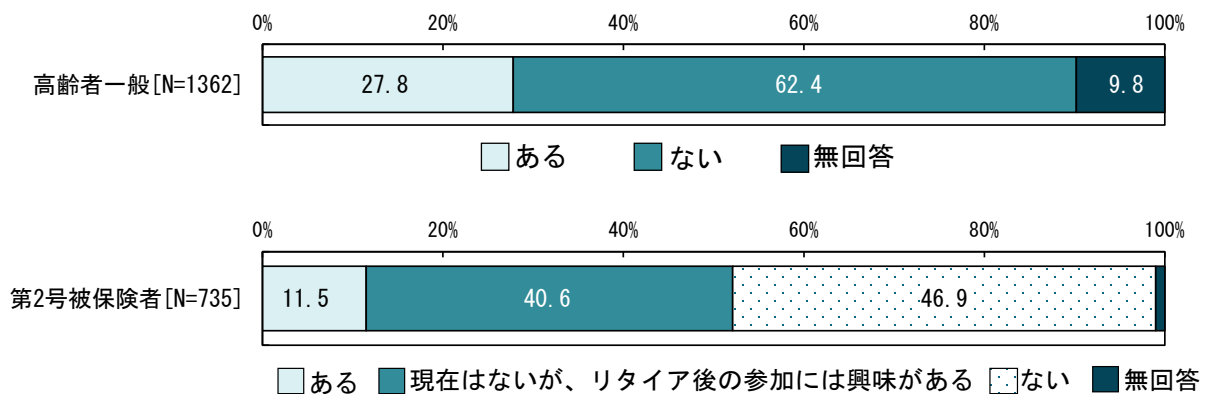


(5) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

(5) - ① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

- 高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「ない」が62.4%、「ある」が27.8%となっています。
- 第2号被保険者では、「ない」が46.9%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が40.6%、「ある」が11.5%となっています。

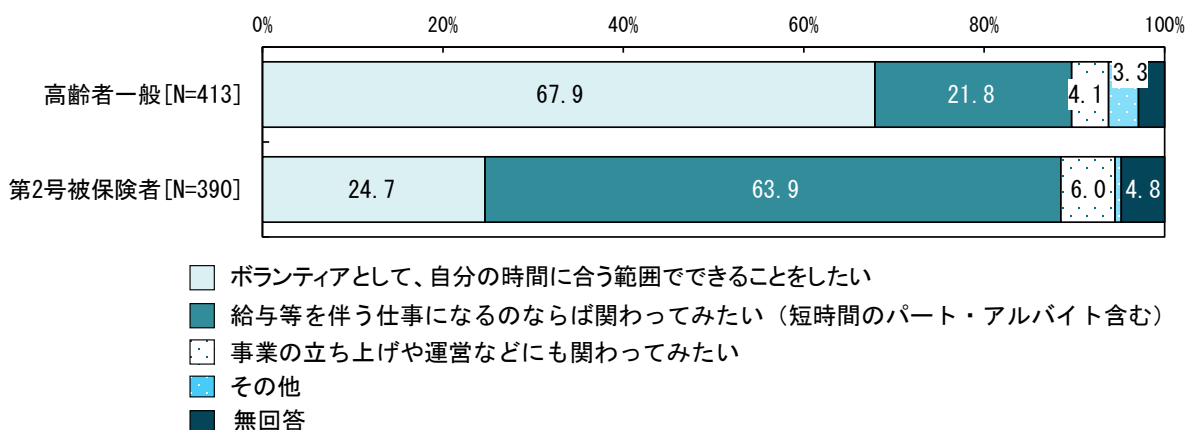
図表 53 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味



(5) - ② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

- 高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が67.9%と多くなっています。
- 一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が63.9%と多くなっています。

図表 54 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

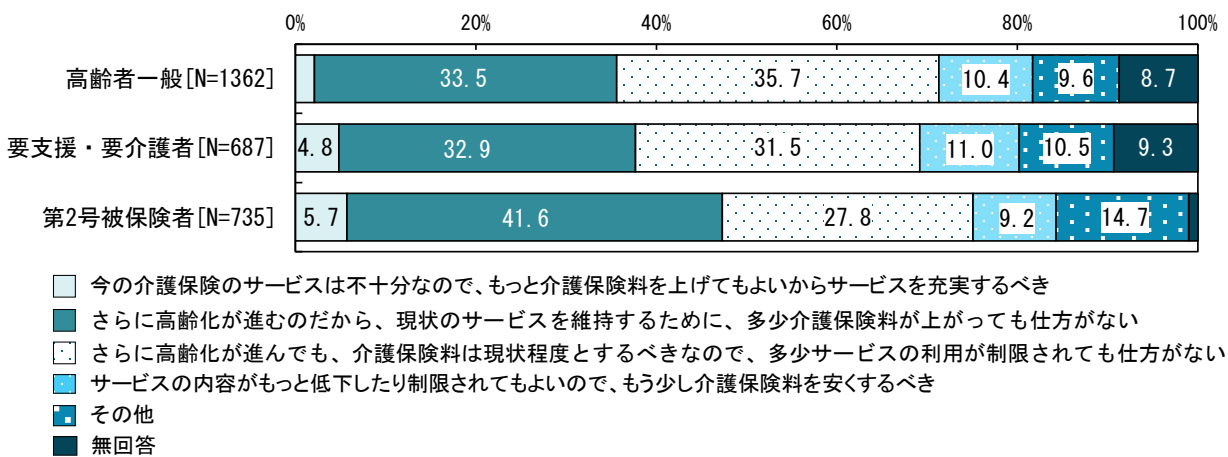


(6) 介護保険制度について

(6)- ①介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

- サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」と「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない」が近い割合で多くなっています。
- 一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が41.6%と最も多くなっています。

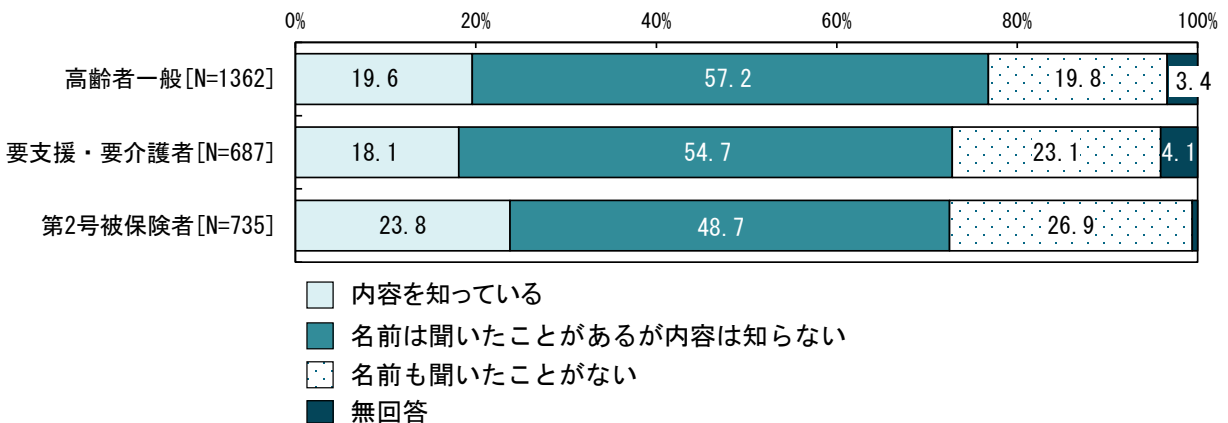
図表 55 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方



(6)- ②「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

- 福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では57.2%、要支援・要介護者では54.7%、第2号被保険者では48.7%と多くなっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知っていても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 56 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

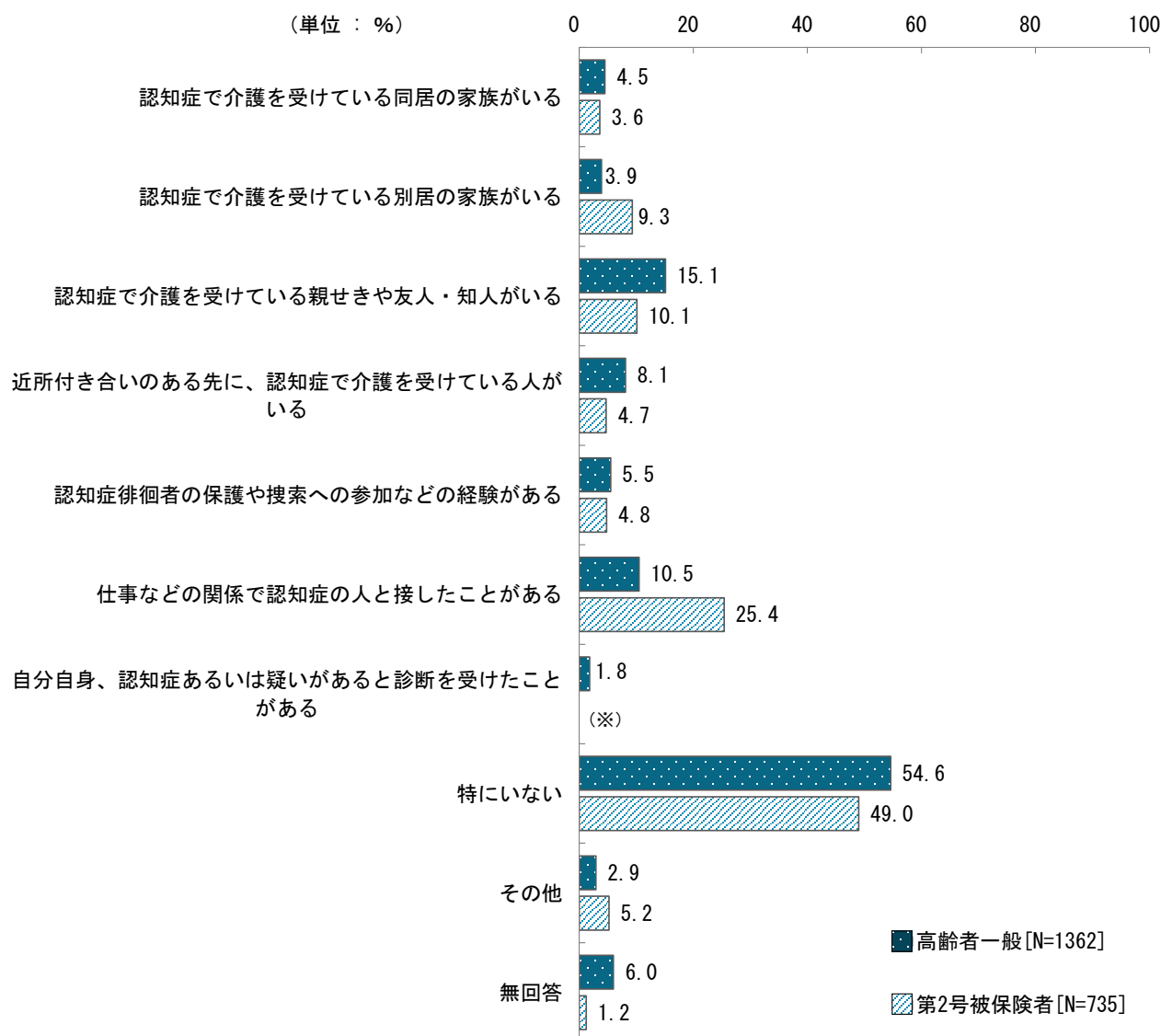


(7) 認知症について

(7)- ①認知症の人との関わり

○ 認知症の人との関わりについては、「特にいない」という人が、高齢者一般では 54.6%、第 2 号被保険者では 49.0%と多くなっています。第 2 号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が 25.4%見られます。

図表 57 認知症の人との関わり（複数回答）

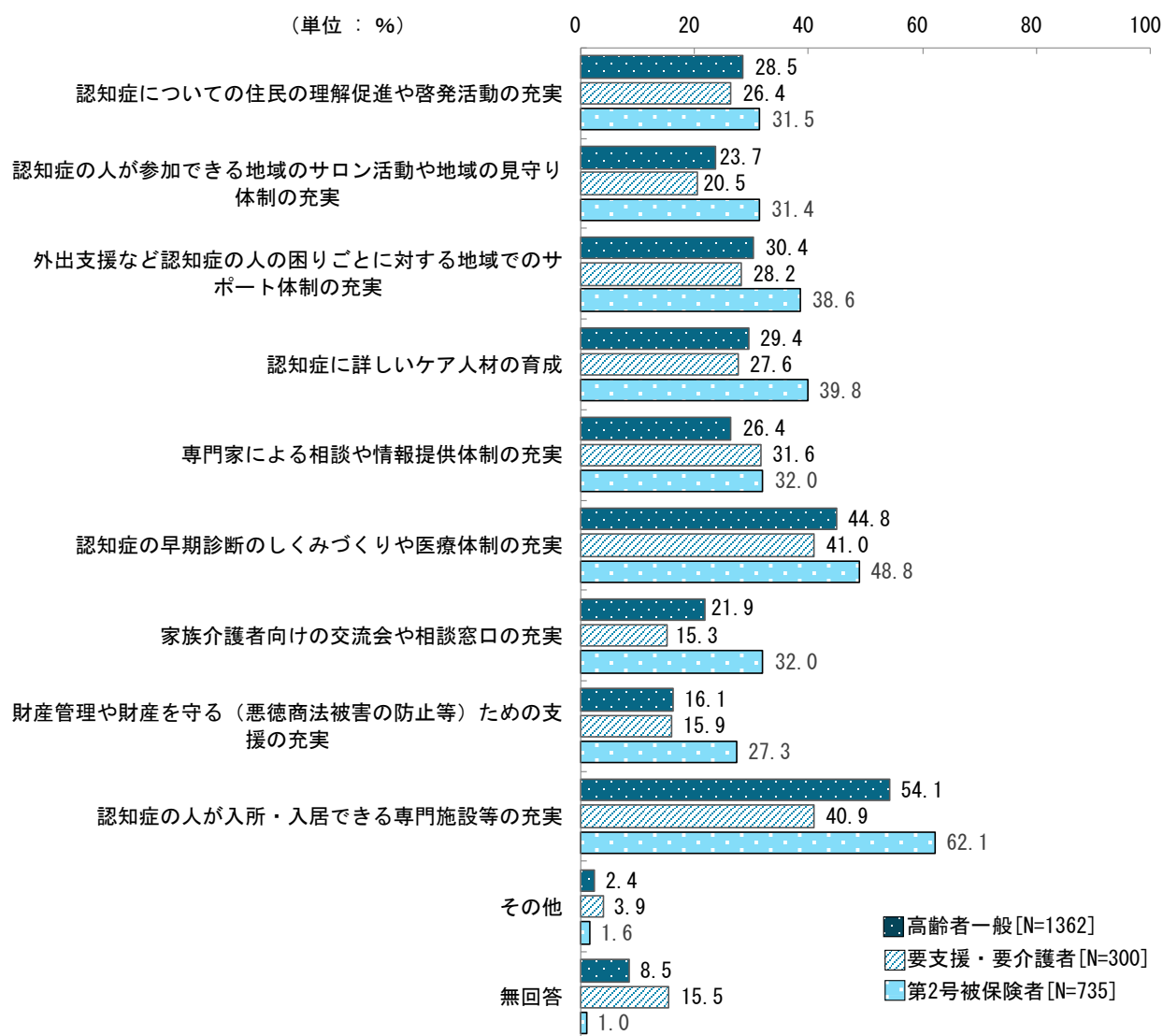


(※) 第 2 号被保険者対象の調査では、「自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある」との選択肢を設けていないため、本項目の値はなし。

(7) - ②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

○ 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、高齢者一般や要支援・要介護者に比べ、第2号被保険者では全般的に割合が多い傾向があります。

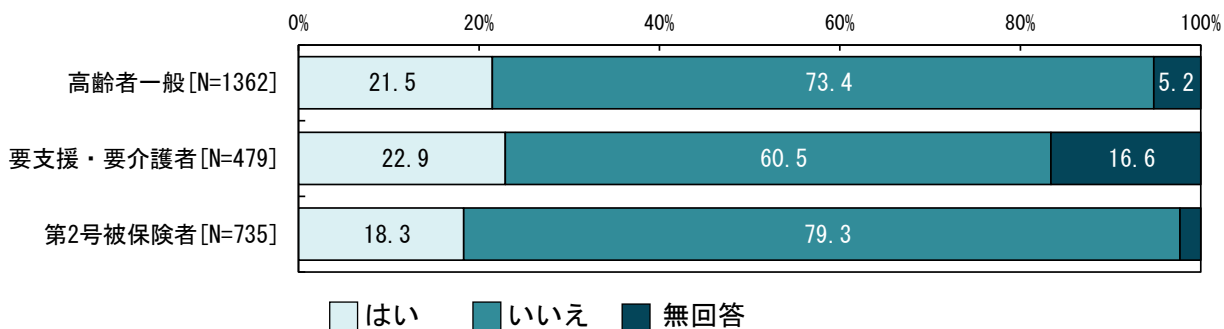
図表 58 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）



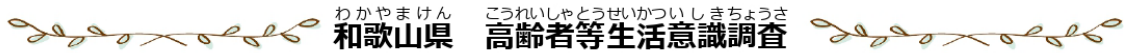
(7) - ③認知症に関する相談窓口の認知状況

- 認知症に関する相談窓口の認知状況について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「いいえ」を選択した人が6~7割台と多くなっています。一方、「はい」を選択した人は、いずれの区分でも2割程度と少なくなっています。

図表 59 認知症相談窓口の認知状況



参考資料：アンケート調査票



ちょう 調査 票

■ この調査の対象者は、令和7年8月1日現在、県内にお住まいの40～64歳の方
で、主に、ご自身が高齢期になったときの生活意識などをお聞きします。

■ この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが
難しい場合は、代わりにご家族の方などがご本人の立場に立ってお答えください。

■ ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月17日(月)まで
に無記名のままポストに投函してください。(切手は不要です。)

※ 次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○を
つけ、そのまま、ポストに投函してください。(切手は不要です。)

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中または認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

🌸 ここからアンケートが始まります 🌸

問0 この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

1. あて名のご本人が回答 (ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む)
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

しょうわ 年 月生まれ (満 歳)

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市 | 2. 海南市 | 3. 橋本市 |
| 4. 有田市 | 5. 御坊市 | |
| 6. 田辺市 (旧田辺市) | 7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) | |
| 8. 新宮市 (旧新宮市) | 9. 新宮市 (旧熊野川町) | |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | |
| 12. 岩出市 | 13. 紀美野町 | |
| 14. かつらぎ町 | 15. 九度山町 | 16. 高野町 |
| 17. 湯浅町 | 18. 広川町 | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町 | 21. 日高町 | 22. 由良町 |
| 23. 印南町 | 24. みなべ町 | 25. 日高川町 |
| 26. 白浜町 | 27. 上富田町 | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町 | 30. 太地町 | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村 | 33. 串本町 | |

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 単身 (ご本人ひとり) | 2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上) |
| 3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下) | 4. 2世代家族 (65歳以上の家族がいる) |
| 5. 2世代家族 (65歳以上の家族はいない) | 6. 3世代家族 |
| 7. 配偶者、親以外の高齢者 (65歳以上) と同居 | 8. その他 () |

問5 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 会社や団体等の勤め人 (常勤) |
| 3. 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員 |
| 5. 自営業主、個人事業主 | 6. 短期・不定期のアルバイト等 |
| 7. 内職 | 8. 収入のある仕事はしていない |
| 9. その他 () | |

★高齢期こうれいき※になったときの暮らしのお考えなどについておたずねします。

※通常つうじょう、高齢期こうれいきとは65歳さい以上のことを指しますが、年齢ねんれいにはこだわらず、ご自身が年をとって高齢者こうれいしゃになったときとお考えください。

問6 あなたは、ご自身の高齢期じしん こうれいきの生活せいかつを考えたときに、特にどのようなことかんしんに関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 家族 <small>かそく</small> の団らん・交流 <small>ごうりゅう</small> | 2. 親せきとのつきあい <small>しん</small> |
| 3. 友人 <small>ゆうじん</small> 、知人 <small>ちじん</small> 、近隣 <small>きんりん</small> とのつきあい | 4. 住まい <small>すまい</small> （建物の維持管理 <small>たてもの いじかんり</small> 、リフォームなど） |
| 5. 健康管理 <small>けんこうかんり</small> 、健康づくり <small>けんこう</small> | 6. 防災 <small>ぼうさい</small> （災害への備え <small>さいがい</small> 、避難 <small>ひなん</small> や連絡 <small>れんらく</small> の方法など） |
| 7. 食事 <small>しょくじ</small> 、飲食 <small>いんしょく</small> に関すること <small>かん</small> | 8. 身だしなみ <small>み</small> 、おしゃれや美容 <small>びよう</small> に関すること <small>かん</small> |
| 9. 仕事 <small>しごと</small> 、働くこと <small>はたら</small> | 10. 家事 <small>かじ</small> （炊事 <small>すいじ</small> 、掃除 <small>そうじ</small> 、洗濯 <small>せんたく</small> など家の中の仕事 <small>いえなか しごと</small> ） |
| 11. 社会奉仕 <small>しゃかいほうし</small> 、ボランティア活動 <small>かつどう</small> | 12. 地域の活動 <small>ちいき かつどう</small> （自治会 <small>じちかい</small> 、老人クラブ <small>ろうじん</small> など） |
| 13. 趣味 <small>しゆみ</small> の活動 <small>かつどう</small> | 14. 学習活動 <small>がくしゅうかつどう</small> |
| 15. スポーツ活動 <small>かつどう</small> | 16. 特にない <small>とく</small> |
| 17. その他（ | ） |

問7 あなたは、現在げんざいお住まいすのところに高齢期こうれいきも住み続けるとした場合ばあいに、日常にちじょうの買い物かや外出がいしゅつなどのしやすさについてどのようにおもいますか。(そう思うもの1つに○)

1. 現在げんざいでもかなり不便ふべんであり、高齢こうれいになったらさらに困ることになると思うこま
2. 現在げんざいは特に問題もんだいはないが、高齢こうれいになったら困ることになると思うこま
3. 高齢こうれいになっても特に困ることはないと思うおち
4. わからない
5. その他（

問8 あなたは、ご自身の高齢期じしん こうれいきの生活せいかつを考えたときに、何か不安ふあんを感じるかんことなどはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 家族 <small>かそく</small> や親せき <small>しん</small> との人間関係 <small>にんげんかんけい</small> | 2. 友人 <small>ゆうじん</small> や知人 <small>ちじん</small> 、近所 <small>きんじよ</small> の人 <small>ひと</small> との人間関係 <small>にんげんかんけい</small> |
| 3. 話し相手 <small>はな あいて</small> がないこと | 4. 生活費 <small>せいかつひ</small> など |
| 5. 自分 <small>じぶん</small> の介護 <small>かいご</small> のこと | 6. 自分 <small>じぶん</small> の健康 <small>けんこう</small> や病気 <small>びょうき</small> |
| 7. 同居家族 <small>どうきよかそく</small> の健康 <small>けんこう</small> や病気 <small>びょうき</small> | 8. 家族 <small>かそく</small> や親せき <small>しん</small> に対する介護 <small>たい かいご</small> |
| 9. 通院 <small>つういん</small> の介助 <small>かいじよ</small> や手段 <small>しゆだん</small> | 10. 掃除 <small>そうじ</small> や洗濯 <small>せんたく</small> などの日常生活 <small>にちじょうせいかつ</small> のこと |
| 11. 食事 <small>しょくじ</small> の用意 <small>ようい</small> や配食 <small>はいしょく</small> などのこと | 12. 財産 <small>さいざん</small> の管理 <small>かんり</small> や遺産相続 <small>いざんそうぞく</small> など |
| 13. 子 <small>こ</small> や孫 <small>まご</small> の将来 <small>しやうらい</small> | 14. 特に悩み <small>なや</small> や不安 <small>ふあん</small> はない |
| 15. その他（ | ） |

★健康についておたずねします。

問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
5. その他 ()

問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない
6. その他 ()

問11 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防※1やメタボ予防※2など)をどのように思っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない
5. その他 ()

※1 ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み
 ※2 メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み

★高齢期の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(家族等が運転) |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス(介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車(電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. 医療機関による無料送迎(通院時のみ) |
| 11. 外出は困難(寝たきりなど) | 12. その他 () |

問13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関(※)を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。
※コミュニティバスを含みます。

片道 約 分

問14 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 戸建 (持ち家)
2. 戸建 (賃貸)
3. マンションなどの集合住宅 (持ち家)
4. マンションなどの集合住宅 (賃貸)
5. その他 ()

問15 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で在宅サービス(ホームヘルプやデイサービスなど)を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他 ()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

問16 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他 ()

問17 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の自宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他 ()

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問18 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3. それほど関心はない | 4. 今はわからない |

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のために行うものを指します(問21も同様)。

問19 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

★家族介護の状況などについておたずねします。

問25 あなたのご家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(いずれか1つに○)

1. いる

2. いない →問27へ

問26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1) あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 主に自分が介護している
2. 他の家族が介護しているのを手伝っている
3. それほど介護には関わっていない

(2) ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分が仕事を辞めた/転職した
2. 自分以外の家族で、仕事を辞めた/転職した者がいる
3. いない

(3) 介護で困っていること、感じるなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の方法、認知症への対応方法などがわからない
2. 本人の希望に沿った介護ができていないかわからない
3. 身体的な負担が大きい
4. 精神的な負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある
7. 介護を手伝ってくれる人がいない
8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない
9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない
10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない
11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある
12. 相談先がない
13. 特にない
14. その他 ()

★高齢者の生活支援や介護の仕事に関する考え方などについておたずねします。

問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

事業の例：高齢者が気軽に参加できる地域サロンや運動・介護予防教室などの運営、安否確認などのサービス、外出支援、買い物、調理、掃除などの簡単な家事支援など

※現在、同様なサービスの運営に参加している人も意向をお答えください。

1. ある 2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある 3. ない →問29へ

問28 前の問で「1. ある」「2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
2. 給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)
3. 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
4. その他 ()

★介護保険制度などについておたずねします。

問29 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスを受けるための手続き
2. 受けられるサービスの内容
3. 気軽に相談できる窓口
4. 保険料、利用料や算出の仕組み
5. 介護事業所の評判
6. 特にない
7. その他 ()

問30 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
5. その他 ()

問31 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者等)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★認知症についておたずねします。

問32 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 特にない
8. その他 ()

問33 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ()

問37

高齢者の生活支援(見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など)、介護保険制度(介護保険料、要介護認定、介護保険サービスなど)、保健福祉サービス(介護予防教室、家族介護者教室など)などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

Form area with horizontal dashed lines for writing.

★質問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

- ★記入もれがないかお確かめください。
★記入した調査票は、折りたたんで返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。(切手は不要です。)

「プレゼント」をご希望される方は、ご連絡先として「メールアドレス」をご記載ください。
※ 連絡先は、本調査票から切り離して管理し、抽選および発送の目的に限り使用いたします。
※ プレゼントの発送時期は令和7年12月上旬頃を予定しており、当選の発表は、調査委託先(和歌山社会経済研究所)より電子メールにてお知らせします。その際、プレゼント送付先のご住所・お名前を確認させていただきます。
(メールアドレス) @
※ 迷惑メール対策などで受信制限をされている方は、事前に info@wsk.or.jp からのメールを受信できるよう、受信許可(ドメイン指定受信・受信リスト登録等)の設定をお願いします。

令和7年度 和歌山県高齢者等生活意識調査 結果報告書
(第2号被保険者調査)

令和8年3月

発行 和歌山県福祉保健部福祉保健政策局長寿社会課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地